

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
<b>I. 基本構想 について</b>		
1	<p>I、まちづくりの基本的な考え方 p10～  シンポジウムで、林先生が「開放型経済は、もうだめで、循環型エコノミーにする必要がある」と述べられたことに同意します。新しい総合計画には、SDGsの考えが取り入れられ、計画の各所に「持続可能性」とか「持続可能な発展」といった言葉が見られます。これは、従来の考え方では、地域社会、経済、自然を持続させてはいけない、発展ということの価値観を大きく転換する必要があることを示しています。その変化の方向が、林先生のおっしゃった一言で示されていると思います。  この視点から、p11の1、「あるもの・つながりを生かす」持続可能なまちづくりの考えに賛成します。  四日市には、少し手を加えれば活用できる資源や遺産がいくつもあります。豊かできれいな水資源、老朽化したコンビナート地域の再開発、旧四日市港エリアの再開発と防災観光への利用などです。他にはない四日市ならではの資源を循環的に有効利用していく街づくりは、市民にも共感を呼び、四日市への愛着も深まると思います。  拡大、再生産(負の産物としての地域環境の破壊)が発展の道であるという考えから脱却した新総合計画になることを希望します。  林先生は、使わなくていいものは、使わない。作らなくてもいいものは、作らないともおっしゃいました。こういった考えを総合計画のベースとしてほしいと思います。先生は、モノや街を作るときに、個別の単体ではなく、総合して見るともおっしゃいました。このことにも賛成します。</p>	<p>先日は、シンポジウムにご参加をいただき、誠にありがとうございました。  少子高齢化の進行に伴い人口減少社会の本格的な到来を迎える中で、今後は、誰も経験したことのない「成熟型社会における人口減少・高齢化」の時代を迎えます。  こうした時代において、持続可能なまちづくりを進めるためには、新たなものを創り出すことだけで対応するのではなく、今ある本市の財産や地域資源を最大限に活用することが重要と考えております。ご意見をいただいた「拡大、再生産が発展の道であるという考えから脱却した新総合計画」とする旨は、素案の記載の「まちづくりの基本的な考え方」と考えを同じくするものです。今後とも、応援の程よろしく願いいたします。</p>
2	<p>四日市市長以下、市職員の皆様におかれましては、市民生活の安定のためご尽力いただき、誠にありがとうございます。今回お示しいただきました四日市市新総合計画は、従来の計画にも増して意欲的なものであると拝察いたします。僭越ながら、四日市市新総合計画のパブリックコメントに際し、次の4点について、意見を提出いたします。  ① 将来都市像について  ② 「先端技術の活用」及び「市民協働」の位置づけについて  ③ 「父親の子育て支援」と「イクボス」について  ④ 総合計画策定における市民意見の取り入れについて  ① 将来都市像について  基本構想の「3. 四日市市が目指す『まちづくり』と『将来都市像』」においては、「子育てするなら四日市」や「名古屋圏の拠点都市に」という市長のお考えが具現化され、従来にも増して意欲的な都市像が描かれており、今後の市政運営に期待が持てる内容だと感じます。  特に、『子育て・教育安心都市』を1番に置かれたことについては、未来の四日市を見据えた判断であり、未来の四日市を担う人づくりを重視するものとして大いに賛成です。また、『産業・交流拠点都市』として名古屋圏をリードすることや、『環境・防災先進都市』としては「公害の歴史と教訓から学び」という四日市に欠かせない姿勢を示されていることにも共感いたします。  これら将来都市像を実現するためには、市民が市政に関心を持ち、自分たちのまちに自信と誇りを持つつ、まちづくりに積極的にかかわることが重要と考えます。行政としても、これらの将来都市像を市内外に大きくPRしていただき、関心と共感を高めていただくことを期待いたします。</p>	<p>素案においては、本市の現状と将来の見通し、時代の潮流と社会経済の変化、そして市民・事業者の皆様からのまちづくりに対する様々なご意見を考慮し、本市が今後10年間で目指すべき4つの将来都市像を掲げました。今後、4つの将来都市像を実現するための取組を積極的に進めてまいります。  また、総合計画は行政だけの計画ではなく、市民・事業者・市が互いに協力し、創意工夫しながらまちづくりを進めていくためのよりどころとなるものです。この趣旨から、従来の総合計画にはない記述として素案では、各基本的政策に「市民・事業者等が取り組んでいくこと」を盛り込みました。ご意見をいただいたように、市民の皆さんが、まちづくりに積極的に関わっていただくための指針となればと考えております。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
3	<p>シンポジウムへは参加できませんでしたが、総合計画(案)の全てに目を通しました。新たなスタートを切るとき、新しい目標を掲げるとき、晴れ晴れとしたことを語ることは、とても大事なことだと思います。そういう意味では「夢のような四日市市」が描かれていて素晴らしいです。</p> <p>○第一印象は 市民は「市は、こんな風にやってくれるのね」「四日市市にはお金があるんだ」「優秀な人材が揃っているんだ」そう受け止める人が多いのではないのでしょうか？ 書かれている計画は、自律心と共同体意識のある市民と行政マンが沢山いることが前提となっていると感じました。 「協働」という言葉が度々出てきましたが、同時に担い手不足とも表現されており(P156)、総合計画を、どのように実現していくか？協働できる市民人材をどう育てていくか？そのプロセスを感じ取ることができませんでした。プロセスがないと予算もつかない現実があり、計画と課題を直視している市民に無償で奉仕させるのでしょうか？昨今の社会課題は複雑に絡み合っており、行政自身の縦割り体制から見直すことが肝心なのではないかと思います。</p> <p>○計画策定にあたっての「人口の見直し」について 全国に比べて人口減少が緩やかな予想がされていますが、その根拠はどこにありますか？たとえ四日市市の人口減のスピードが他の自治体より緩やかであったとしても日本社会全体の課題が消えてなくなるわけじゃない。周辺人口を取り込むのですか？転入してくる新しい市民って、どんな人たちだと考えているのですか？市の予想を知りたいです。 コンパクトシティの考え方に反対はしていませんが、計画には何処とはハッキリ書かれていないけれど、市の中心部の人口密度を上げ、会社勤めの人の通勤に便利な駅前と駅周辺に、なるべく人を集め、そこには積極的に投資・整備する、そんな風にも読めました。 2020年の四日市市の人口ピラミッドを見ると、70歳以上の人が少なく見積もっても6万2千人もいます。もともと中心部に住んでいる高齢者と、郊外の何%かの比較的経済的に余裕のある高齢者は市の中心部へ移り住む選択ができて、大半は現在住んでいるところで年齢を重ねていき、いずれ亡くなられる。郊外の団地や工業団地はどうなっていくのでしょうか？過疎化が進む地域は、いずれ山野に返すのですか？</p>	<p>素案P5「総合計画の構成と計画期間」にあるように、総合計画は、基本構想・基本計画・推進計画の3層構造となっています。今回の素案は、そのうち基本構想と基本計画にあたる部分であり、基本構想は今後10年間のまちづくりの方向性を明らかにするもの、基本計画は基本構想に掲げた将来都市像を実現するための施策の方向性を示すものです。いずれも方向性を示しているものであるため、実現に向けたプロセスが見えにくいのご意見と推察いたします。基本構想・基本計画に基づき、実施する具体的事業につきましては、推進計画において、事業実施期間や予算も明らかにしたうえで示していきます。</p> <p>また、従来の総合計画では行政の分野ごとに施策を体系立てていましたが、新総合計画においては行政の縦割りを打破し、分野単独の「政策・施策」の推進だけは解決することが難しい課題の解決や目指すまちづくりの姿に向け、それぞれの施策を連携させながら、全庁を挙げて分野横断的に取り組んでいくことで、相乗的な効果を上げることを目的とした重点的横断戦略プランを位置付けており、今後、このプランに基づき取組を進めてまいります。</p> <p>将来人口の見直しについては、平成30年度に実施した「四日市総合計画策定に係る人口推計等基礎調査」を基に、四日市市でも全国の流れと同様に人口減少となるものの、そのペースは全国と比べて緩やかな見通しである一方で、高齢者の人口は大幅に上昇すると予測されています。基礎調査では、過去の本市の出生者数と死亡者数による人口の変化(自然増減)や転入者数と転出者数による人口の変化(社会増減)を加味するなど、国と同様の手法により人口推計を行っています。</p> <p>なかでも、本市の社会増減を見ると0歳～14歳及び35歳～44歳が、それぞれ転出超過の傾向にあり、子育て世代とその子どもの世帯が本市から流出する状況にあります。こうしたことから、素案においては「子育てするなら四日市+（プラス）」を重点的横断戦略プランの一つに掲げ、30歳～40歳代の子育て世代から選ばれる、誰もが安心して子育て・子育てできるまちづくりを進めていきます。</p> <p>また、素案中15ページ(2)土地利用の方針に記載のように、人口減少社会において、限られた資源の中で都市を維持・管理していくために、既存ストックを有効に活用するとともに、交通ネットワークと連携した「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」による持続可能なまちづくりを進めていく必要があると認識しております。</p> <p>そこで、既成市街地や郊外住宅団地、鉄道駅周辺などそれぞれの地域特性に応じた居住地の住環境の向上を図るとともに、それぞれの居住地と都市の拠点が効率よく結ばれた交通ネットワークの維持・充実を図るとしているところであり、151ページ3-(2)に示すように、引き続き現在の居住地を活用したまちづくりを進めていく考えです。</p>
4	<p>②「先端技術の活用」及び「市民協働」の位置づけについて基本構想の「3. 四日市市が目指す『まちづくり』と『将来都市像』」において「(3)まちづくりの基本的な考え方」が示されており、また一方で、「6. 基本構想の推進にあたっての基本的な考え方」が示されています。この両者の住み分けが少し分かりづらいのですが、前者を「まちづくりを進める上でのポリシー」、後者を「総合計画(基本構想)を進める上でのポリシー」と解釈すると、「6. 基本構想の推進にあたっての基本的な考え方」の中の「(1)人権を尊重するまちづくり」と「(3)先端技術の活用」については、「まちづくりを進める上でのポリシー」のほうが適切ではないかと思えます。ただし、「人権」についてはすべての施策を推進する上で持ち続けるべき考え方だとも言えるので、この位置にあることも理解できます。しかし、「(3)先端技術の活用」については、本文中にも「まちぐるみで積極的に推進していくことができるような環境づくりを進めます」とあるように、まちづくりの中で取り入れていくべき内容であることから、「(3)まちづくりの基本的な考え方」で示すべき内容と考えます。</p> <p>一方、「(3)まちづくりの基本的な考え方」にある「5. 『オール四日市で取り組む』協働・共創のまちづくり」については、確かに「まちづくりを進める上でのポリシー」でもあるのですが、6の「(4)行財政運営」と対になってこそ意味があると考えます。四日市市には市民力があり、市民、企業等と行政とが協働で課題解決に取り組む素地もあり、これこそが総合計画を推進する力になるべきです。よって、「市民協働や共創」についてのポリシーは、「6. 基本構想の推進にあたっての基本的な考え方」で示すべき内容と考えます。</p>	<p>基本構想にある「まちづくりの基本的な考え方」は、少子高齢化に伴う急速な人口減少の社会を迎える中で、従来の成長を前提とした発想から脱却し、新時代に対応するまちづくりを進めていくうえでの本市の姿勢とも言えるものです。</p> <p>一方で、「基本構想の推進にあたっての基本的な考え方」は、4つの将来都市像を実現するための各種の具体的施策を推進するにあたり、全ての施策に共通して具体的に意識していく視点を記載しています。いただいたご意見は、今後、総合計画を進めていくうえでの参考とさせていただきます。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
5	<p>II、具体的な意見 1、SDGsに対する基本姿勢 行政がSDGs達成に果たす役割で、最も大きいことは、縦割りをなんとか打破することです。SDGsで示された17の目標は、いずれも従来の縦割りの組織では対応できない複雑に絡み合った課題です。その一方で、総合的に一つの課題解決を目指せば、その過程でいくつもの関連する課題の解決につながるものでもあります。「うちの担当分野ではない」という考えから、「目的達成思考」で動く組織へと発想の転換がなければ解決しない問題ばかりです。</p> <p>3つの重点的横断プランは、市長が言われるように縦割りを超えて実現されようとしているもので、これができるれば、四日市市のSDGs取り組みを進める事例になると思います。</p> <p>それなのに、この3つのプランには、SDGsとの関連が示されていません。一方で分野別の基本的政策には、それぞれSDGsの関連する目標のアイコンが表示されています。これは、どのように具体化していくのでしょうか。</p> <p>SDGs目標は、互いにつながっています。時には、相乗効果が出るものもありますが、互いにぶつかり合う内容も含まれています。SDGsとの関連を考えるのなら、どの目標をキー(てこ)にして、他の目標にどのように波及させていくのかを示してほしいと思います。</p>	<p>持続可能なまちづくりを進めていくためには、諸課題に対して、これまでのように専門性を有した部局だけで対応を図るのではなく、課題に関連する部局が一致団結して、市民や事業者の皆さんのご協力を得ながら、横断的に解決に向けて取組を進めていくことが重要と考えています。</p> <p>そのため、重点的横断戦略プランでは、各プロジェクトそれぞれに目的を設定し、その目的を達成するためにどのような取組を具体的にやっていくのかを明記しています。重点的横断戦略プランは、分野別基本政策に位置付ける各分野単独の「政策・施策」の推進だけでは解決することが難しい課題の解決や目指すまちづくりの姿に向け、個々の「具体的な施策」を政策や施策の分野にとらわれずに抽出し、それぞれの施策を連携させながら、全庁を挙げて分野横断的に取り組んでいくことにより、相乗的な効果の創出を図っていかうとするものであり、分野別基本政策に位置付けたSDGsの考え方を持ち合わせながら取組を推進してまいります。</p>
6	<p>○計画の随所にSDGsが織り込まれている点に関しては高く評価したいと思いました。</p> <p>SDGsを達成するために、SDGsを広げる活動が必要ですね。四日市市での認知はどれくらいでしょうか？基本計画にはアイコンを当てはめてありますが、肝心の「重点的横断戦略プラン」にはないのは、どうしてですか？最も注目される計画だからこそ、相反する正解を模索しながら前進する市でありたいと思いました。</p>	<p>持続可能なまちづくりを進めていくためには、SDGsの視点を取り入れながら諸課題に対して、これまでのように専門性を有した部局だけで対応を図るのではなく、課題に関連する部局が一致団結して、市民や事業者の皆さんのご協力を得ながら、横断的に解決に向けて取組を進めていくことが重要と考えています。</p> <p>そのため、重点的横断戦略プランでは、各プロジェクトそれぞれに目的を設定し、その目的を達成するためにどのような取組を具体的にやっていくのかを明記しています。重点的横断戦略プランは、分野別基本政策に位置付ける各分野単独の「政策・施策」の推進だけでは解決することが難しい課題の解決や目指すまちづくりの姿に向け、個々の「具体的な施策」を政策や施策の分野にとらわれずに抽出し、それぞれの施策を連携させながら、全庁を挙げて分野横断的に取り組んでいくことにより、相乗的な効果の創出を図っていかうとするものであり、分野別基本政策に位置付けたSDGsの考え方を持ち合わせながら取組を推進してまいります。</p>
7	<p>内容として (14ページ)【交通ネットワークの現状】 中心街の利点ばかりでなく周辺の利便の悪さも述べてほしい。</p>	<p>四日市市新総合計画(素案)14ページは、交通ネットワークの形成状況について記載しております。122・123ページに記載のとおり現状と課題を整理した上で展開する施策を設定しています。</p>
8	<p>2、10年計画ですが聊か長すぎるような気がします。中間報告があれば尚論点の精度(軌道修正)が増すように思われます。</p>	<p>社会情勢の変化が年々加速している状況から、計画期間(10年間)の中間年次に当たる5年後(2024年度)に、新たな重点的横断戦略プラン(2025年度～2029年度)の策定と分野別基本政策の中間見直しを予定しています。</p> <p>その過程においては、新総合計画が将来都市像の実現に向けて「時代に即応する機動的な計画」として十分機能を果たすことができるよう、取組や進捗状況を十分検証し、必要な見直しを行ってまいります。その趣旨がより明確となるよう、ご意見を踏まえて、次のように修正いたします。</p> <p>○基本計画：将来都市像を実現するため、施策の方向性を示すものです。          &lt;重点的横断戦略プラン&gt; (略)          ※2025年度～2029年度(後半5年間)については、これまでの取組や進捗状況を十分検証し、社会情勢の変化等に応じた新たな重点的横断戦略プランを策定します。          &lt;分野別基本政策&gt; (略)          ※5年後(2024年度)に、これまでの取組や進捗状況を十分検証し、社会情勢の変化等に応じた見直しを行います。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
<b>II. 基本計画 重点的横断戦略プランについて</b>		
<b>①子育てするなら四日市+(プラス)</b>		
9	<p>P28 「子育てするなら四日市+」のプラスは何でしょうか？          私が読み込んでいないのかもわかりませんが、プラスが何なのかわかりません。読んでいて理想はよくわかるけど、現在があって計画・未来があるのではないかと？</p> <p>・「子育てするなら四日市+(プラス)」が「子育てするなら四日市-(マイナス)」にならないように。プラスが大きなプラスであり、市民がほかの市町村に誇れる教育の充実した四日市であることを願っています。</p>	<p>・将来都市像の一つとして「子育て・教育安心都市」を掲げています。この都市像を実現するためには、子育て支援や教育といった子どもや子育て家庭に直接関係する分野の取組だけではなく、産業や文化、スポーツ、環境、シティ・プロモーションといった分野横断的な取組によって子どもを育てやすい環境を創り出すことが重要と考えています。これによって、他にはない魅力を打ち出し、子育て世代から選ばれるまちづくりを進めてまいります。</p> <p>・子育て・教育に関する政策については、分野別基本政策「政策1 子育て・教育」にて目指す姿、現状と課題、展開する施策等が位置付けられています。それに加えて、分野横断的に取り組んでいくことにより、相乗的な効果の創出を図るものを重点的横断戦略プラン「子育てするなら四日市+(プラス)」として、3つのプロジェクトとして取りまとめたものです。</p>
10	<p>・保育無償化ありがたいです。女性の働き口、有給のとりやすさ、残業のナシアリの整備、企業受入との連携の充実と同時進行でなければ共同参画社会の実現は見通しがたてにくく実際母親に全負担のしわよせがきます。かつ母子育児接触時間がへるばかりで、家事負担がへるわけではありません。1人で家事育児を行い、かつ外でも働けは無理です。シェアリングのシステムを検討実行していただけたらうれしいです。</p>	<p>仕事と子育てが両立できる環境を整備するため、職場環境を整備したり、在宅勤務や育児短時間勤務などフレキシブルな就業ができるなど、誰もが働きやすい職場づくりに取り組む中小企業を支援していきます。</p>
11	<p>(1)いままでの総合計画に比べ、自助、共助が強くなってきているように思えるが、周辺地区の少子高齢化は中心市街地より進んでおり、地域コミュニティの維持が危ぶまれている。</p> <p>一方、中心市街地での施策がほとんどで、さらに周辺地区から中心部へ若者たちが移り住むのが明らかであり、市全体の計画に併せ周辺地区に対する具体的な対策も具体的に明記してほしい。</p> <p>例えば子育て支援については、全市的な交流プラザだけでなく、市内に点在する子育て支援センターや地区市民センターを活用した子どもや親子が安心して活動や交流、子育てができる施設の拡充を望む。</p>	<p>総合計画は、10年間の長期的な視点で四日市市をどのようなまちにするのかの将来像を描くものであり、市全体の計画であるため、各地域における個々の課題や対応策を盛り込んでいくことは難しい面がありますが、ご意見で述べられているとおり、少子高齢化の進展により地域コミュニティの維持が危ぶまれていることは、本市の多くの地域が同様に抱える課題の一つです。</p> <p>素案では、地域コミュニティを支える基盤となる自治会への加入促進や市民活動の担い手の発掘・育成、地域づくりの拠点である地区市民センターの機能強化など、地域の活性化につながる施策を掲げています。また、既成市街地や郊外住宅団地、鉄道駅周辺など、それぞれの地域特性に応じた居住地の住環境の向上や、こうした居住地と中心市街地等の拠点を結ぶ交通ネットワークの維持・充実を図ってまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
12	<p>総合計画に記載されている予測が正しいとすれば人口減少や人口構成の変化を緩和する政策すなわち子供の数を増やし将来の労働人口を増やす政策をとらない限り四日市市の明日はないと思われる。程度の差はありますが四日市も衰退する日本の縮図で、問題の本質である出生率をどう向上させるかで四日市市の将来は決まると思います。</p> <p>過去20年間、世界全体のGDPは平均年率3.6%増えているが、日本のGDP増加率は平均年率1%未満で日本の経済成長は止まっており不況下の人手不足状態である。一方、少子高齢化などの影響で税金や年金を納める人が減り、高齢者の増加等で社会保障費が増え、国の借金は増えるばかりだ。(年平均52兆円増加)。少子化に伴う国内市場の縮小と国際競争力の低下で外需依存の日本企業は拠点を海外に移し、事業の主体は海外である。日本が国家として存続するには労働力の質と量を確保する以外に対策は見当たらない。現在、労働者を送り出している国々でも今後、少子化が進み、実質賃金が低下し、語学教育など受け入れ環境が遅れている日本が外国人労働者の争奪戦で勝つ見込みは現時点ではなく、子供の出生率を増やす以外に日本が生き残る道はないように思われる。少子化対策に成功したフランス、スウェーデンや国内の自治体の取り組み例を調査し、衰退への政策を提案することを期待します。</p>	<p>・本市の出生率は、平成25年(1.54)までは増加傾向にありましたが、平成29年には1.47に下がっています。全国の値(H29:1.43)は上回っているものの、全国的な少子高齢化の流れは今後も進むと考えられ、人口減少社会の本格的な到来が予想されます。</p> <p>素案においては、将来都市像の一つに「子育て・教育安心都市」を掲げ、この都市像を実現するための重点的横断戦略プランとして「子育てするなら四日市+(プラス)」を位置付けています。このプランのもと、あらゆる政策分野が横断的に取り組みを進めることによって、子育て世代から選ばれる、誰もが安心して子育て・子育てできるまちづくりを目指していきます。</p> <p>これにより、10年後の未来の目指す姿として、出生率が上昇し、まちの将来を担う若年層が増加しているとともに、総人口が横ばいで推移し、30万人を維持しているまちが実現するよう、取り組みを進めてまいります。</p> <p>・本市におきましても、若年女性人口の減少や未婚・晩婚化の進展等による出生数の減少により、子どもの人口は減少傾向にあります。まずは安心して子どもを産み育てることができる環境を整えることが、結果として少子化対策につながるものと考えており、引き続き、妊娠から出産、乳幼児、青少年に至るまで、途切れのない施策の展開を図りながら子育て支援の充実に取り組んでまいります。</p> <p>・本市への事業所や研究所の新設、増設を支援するための制度である企業立地奨励金制度、民間研究所立地奨励金制度を新たにして、さらなる企業誘致や投資を促していきます。一方で、国内需要の変容、国際競争の激化等、中小企業を取り巻く市場環境の変化は激しくなっている中、海外市場へ積極的に挑戦し、国内事業の拡大へ結びつけている企業もあります。本市としては、このように海外への販路拡大や人材育成に取り組む中小企業を支援し、産業の活性化を図っていきます。また、企業における人手不足対策として、市内外で実施する就職フェアに出展する企業に対して支援を行うなど、中小企業の人材確保を図っていきます。さらに、職場環境を整備したり、在宅勤務や育児短時間勤務などフレキシブルな就業ができるなど、誰もが働きやすい職場づくりに取り組む中小企業を支援していきます。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
13	<p>次期総合計画における将来都市像(案)を読んで                      四日市の将来都市像とは『子育てし易く、福祉や防災も万全！安定した仕事があり豊かな環境で幸せに暮らせる都市』っていうことでしょうか？                      これを目指していない市ってあるのでしょうか？                      『住みたい・行きたい・働きたい』と思う人たちには、これらの条件を満たした上で、他にはない魅力を打ち出さなければファンは増やせないと思います。                      彼らは、より良い環境を求めて他の近隣の市と比較検討します。他と比べて「魅力的な差別化」が大きなポイントと考えます。                      重点的横断戦略のひとつ『子育てするなら四日市+』という言葉の意味がよくわかりませんが、「子育て」を軸に将来都市像を考えるとするのは賛成です。子育て応援都市宣言(仮)                      子供を育てやすい環境とは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●保護者(親)が安心して働ける環境。</li> <li>例:企業内保育園やベビーシッター制度採用企に助成金を出す。</li> <li>●災害時に共働き家庭の子供や独居老人など弱者を守るシステムが機能している。</li> <li>●老人ホームと保育園や幼稚園を同じ施設内に作り、子供と高齢者が共に「敬うこころ」を育てあう。</li> <li>●情操教育に大切な図書館や美術館など文化施設が充実している。</li> <li>●子供から高齢者まで楽しめる公園や商業施設がある。</li> <li>例:近鉄駅⇄JR駅⇄四日市港周辺と続いているプロムナードがあり工場夜景も楽しめる。</li> <li>●義務教育以外の学校(保育園、高校、大学)が充実していて、全国的にみても特色ある学校がある。(例:飯野高校や相可高校)卒業後に魅力的な就職先があり、地元就職率が上がる。魅力的な学校があれば全国から若い人が集り、定住して家族を持ち人口も増加し、税収をも増える。</li> </ul> <p>子供を育てる環境を充実させれば「四つの将来都市像」は自ずと作られていくと思います。</p>	<p>・素案においては、将来都市像の一つとして「子育て・教育安心都市」を掲げています。                      この都市像を実現するためには、子育て支援や教育といった子どもや子育て家庭に直接関係する分野の取組だけではなく、産業や文化、スポーツ、環境、シティ・プロモーションといった分野横断的な取組によって子どもを育てやすい環境を創り出すことが重要と考えています。これによって、他にはない魅力を打ち出し、子育て世代から選ばれるまちづくりを進めてまいります。引き続き、妊娠から出産、乳幼児、青少年に至るまで、途切れのない施策の展開を図りながら子育て支援の充実に取り組んでまいります。                      ・仕事と子育てが両立できる環境を整備するため、職場環境を整備したり、在宅勤務や育児短時間勤務などフレキシブルな就業ができるなど、誰もが働きやすい職場づくりに取り組む中小企業を支援していきます。</p> <p>中心市街地をはじめとする既存商店街では、にぎわいの創出につながるイベント開催への支援や幅広い世代にとって魅力あふれる商店街づくりへの支援に取り組み、商店街の活性化を図っていきます。また、空き店舗への出店を促していくための支援に取り組んでいきます。</p> <p>また、中心市街地の拠点施設として「すわ公園交流館」を運営しており、こども向けイベントや音楽イベントなどに取り組み、多世代による交流を促進していきます。</p> <p>日本有数の産業都市である本市は、事業所や研究所の新設、増設を支援する企業立地奨励金制度、民間研究所立地奨励金制度を設けております。本総合計画におきましては、本制度をさらに充実し、既存企業の新規設備投資や新たな企業誘致に繋げることで、就労の場の確保、産業振興を進めることとしていきます。</p> <p>企業における人手不足対策として、市内外で実施する就職フェアに出展する企業に対して支援を行うなど、中小企業の人材確保を図っていきます。</p> <p>災害時に共働き家庭の子供や独居老人など弱者を守るシステムが機能しているのご意見をいただきありがとうございます。重点プロジェクト06 みんなで備える地域防災連携プロジェクトにおいて、「防災」と「福祉」の連携による高齢者等の避難行動を促進する地域づくりを構築していくと位置付けており、この中でいただいたご意見も意識しながら弱者を守るシステムが機能するよう取り組んでまいります。</p> <p>・今後中心部において進めていく近鉄四日市駅周辺等整備事業では、中央通りのクスノキ並木を活用した歩行空間の整備を予定しており、これと連携して諏訪公園、鶯の森公園のリニューアルを進めるなど、緑のある快適で高質な都市空間づくりに努めて参ります。</p> <p>・「基本的政策No.1 子どもと子育てにやさしいまちに向けた環境整備」において、市立図書館や博物館等における子育て支援施策について触れるとともに、「子育てするなら四日市+(プラス)」において「社会教育施設をはじめとした地域資源の魅力発見」を位置付けているように、それぞれの施設の充実を図ってまいります。</p>
14	<p>3、p27 教育                      ①目的とされる「子どもが自らの人生を拓き、生き抜く力を持つことができる」ことは、子どもに生きる力をつける教育のほぼ普遍的な目標として賛成できます。                      しかし、時代の変化が読めず、どのように変わっていくかわからない中で、また、現代の大人が解決できない多くの課題を抱える中で、必要とされるのは答えが一つではない課題や新しい課題に直面した時に、それを乗り越える能力です。そのため、新しい指導要領では、課題解決能力をつけることを大きな目標にしています。具体的にはアクティブラーニングやESD(持続可能か開発のための教育)の考え方です。これらの考えはどこに入っているのでしょうか。                      ②p29、30に幼少期からの質の高い芸術体験や体を動かす習慣は入っていますが、同様に幼少期に特に重要とされる自然体験は、どうなっているのでしょうか。最近の三重県の調査では、幼少期の野外体験が、協調性や自主性をなど自己肯定感を生み、生きる力を着けることに結び着くことが明らかにされています。野外体験教育が全国各地で盛んになっています。自然体験は、安全教育や防災教育、人権教育の基礎となるものです。子育てを謳って、四日市市への移住を呼び込みたいのなら、特に都市部の子育て世代が渴望している自然体験を入れるべきだと思います。</p>	<p>新学習指導要領への対応やこれまでにない社会の到来などの新たな課題に向けて、「四日市市新教育プログラム」をに位置付け、P95において概要を記載しています。ご指摘のESDについては、「6 四日市ならではの地域資源活用プログラム」の中に含まれています。また、アクティブラーニングや自然体験等については、教育活動における基盤であるとしてとらえており、今後とも取り組んでまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
15	<p>「重点的横断戦略プラン① 子育てするなら四日市+(プラス)」についての意見です。</p> <p>人格形成の基礎を培う大切な時期である幼児期の教育。どの地域にいてもどの教育施設に通っても日本にいる子どもたちは同等の教育が受けられるとして、3法(幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育保育要領)が改訂、改定され、幼児教育を担う施設としての基準に整合性が図られたのはすでにご承知の通りと考えます。</p> <p>幼稚園については、学校教育の始まりとしての幼児教育施設です。少子化や核家族化等、子どもを取り巻く環境の大きな変化の中で3年保育の必要性、大切さが言われ、四日市でも試行期間があり、やっと、「公教育」に真剣に取り組んでいる四日市市立幼稚園での3年保育が実現するか、と喜んだ時期がありました。その期待は裏切られ、四日市の子どもたちの「公立幼稚園で3年保育を受ける権利」は奪われてしまいました。保護者の皆さんの公立幼稚園での保育を子どもに受けさせる権利も奪ったということです。あれほど、「四日市市の子どもたちに、全国的に実施されている公立幼稚園での教育を」と願い、実施に向けての準備や研究に取り組み、子どもにとってのより良い保育の実現や、子育て世代の心強い支援の実現を目指した先生方や保護者、地域の方々の努力、協力を行政が踏みにじった、と言われても仕方のないことです。どこからの、どんな圧力に行政が屈したのか、四日市を、四日市市立幼稚園の教育を愛する市民として、行政に携わる皆さんへの不信感は募るばかりです。</p> <p>平成17年の中央教育審議会での答申でも、「幼児教育の中でも、幼稚園教育は、従来から、幼児教育の中核としての役割を果たしてきた。」「幼稚園は、3歳以上の幼児を対象として、」等、【幼児教育の発達の特性に応じた幼稚園教育】の項目の中で述べています。国も、3歳児からの教育の大切さをうたい、子育て支援の一つとして、3歳から5歳児の保育無償化を実施しました。現在の四日市市立幼稚園の園児数の減少問題が言われるのですが、これだけ社会が3歳からの保育を要望している中で、4歳からしか入園できない四日市市では、保護者が3年保育での幼稚園教育を望むのであれば、当然3歳からの教育を実施している私立の幼稚園に子どもを入園させる、という選択肢しかない訳です。公立幼稚園の教育をわが子に受けさせたいと思っても、4歳からの2年保育しか実施していない現在の四日市市の公立幼稚園での教育のしくみ、実情では、3歳からの入園は不可能です。園を選ぶ選択肢さえない訳ですから市民にとっては、非常に不平等なしくみです。市民がわが子に望む、公的機関での教育を受ける権利を、市が侵害していると言っても過言ではないと思います。私たち市民は、市民税を納めているのです。公的機関としての教育施設である四日市市立幼稚園での3歳児からの幼稚園教育の実現を強く要望いたします。</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えています。認定こども園において保育認定を受けて在園している子どもの保護者が「保育を要する事由」が無くなった場合、現状においては子どもが4歳児以上であれば教育認定に変更することで継続して在園可能ですが、3歳児以下であれば一旦退園していただくこととなります(保護者が育児休業に入った場合は3歳児以上であれば継続が可能です)。</p> <p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
15続	<p>また、私の住んでいる保々地区では、保々幼稚園と保々保育園が一体化され、幼保連携型認定こども園として幼児教育・保育が実施されることになりました。</p> <p>幼保連携型認定こども園には、3歳以上の子どもと、3歳未満の保育を必要とするこどもが入園してきます。幼保連携型認定こども園では、満3歳以上の子どもの、教育課程に係る指導計画、満3歳未満と3歳以上の保育を必要とする子どもの保育のための計画、子育て支援等の計画や学校保健計画、学校安全計画等と相互に関連させつつ一体的に展開できるよう、全体的な計画の基に教育・保育がなされる、という幼児教育・保育施設です。</p> <p>保々地区における幼保連携型認定こども園では、4歳未満は保育所保育、幼稚園教育は4歳からと聞いています。学校教育法に定められた幼稚園教育と整合性を図られた幼保連携型認定こども園であるのに、なぜ、3年間の育ちを見通した教育課程に基づく3歳児からの教育を実施しようとならないのか、理解に苦しみます。子どもや保護者の側に立った、子どもの最善の利益を考えた四日市市の教育施策であってほしい、と切に願います。「子育てするなら四日市」のキャッチフレーズに恥じない本物の命を注ぐ、施策であってほしいのです。</p> <p>四日市の将来を担う大切な子どもたちが、小学校以降の生活や学習の基礎を培える質の高い教育を受け、それこそ、充実した人生を歩むための基盤を育み、誰もが憧れる「子育て・教育安心都市」の実現を目指すなら、「3歳児からの、公的機関での教育の実現を！」です。</p> <p>四日市市の公立幼稚園の質の高さについて、行政に携わる皆さん、市職員の皆さんはご存じなのでしょう。子どもの主体性を大切に、一人一人の育ちをふまえた、幼児期にふさわしい教育の在り方を追求、子どもの側に立った、子どもの育ちに意味のある経験が積み重ねられるようにと日々、心を砕き、幼児教育に取り組んでみえる公立幼稚園の先生方の努力を、です。</p> <p>四日市市の教育・保育は、50年以上も前から、保育の基本である幼児の主体性を大切に、心情・意欲・態度を育て、自分の力で生きていく力を身に付けてほしいと願い、一人一人の子どもにとっての育ちの時期に応じた経験ができるようにしていこうとするものでした。これは、現在、保育現場が目指している教育・保育の在り方そのものです。</p> <p>私事ですが、私は、保育者を目指す学生として四日市幼稚園で実習させていただき、多くのことを学ばせていただきました。当時の園長先生は、神澤良輔先生。子どもにとっての魅力ある環境を構成する大切さ、その中で心を動かし、遊びを展開していく子どもたち。5歳児のクラスでの実習でしたが、先生方のかかわりや言葉がけ一つで目を輝かせて色々なことに取り組んだり考えたりする子どもたちの力に驚いたものでした。友だちとのぶつかり合いがあったとしても、子どもの話に耳を傾け、自分の言葉で気持ちを言える状況を作ったり、必要があれば仲立ちをしたりなどされる先生に支えられ、やがては子どもたち同士で解決していく姿を目の当たりにし、先生って魔法使いのよう、と感動したことが昨日のように思い出されます。</p>	<p>前頁にて記載済</p>



「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
②リージョン・コア YOKKAICHI		
16	<p>4. “リージョンコア Yokkaichi”という表現も多く出てくるが、四日市がこのような存在になることは考えられず、四日市市は、中部圏の“Local Hub”としての独自の考え方で計画書を作成すべきである。(但し、名古屋市がこのような表現をするのであれば納得できる)</p>	<p>東京、名古屋、大阪を結ぶリニア中央新幹線の開業によって、三大都市圏の一体化が進み、ヒト・モノ・カネ・情報が集まる大経済圏の形成が期待されています。 本市としましては、その効果を最大限享受できるよう、都市の機能と魅力を高め、活力あふれる都市を創る取組を進めることにより、東海地域の中で存在感を放つまちを目指していきます。</p>
17	<p>私は現在市内の高校で受験生をしている。周りの大学志望校を見ていると愛知、首都圏その次に関西、そして三重が多い。なぜ大学進学の話をしたかというところ、「若者の流出」という地方が抱える問題に関わっていると感じているからだ。県外の大学に行った人のUターン就職率は2018年で51.8%と言われている。</p> <p>つまり県外の大学に行った人の半分は流出したのだ。三重県に人気となる大学を作っていかなければ若者の流出は止まらない、逆に人気大学があれば、他県から若者が引っ越し、活性化につながる。今日、三重の大学の強化が必要である。ここでチャンスになるのが四日市市には四日市市と暁学園の公私協力でできた四日市大学がある。キャンパスを三重県で最も乗降客数が多い四日市駅周辺や価値を設けて新しく開発した価値が高まる土地に移設し、広告や研究予算を多く充てるで人気大学にする等が考えられる。</p> <p>加えて</p> <p>・一般募集した高校生とディスカッション、高齢者とディスカッション、障害者とディスカッションを行うと、幅広い視点からより実用的なアイデアが出ると考える。 この度はこのような機会を設けていただきありがとうございました。 未来の四日市の繁栄を願っております。</p>	<p>近年、名古屋駅近隣に郊外部から大学キャンパスが移転したことで、新たなにぎわいが生まれているとの報道なされたことなどからも、魅力ある大学の立地は、その地域にとって若者を惹きつける大きな力となるものと考えます。</p> <p>素案の作成にあたり、平成30年度に行った「まちづくり高校生アンケート調査」(北勢地区の高校及び特別支援学校高等部の2年生4,665名の方々から回答)では、今後の定住意向について、分からないと答えた方が45.8%と半数近くを占めるなか、ずっと住み続けたいが23.0%、一度、他市町村に転出し、帰ってきたいが17.1%と、合わせて4割の方が定住意向を持っておられた一方で、住み続けられないと答えた方は14.0%でありました。</p> <p>また、そのうち、働きたい場所が無いからという理由が29.7%と最も多く、次いで今の生活に満足できないからが24.1%であったほか、通学に不便だからが8.9%という結果であり、定住という側面からは、若者が求める働く場所の充実が期待されている状況でありました。</p> <p>本市も四日市大学運営協議会の一員として、公的役割の観点から、新しい感性とグローバルな視野を持った四日市市や出身地域の発展に貢献できる人材の育成について検討することが重要と考えており、加えて、大学施設の耐用年数や経営状況など複合的に勘案しながら、立地を含めた将来的な展開についても協議してまいります。</p>
18	<p>総合計画では新図書館の計画が出ています。つい先日新聞にJR四日市エリア、近鉄エリア、駅西側広場とうの候補地が出ておりましたが、31万人都市の四日市民が気軽に利用できる図書館が無いなんて考えられません。子育て中のお母さんが子供を連れて利用し易い図書館、小・中・高生が利用して楽しい図書館、色々なコンセプトを併せ持った図書館を考えてください。教育安心都市を目指す四日市として早急に取り組んで頂きたい。</p> <p>子供がひそひそ話でしか話せない図書館は要りません。同じ思いを持った大人同士も普通に話ができるスペースのある図書館、コーヒーブレイク出来る図書館を目指して取り組んで頂きたい。</p> <p>新図書館では駐車場の確保も併せて検討下さい。</p>	<p>新図書館を核とした中心市街地拠点施設の整備については、あらゆる世代が集い交流することができるスペースや憩いの空間など、複合的な機能を持つ施設としてまいります。</p> <p>なかでも、図書館については「ICTにも対応し、日常の居場所となる全世代を対象とした滞在型図書館」をコンセプトに、単なる図書の貸し借りの場ではなく、読書などで本を楽しみ、調べ物や生涯学習もできる、ゆとりある空間を持ち、また、新たな情報や人に出会い、子どもから高齢者までの多世代が交流できる図書館を目指しています。</p> <p>現在、その立地場所について、より具体的で実現性の高いエリアを候補地として絞り込むための調査検討を行っており、近鉄四日市駅直結エリア、JR四日市駅直結エリア、市庁舎東側広場の3つを候補地としております。立地場所については、市としての方針を示させていただいたのちに、市議会との議論を経たうえで、決定させていただきます。その後、具体的な図書館の整備内容について、改めて市民の皆様のご意見を伺いながら事業を進めてまいります。</p> <p>また、駐車場確保についても、駐車場の需要と周辺駐車場の供給台数、公共交通機関の利用可能性など、様々な視点からの交通アクセスを勘案しながら、検討してまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
19	<p>意見「新図書館建設計画について」                      新図書館は、利用者(市民)の利便性を第一に考えなければならない。                      つまり、①行きやすい場所②心地よく利用できる施設(建物)③蔵書と情報の多さ④借り出し手続きの簡易さ——などだろう。                      現図書館は、全市域的にみれば交通が不便で、行きやすい所ではない。                      蔵書量はそこそこだろうが、開架図書は不十分で、書棚の間は二人がすれ違うのがやっとの狭さ、閲覧スペースもいつも満員の状態、これらはどうしても改善しなくてはならない。                      図書館の移転再建の話は、市役所東側の旧公会堂跡地、現図書館西の農協葬祭場跡地 スターアイランド閉鎖に伴う跡地など、漏れ聞いたが、具体策は明らかにされていない。いずれにしても、十分な駐車場用地、広い閲覧スペース、蔵書数の増加、司書など専門職員の配置増など、新図書館への要望は多い。                      近辺の都市型図書館としては、豊田中央図書館が先進的なものと思えるので、計画の参考にしてもらっては如何だろうか。                      なお、市民からこのような声がいろいろと寄せられているだろうが、それに対する市の受け止め方(採否)を、公開してほしい。「多くの市民が参画する市政」の実現のために。</p>	<p>新図書館を核とした中心市街地拠点施設の整備については、あらゆる世代が集い交流することができるスペースや憩いの空間など、複合的な機能を持つ施設としてまいります。                      なかでも、図書館については「ICTにも対応し、日常の居場所となる全世代を対象とした滞在型図書館」をコンセプトに、単なる図書の貸し借りの場ではなく、読書などで本を楽しみ、調べ物や生涯学習もできる、ゆとりある空間を持ち、また、新たな情報や人に出会い、子どもから高齢者までの多世代が交流できる図書館を目指しています。                      現在、その立地場所について、より具体的で実現性の高いエリアを候補地として絞り込むための調査検討を行っており、近鉄四日市駅直結エリア、JR四日市駅直結エリア、市庁舎東側広場の3つを候補地としております。立地場所については、市としての方針を示させていただいたのちに、市議会との議論を経たうえで、決定させていただきます。その後、具体的な図書館の整備内容について、改めて市民の皆様のご意見を伺いながら事業を進めてまいります。                      また、駐車場確保についても、駐車場の需要と周辺駐車場の供給台数、公共交通機関の利用可能性など、様々な視点からの交通アクセスを勘案しながら、検討してまいります。</p>
20	<p>『四日市市新総合計画(素案)に対する意見書』</p> <p>四日市市の新総合計画素案では、図書館についてどのように計画されようとしているのか、私たちは注目しました。                      「素案」では、『産業・交流拠点都市』という未来のために、「都市の機能と魅力を高め、活力あふれる都市を創る取組」みを「特に力を入れる」課題としています。</p> <p>1 そのプロジェクトが「中心市街地の都市機能高次化」です。                      『NO1 WE DO 四日市中央通り 交通・にぎわい＋産業＋健康』                      ④「新図書館を中心とした(複合施設)立地など広域的な都市機能を集積するとともに、再開発など民間投資の誘導を図ります」。                      『NO2 四日市が仕掛ける中心市街地活性化の起爆剤 都市整備＋にぎわい＋教育』                      ①「新図書館を核として、…複合的な機能を持つ拠点施設を整備」。                      ②「新図書館においては…滞在型図書館」などを、具体的な取組みとしています。</p>	<p>本市の中心市街地活性化基本計画においては、中心市街地の区域を、東西はJR四日市駅周辺(国道164号まで)から堀木日永線まで、南北を阿瀬知川・鶴の森公園から柳通りを含んだ区域としています。                      新図書館を中心とした複合的な中心市街地拠点施設の整備にあたっては、上記の中心市街地のエリア、なかでも近鉄四日市駅からJR四日市駅の間においてランドマークとなるような施設を整備することで、幅広い年齢層の人々を惹きつける魅力的な空間を創出することを目的としています。これにより、本市の玄関口である中心市街地の機能を高次化させ、まちの魅力と活力を高めることに寄与する施設としていきたいと考えています。                      また、新図書館が市内唯一の中央図書館であり、その利用圏が全市的であることから、公共交通機関や幹線道路など、都市インフラが充実し、施設利用者にとっても利便性の高い場所に整備することが望ましいと考えています。                      新図書館のコンセプトにつきましては、平成29年度に策定した中心市街地拠点施設整備基本計画において、「ICTに対応し、日常の居場所ともなる全世代を対象とした滞在型図書館」としており、今後、このコンセプトに基づいた具体的な整備内容を検討してまいります。                      現在、立地場所について、より具体的で実現性の高いエリアを候補地として絞り込むための調査検討を行っており、近鉄四日市駅直結エリア、JR四日市駅直結エリア、市庁舎東側広場の3つを候補地としております。立地場所については、市としての方針を示させていただいたのちに、市議会との議論を経たうえで、決定させていただきます。その後、具体的な図書館の整備内容について、改めて市民の皆様のご意見を伺いながら事業を進めてまいります。                      また、検討にあたっては、図書館のさらなる充実やサービス向上を目指して進めてまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
20続	<p>2 次のプロジェクトが「子育て家庭の安心実感倍増」です。          『NO5 社会教育施設をはじめとした地域資源の魅力発見 子育て+教育+環境+地場産業+市民協働』          ② 「図書館からの読み聞かせ出前講座」を通じて、「本市の魅力を感じ発見し、誇りを育てるとしています。」          プロジェクト、具体的な取組み、図書館に関する問題点は、次の通りです。          1 都市機能高次化プロジェクトは、中心市街地活性化の区域でも近鉄四日市駅からJR四日市駅という狭いエリアを対象にしています立地場所は、当然のようにこのエリアとされています。          また、図書館は広域的な都市機能の誘導施設として位置づけられ、民間投資の誘導を図るとしています。          2 子育て家庭の安心実感倍増プロジェクトは、子どもが本市の魅力を感じ、誇りを育てるとしています。          「本の魅力を感じる機会、子どもたちが本を自由に手にする環境をつくり、子どもと本を結びつける「人」を育てるのは、行政の責任です。市内小中学校に派遣される学校司書の現況は、改善を要します。          (2) 新総合計画の素案では、図書館は教育機関との視点が不十分です。          今後10年間の「分野別基本政策」に「図書館サービスの充実、はありません。          新図書館の整備とともに、「基本政策」として計画されなければ、総合計画としての公平を欠きます</p> <p>次に、問題点から課題解決に向けて意見表明します。          1 新総合計画には、中央館の整備だけでなく、四日市のどこに住んでいても利用できる、身近な図書館が必要です。          図書館は、市民に適切なサービスができるように、立地場所の検討に際しては、市民の居住分布・市民生活の導線、交通網を勘案して、適した位置に整備することが肝要です。          また、市域の広さと居住地域を考えると、中央館だけでは充分ではありません。          このことは、市立図書館の一人当たり貸出冊数を検討すれば明らかです。          市の平均値(2.62冊、2018年実績)の8分の1～4分の1までが、保々地区、富州原地区、水沢地区、下野地区、楠地区です。分館などの図書館配置計画が必要です。          中心市街地活性化のために、都市機能の誘導として中央図書館を整備するだけではダメです。          全ての市民を対象に図書館サービスを提供するという教育課題及び地域間の格差を解決するために、「どこでも誰でも身近に利用できる図書館」を構想立案することを強く要望します。</p>	<p>前頁にて記載済</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
20続	<p>2 新総合計画では、図書館のコンセプトについて再考して下さい。                  新総合計画素案での拠点施設は、「あらゆる世代が集い交流することのできるスペースや憩いの空間」という複合的で高機能の拠点施設です。                  拠点施設での図書館は、多くの市民を集客できる施設として期待され、利用者の8割が図書館利用者だと推定されています。                  そうであれば、図書館サービスの「市民満足度」を高める必要があります。                  図書館は供給が需要を生み出すと言われています。                  ここは基本にたちかえり、市民の学びを支援する図書や情報の提供のため、図書館サービスを充実(=蔵書と図書館職員の充実)する政策へと転換して下さい。                  この視点を欠いては、「にぎわい」の創出としての拠点施設、中心市街地活性化の成否にも影響しかねないと、強く懸念しています。                  新総合計画素案に対する意見書を通じて、まちづくりとは何か、図書館は何ができるのか、改めて考えてみました。                  都市整備やにぎわいと一体化する図書館。一方で「感じたり、考えたり、行動したりするときの手がかりになる」本や情報を提供する図書館。                  図書館の活動が地域社会での人々の諸活動を促し、活動の改善や問題を解決していく四日市のまちづくりとつながっていることを、これからも考察していきたい。                  私たち「新しい図書館を考える四日市市民の会」は、新図書館が『市民参加による市民の図書館』として早期に整備されることを切望し、意見書とします。</p>	<p>前頁にて記載済</p>
21	<p>四日市市新総合計画の中心に新図書館建設を入れることに賛成です。スターアイランドを市の財産として購入し、改築工事の後、図書館中心の文化施設となることを希望します。                  (理由)①四日市の顔ともなる駅前が飲み屋街でおおわれるのは、こころが傷みます。市が購入しなければ、あの施設は飲み屋街にのみこまれます。                  ②図書館になれば、学生が駅と直結する図書館を大いに利用できます。交通の便がよい。高齢者も利用しやすくなります。                  ③図書館としては今のビルのままでは、天井が低いので改築、新築の必要があります。駐車場がないのも、大問題です。ぜひ対策を。                  ④そこで、提案があります。現図書館を中央館として、生かし維持すること。駅前の図書館を分館として作る。四日市には分館が少なすぎます。</p>	<p>新図書館を核とした中心市街地拠点施設の整備については、あらゆる世代が集い交流することができるスペースや憩いの空間など、複合的な機能を持つ施設としてまいります。                  なかでも、図書館については「ICTにも対応し、日常の居場所となる全世代を対象とした滞在型図書館」をコンセプトに、単なる図書の貸し借りの場ではなく、読書などで本を楽しみ、調べ物や生涯学習もできる、ゆとりある空間を持ち、また、新たな情報や人に出会い、子どもから高齢者までの多世代が交流できる図書館を目指しています。                  現在、その立地場所について、より具体的で実現性の高いエリアを候補地として絞り込むための調査検討を行っており、近鉄四日市駅直結エリア、JR四日市駅直結エリア、市庁舎東側広場の3つを候補地としております。立地場所については、市としての方針を示させていただいたのちに、市議会との議論を経たうえで、決定させていただきます。その後、具体的な図書館の整備内容について、改めて市民の皆様のご意見を伺いながら事業を進めてまいります。                  また、駐車場確保についても、駐車場の需要と周辺駐車場の供給台数、公共交通機関の利用可能性など、様々な視点からの交通アクセスを勘案しながら、検討してまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
22	<p>①四日市市立図書館について</p> <p>◎近鉄百貨店東のスターアイランドが2020年2月で閉鎖されますので、この地を買い取り、ここに図書館を建ててほしい。</p> <p>※現在のビルは天井が低いので、図書館環境にふさわしい開放的なものに。</p> <p>※現在の5階と同じ高さで4階にすれば開放感がある。</p> <p>◎1階を駐車場に。</p> <p>◎2階の現行の近鉄百貨店への通路は再度同様に作る。</p> <p>……そうすれば、近鉄を利用して登下校する高校生にとって利便性が高くなる。</p>	<p>新図書館を核とした中心市街地拠点施設の整備については、あらゆる世代が集い交流することができるスペースや憩いの空間など、複合的な機能を持つ施設としてまいります。</p> <p>なかでも、図書館については「ICTにも対応し、日常の居場所となる全世代を対象とした滞在型図書館」をコンセプトに、単なる図書の貸し借りの場ではなく、読書などで本を楽しみ、調べ物や生涯学習もできる、ゆとりある空間を持ち、また、新たな情報や人に出会い、子どもから高齢者までの多世代が交流できる図書館を目指しています。</p> <p>現在、その立地場所について、より具体的で実現性の高いエリアを候補地として絞り込むための調査検討を行っており、近鉄四日市駅直結エリア、JR四日市駅直結エリア、市庁舎東側広場の3つを候補地としております。立地場所については、市としての方針を示させていただいたのちに、市議会との議論を経たうえで、決定させていただきます。その後に、具体的な図書館の整備内容について、改めて市民の皆様のご意見を伺いながら事業を進めてまいります。</p> <p>また、駐車場確保についても、駐車場の需要と周辺駐車場の供給台数、公共交通機関の利用可能性など、様々な視点からの交通アクセスを勘案しながら、検討してまいります。</p>
23	<p>四日市のまちづくりの一つのシンボルとして、文化・教育活動の拠点となる”図書館づくり”は、特に重視すべきだと考えます。</p> <p>質、量ともに30万人都市にふさわしい図書館となることを望みます。</p> <p>現在の市立図書館も存続させた上で、近鉄四日市駅直結の便利な場所での新図書館建設をして下さい。</p>	<p>新図書館を核とした中心市街地拠点施設の整備については、あらゆる世代が集い交流することができるスペースや憩いの空間など、複合的な機能を持つ施設としてまいります。</p> <p>なかでも、図書館については「ICTにも対応し、日常の居場所となる全世代を対象とした滞在型図書館」をコンセプトに、単なる図書の貸し借りの場ではなく、読書などで本を楽しみ、調べ物や生涯学習もできる、ゆとりある空間を持ち、また、新たな情報や人に出会い、子どもから高齢者までの多世代が交流できる図書館を目指しています。</p> <p>現在、その立地場所について、より具体的で実現性の高いエリアを候補地として絞り込むための調査検討を行っており、近鉄四日市駅直結エリア、JR四日市駅直結エリア、市庁舎東側広場の3つを候補地としております。立地場所については、市としての方針を示させていただいたのちに、市議会との議論を経たうえで、決定させていただきます。その後に、具体的な図書館の整備内容について、改めて市民の皆様のご意見を伺いながら事業を進めてまいります。</p> <p>また、駐車場確保についても、駐車場の需要と周辺駐車場の供給台数、公共交通機関の利用可能性など、様々な視点からの交通アクセスを勘案しながら、検討してまいります。</p>
24	<p>(図書館について)</p> <p>現在市で検討している中心市街地拠点施設に図書館が入る計画について、市民には、ほとんど内容が知らされず市民の意見の反映も期待できない。市としては、市街地活性のための起爆点としたいと計画していると思うが、そのためには、もっと情報公開、市民の意見聴取を行い市民を巻き込みより良い計画を目指し盛り上げていくべきだと思う。その一方図書館については、教育委員会を中心に今の図書館の良さ、欠点を考え、内容の充実したものにしていただきたい。</p>	<p>新図書館を核とした中心市街地拠点施設の整備については、あらゆる世代が集い交流することができるスペースや憩いの空間など、複合的な機能を持つ施設としてまいります。</p> <p>なかでも、図書館については「ICTにも対応し、日常の居場所となる全世代を対象とした滞在型図書館」をコンセプトに、単なる図書の貸し借りの場ではなく、読書などで本を楽しみ、調べ物や生涯学習もできる、ゆとりある空間を持ち、また、新たな情報や人に出会い、子どもから高齢者までの多世代が交流できる図書館を目指しています。</p> <p>現在、その立地場所について、より具体的で実現性の高いエリアを候補地として絞り込むための調査検討を行っており、近鉄四日市駅直結エリア、JR四日市駅直結エリア、市庁舎東側広場の3つを候補地としております。立地場所については、市としての方針を示させていただいたのちに、市議会との議論を経たうえで、決定させていただきます。その後に、具体的な図書館の整備内容について、改めて市民の皆様のご意見を伺いながら事業を進めてまいります。</p> <p>また、駐車場確保についても、駐車場の需要と周辺駐車場の供給台数、公共交通機関の利用可能性など、様々な視点からの交通アクセスを勘案しながら、検討してまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
25	<p>新図書館設立の際は、コストパフォーマンスに配慮した予算の使い方を考えて欲しい。</p> <p>本市の図書館(学校図書館を含む)は図書購入費の他に蔵書をバーコード管理するために必要なMARC(マーク)と呼ばれる電磁的書誌情報が必要となる。蔵書管理をおこなう電子機器はリースであるが配信されてくるMARC代は随意契約であり、市立図書館のコンピューターはTRCが製造したMARC以外は使用出来ない仕様になっている。つまりTRCは委託を受けた自治体に対し、自社から図書館用図書を買わなければ、その分MARC代金を値上げすることも可能である。特に本市小中学校の図書館の図書購入において、図書を市内に本拠地を置く業者から購入するという方針を打ち出して頂いても、TRC側がMARC代金を値上げしたら自ずと図書購入費を減らさねばならない。これはMARCを販売する側における優越的地位の乱用ととられても仕方がないと思う。また公共図書館と学校図書館とを再びネットワーク化することも聞かれるが、それもまた経費が必要となってくるので必要はないと思う。プロポーザル方式での業者選びではたとえ値段が高くても高機能のものが良いという考えになりかねない。新図書館は市民がかねてから期待する施策であるから、蔵書の充実・貴重資料の保存・新規の図書購入に、市は多くの予算を充てるように工夫をしていただきたい。また、学校図書館においても、読書の時間を朝一番に設定していることから、蔵書充実に力点を置くためにも費用対効果を考えて予算配分をおこなっていただき、子ども達が良い笑顔を見せる学校づくりをしていただきたいと思う。</p> <p>公共・学校とも図書館の最大の目的は本を探したり、読書したりする場なので、滞在やにぎわいという概念は、なくても良いと考える。</p>	<p>新図書館を核とした中心市街地拠点施設の整備については、あらゆる世代が集い交流することができるスペースや憩いの空間など、複合的な機能を持つ施設としてまいります。</p> <p>なかでも、図書館については「ICTにも対応し、日常の居場所となる全世代を対象とした滞在型図書館」をコンセプトに、単なる図書の貸し借りの場ではなく、読書などで本を楽しみ、調べ物や生涯学習もできる、ゆとりある空間を持ち、また、新たな情報や人に出会い、子どもから高齢者までの多世代が交流できる図書館を目指しています。</p> <p>現在、その立地場所について、より具体的で実現性の高いエリアを候補地として絞り込むための調査検討を行っており、近鉄四日市駅直結エリア、JR四日市駅直結エリア、市庁舎東側広場の3つを候補地としております。立地場所については、市としての方針を示させていただいたのちに、市議会との議論を経たうえで、決定させていただきます。その後に、具体的な図書館の整備内容について、改めて市民の皆様のご意見を伺いながら事業を進めてまいります。</p> <p>また、駐車場確保についても、駐車場の需要と周辺駐車場の供給台数、公共交通機関の利用可能性など、様々な視点からの交通アクセスを勘案しながら、検討してまいります。</p>
26	<p>新図書館の設立および運営は指定管理者に委託するのではなく、市直営でお願いしたい。</p> <p>素案にある2館は、いずれも指定管理者に運営等を委託しているが、その管理者選定過程は、提案説明を主として決定するプロポーザル方式を探っていると推察できる。</p> <p>たとえ、現在まで長く市内で営業してきた中小業者があるとしても結局受託されるのはPR等に多額の経費を投ずる事の可能な東京の大手図書館事業者となってしまうと思う。本市内の住民や零細業者からの沢山ある意見や提言を軽んじて、例えばTRCやツタヤ等大手からの調査結果や助言などを本市側が初めからじゅうぶんに聴いたうえで素案を作成した気がしてならない。現に、一昨年に催された新図書館に関するシンポジウムに於いても出席した市民から初めから結果有木の計画ではないのかという発言もあった。市中心地の活性化を目的に図書館を新しく建て、にぎわいのある街にするというねらいもあるのは分かるが、公立図書館は調査研究や絶版書等の貴重文献の保存、そして全世代に向けての読書推進が主たる目的である。</p> <p>カフェを併設しての滞在型ランドマークにするべきではないと思う。先日、自身も訪れたぎふメディアコスモスも机はスマホのイヤホンをつけて参考書を開ける高校生でごったがえして占領されていた。学校図書館でスマホを持ち込んで長居して読書ができないのと同じで、静謐さを必要とする場所である公立図書館に滞在型スペースやカフェを併設すべきではないと思う。寧ろ、例えば駅前前の諏訪栄町の商店街にオープンカフェを設営し、外資系のカフェに委託するのではなく、市が誇る万古焼で淹れた水沢茶を提供し、そして空き店舗を起業する人々に入ってもらうようにすれば、もっと素晴らしい市中心地となってゆくと思う。図書館の建設・デザイン・図書購入・運営する人員すべても市内からまかなって運営してこそはじめて、四日市ならではの雰囲気施設の施設となると考え、新図書館の設立および運営は、これまで通り、市が直営で行って欲しいと切に思う。</p>	<p>新図書館を中心とした中心市街地拠点施設の管理運営体制については、市直営をはじめ指定管理者制度など民間手法の活用を含めた検討を行う必要があると考えておりますが、現在は、立地場所については、より具体的で実現性の高いエリアを候補地として絞り込むための調査検討を行っており、近鉄四日市駅直結エリア、JR四日市駅直結エリア、市庁舎東側広場の3つを候補地としております。立地場所については、市としての方針を示させていただいたのちに、市議会との議論を経たうえで、決定させていただきます。その後に、具体的な図書館の整備内容について、改めて市民の皆様のご意見を伺いながら事業を進めてまいります。その中で、管理運営体制についても、市直営と民間手法の活用による管理運営とのメリット、デメリットを十分に比較検討し、市民の皆様に親しまれる図書館とするとともに中心市街地のにぎわい創出に資する施設となるよう、最も適した手法を選択してまいります。</p>
27	<p>(文豪丹羽文雄先生の偉業を現図書館が手狭のために四日市博物館に置いて良いはずが在りません。)私は現在あさけプラザを利用していますが、現中央図書館にお目当ての本があるにもかかわらずあさけプラザに届くには早くて2~3日、休日が間に挟まると4~5日間ほどかかってしまいます。出向けば当日で済みますが駐車場の事を考えると躊躇します。</p>	<p>現図書館に対するご意見として承ります。ご意見にいただきましたように、図書の取り寄せには一定の時間を必要としますので、ご了承くださいませようお願いいたします。今後とも図書の充実をはじめサービス向上に努めてまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
28	<p>リージョン・コアって「地域の核」ですか？                      具体的にどういうことなんでしょうか。                      スーパーメガリージョンも専門的すぎて一般人には伝わり難いです。                      リニアのおかげで、品川、名古屋、新大阪をひとつの圏となる。名古屋に近い四日市は大都市と距離が縮まるから産業的に躍進するチャンスだ！ということでしょうか？                      私は結婚後22年間東京で暮らし、2年前から主人と共に四日市に拠点を移し、四日市市民となりました。それは何故か。                      東京に居なくても、東京の仕事は続けられるからです。                      10年前には考えられませんでした。インターネット環境の変化で、東京に居てもデータのやり取りで先方に向かなくても済む事が増え、高い税金と住居費を払ってまで都内に居る必要がないことに気づきました。                      住まいはJR四日市駅へ徒歩圏内なので、四日市⇔名古屋⇔東京が2時間半です。近鉄線を使うより名古屋駅内の新幹線乗り場への移動が楽で、日帰り出張も苦になりません。東京圏で2.5時間なら通勤している人もいます。                      こちらに来てから三重県在住のリモートワーカー(在宅勤務者)と知り合う機会が増えました。都内には500人の社員全員が在宅勤務者という企業があるそうです。                      将来、その会社の社員の大半が四日市在住で、子育てしながら東京の仕事をしているとしたら、それこそ産業革命ではないでしょうか。                      民間レベルではすでに始まっている「地方と大都市との距離感や働き方の変化」四日市市としてどんなアクションを起こすべきなのか。                      在宅勤務といっても東京や大阪などのオフィスへの出張は頻繁にあります。その場合名古屋へのJRでのアクセスの良さは重要です。</p>	<p>リージョン・コアは、ご意見のとおり地域の核という意味で用いている言葉です。                      このほかにも、解説を必要とする言葉については、資料編に用語解説を設けてまいります。                      東京、名古屋、大阪を結びリニア中央新幹線の開業によって、三大都市圏の一体化が進み、ヒト・モノ・カネ・情報が集まる大経済圏の形成が期待されています。                      本市としましては、その効果を最大限享受できるよう、東海地域の中で存在感を放つための取組を進めるとともに、AIやIoTなどの新技術を活用した新たなビジネスを創出すべく、例えば、近鉄四日市駅周辺のコワーキングスペースや産学官拠点などが立地してきていることを踏まえ、IT関連企業の進出や事業化を支援するための取組を進めていきます。                      これにより、物理的な名古屋への近さを生かすだけでなく、本市に居ながらにして全国レベル、世界レベルのビジネスを展開することができる環境を整え、働き方の変化や企業と地域社会との関係性の変化に対応してまいります。</p>
29	<p>JR四日市駅に仕事で出張してくる人が、駅前の閑散とした様子に驚きながらタクシーで相手先企業に向かう様子を見かけます。                      JRと国道1号線の間は素通りです、何も無いから。ホテルもカフェもコンビニも無い。                      私は、東京から戻ってくるたびに、やたら無駄に広いロータリーに「駅前市場」が常設であったら買い物して帰れるのと思います。鎌倉駅前にある「鎌倉市農業連即売所=レンバイ」のような住人には欠かせない存在で、観光名所でもある場所が欲しいです。四日市に住むようになって、三重県産食材の安さと新鮮さに驚きました。地元の人は当たり前過ぎて気がつかないかもしれませんね。                      第4次産業革命とか言う前に、ヒューマンスケールで街づくりを考えたいです。大都市に追いつこうと新しくするだけではなく、駅前の古いビルをリノベーションしてホテルにしたり、「駅前の市場」って地元の人だけでなく観光客も呼べると思います。海沿いの倉庫を利用したレストランなどの商業施設をつくるなど、今あるものの良さを直し、個性ある街づくりを目指す。                      最近、海外からの観光客は「日本人の暮らし」を観たいと地方の何でもない町や裏通りを訪れるそうです。生き生きと暮らす住民がいる街は、観光地としての価値も高いと思います。                      移転が決まった図書館計画はその街づくりの要となるでしょう。どこに建てるかではなく、どんな図書館にするのかビジョンが大切です。                      スターアイランドがなくなるし、駅に近いから図書館を移設しようというような安易な考え方ではなく、本当にここがベストなのか？！                      従来の「勉強する、調べる、借りる」はもちろんですが、ジュニアからシニアまで1日中、本と親しみながら過ごせる滞在型の図書館をぜひ造ってほしいです。飲食店が建ち並ぶ中の環境はどうか、あの敷地面積で十分なのかなど、街としての整備計画と併せて、専門家と市民が一緒に考えて行くべきだと考えます。                      今日生まれた子が成長し、豊かな子供時代を過ごし、大人になってもずっと住み続けたい四日市になることが、市の成長と発展に繋がって行くと思います。</p>	<p>・四日市市には、市の名称の由来でもある定期市が市内に10か所あり、買い物拠点として維持・再生に向けて取り組みを促進していきます。                      一方、中心市街地の商店街においては、にぎわいの創出につながるイベント開催への支援や幅広い世代にとって魅力あふれる商店街づくりへの支援に取り組み、商店街の活性化を図ってまいります。                      ・「基本的政策 交流を生み出す新たな四日市流都市型観光」にありますように本市は、保養や遊覧を目的とした旅行者等で常時人が集ういわゆる「観光地」としての地域特性が低いことから、市外・県外から人を呼び込むためには、本市ならではの歴史・文化資源の活用に加え、地域に眠る資源の掘り起こしや磨き上げなど、新たな都市型観光の創造に向けた取り組みを行ってまいります。                      また、「四日市萬古焼」や「日永うちわ」といった伝統と技術が受け継がれてきた地場産品や、伊勢茶(かぶせ茶)や大矢知手延素麺など多彩な特産品など、地域ブランドを用いた新たな四日市土産を生み出し、来街者が気軽に手に取り、選んでいただく仕組みを作っていきます。                      ・新図書館を核とした中心市街地拠点施設の整備については、中心市街地活性化の起爆剤となるべく取り組みを進めてまいります。                      平成29年度に策定した中心市街地拠点施設整備基本計画におきましては、新図書館整備に向けたコンセプトとして、「ICTにも対応し、日常の居場所ともなる全世代を対象とした滞在型図書館」としており、単なる図書の貸し借りの場ではなく、本に親しむとともに、調べ物や生涯学習もでき、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の人々が交流することができる図書館を目指しています。現在、立地場所の選定を行っている段階ですが、いずれの場所であっても、このコンセプトは変わることなく、新たな時代にふさわしい図書館を整備していきたいと考えております。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
30	<p>9月8日の四日市商工会議所でのシンポジウムを聞かせていただきました。初めて四日市市の総合計画を聞いて、様々なテーマについて考えられていることを知り、市民として四日市市が益々発展していくことを祈念しています。</p> <p>そこで、2つの意見・提言をさせていただきたいと思います。</p> <p>1. 中央通りの有効活用:分離帯にカフェを誘致 中央通りは広くて立派な道路で、中央の分離帯に緑が多く良いとは思いますが、中央分離帯はほとんど歩いている人も無く、閑散としています。この中央通りの分離帯にカフェ(萬古焼のスターボックス等)を誘致し、歩道橋で駅・近鉄百貨店、商店街を結んでほしいと思います。近鉄四日市駅とJR四日市駅間の新交通とコラボし、活気のある中央通りが出来るのではないかと思います。カフェ等が数件できれば、中央通りの分離帯を歩く人も多くなり更ににぎわうと思います。</p>	<p>四日市市新総合計画(素案)48ページ、126ページ1-(1)、127ページ3-(1)①に記載のとおり、中心市街地の都市機能高次化プロジェクトとして、駅前広場や歩行空間等の整備・高次都市機能の集積で居心地が良く歩きたくなる魅力的なまちなかを形成することを目的として、にぎわい創出に向けた玄関口に相応しい駅前空間の整備に取り組み、「WE DO」をキーワードにウォークアブルなまちづくりを進めます。</p> <p>なお、道路では私権を行使することはできず、原則道路内では、建築物を築造してはならないと定められているなど、いただいたご意見にあるカフェ等の施設を道路内に設置することは困難です。一方で、イベント開催時等の一時的な利用については認めることができる場合もあります。中央通りの並木空間の活用等の具体的な施策については、については、使いやすく快適な歩行空間の確保や賑わいの創出に向けて、今後、駅前空間の具体的な計画を進める中で、検討を進めてまいります。</p>
31	<p>2. JR四日市駅の活性化:ショッピングモールの誘致 JR四日市駅周辺が閑散としています。JR四日市駅には売店も無い状況で、周辺には飲食店もほとんどないという状況です。</p> <p>近鉄四日市駅とJR四日市駅間を新交通で結ぶという案を計画されているようですが、JR四日市駅側に魅力あるものが必要で、JR四日市駅の駅舎を建替えると共に、駅前広場、バス停留所、周辺の空き家のビル等を全体のスペースを使って、駅に直結したコストコ(大駐車場完備の)やイトーヨーカドー、イオンなどのショッピングモールを誘致するという案です。これにより、人の動きが変わり、近鉄四日市と同等の集客がJR四日市駅に出来、周辺にもどんどん飲食店などが出来るのではないかと思います。</p> <p>上記2案と検討させている図書館の新設により、近鉄四日市駅とJR四日市駅、それを結ぶ中央通りの活性化が大きく図られ、生まれ変わるのではないかと思います。</p>	<p>・四日市市新総合計画(素案)48ページ、126ページ1-(1)、127ページ3-(1)に記載のとおり、駅前広場や歩行空間等の整備とともに高次都市機能の集積を図り、中心市街地の活性化を図ることとしています。中心市街地に誘導する高次都市機能としては、図書館・博物館などの教育文化施設に加え、大規模な商業施設なども対象としております。</p> <p>・本市の駅前広場整備計画のハード事業とも連携しつつ、ソフト事業としてJR四日市駅に隣接する本町通り商店街等、既存の商店街に対して、にぎわいの創出につながるイベント開催への支援や幅広い世代にとって魅力あふれる商店街づくりへの支援に取り組み、商店街の活性化を図っていきます。また、空き店舗への出店を促していくための支援に取り組みしていきます。</p> <p>なお、民間投資の誘導を図る中では、商業機能の誘致についても検討してまいります。</p> <p>・新図書館を核とした中心市街地拠点施設の整備については、中心市街地活性化の起爆剤となるべく取り組みを進めてまいります。</p> <p>現在、立地場所選定のための調査検討を行っておりますが、いずれの場所であっても、中央通りを軸とした近鉄四日市駅～JR四日市駅間の活性化に寄与するものと考えております。</p>
32	<p>2. 環境先進都市はどのように進めるのですか。</p> <p>p23重点横断的戦略プラン②の都市像の3つ目に環境・防災先進都市がありますが、その具体策プロジェクト01～06には、環境の文字は一文字もありません。環境先進都市は、どこへ行ってしまったのですか？ 市内の郊外には残された自然は、変質するとともに、益々少なくなっています。一方、中心部には、ほとんど大きな公園もありません。都市の魅力を作るには、新たな緑の創造など、きれいな空気、水、緑といった新たな自然環境の創造も必要なのではありませんか。その空間は、そのまま防災にもつながると思います。ご一考下さい</p>	<p>・地域のかけがえのない環境を保全し、未来の世代へ継承していくためには、自然共生社会の実現に向けた取り組みを市民、事業者、行政が一体となって進めることが重要であると考えています。</p> <p>・都市における緑の確保は極めて重要であると認識しています。このため、今後中心部において進めていく近鉄四日市駅周辺等整備事業では、中央通りのクスノキ並木を活用した歩行空間の整備を予定しており、これと連携して諏訪公園、鶉の森公園のリニューアルを進めるなど、緑のある快適で高質な都市空間づくりに努めて参ります。</p>



「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
33	<p>市中心部のにぎわいを創出するにはカフェなどを取り入れた複合型の新図書館の建設が必要であると素案にて市側は言う。</p> <p>しかし指定管理者に財源や用地を委託して、流行りの滞在型複合施設的な図書館を作らせ運営させたとしても、初めのうちは珍しさも手伝って来館者は増えると予想できる。しかし後で、にぎわいがなくなってきた時に、その指定管理者が責任をとってくれるとは思えない。後々失敗だったと気が付いても、契約期間内は後には戻れない。今の市立図書でもMARC(書誌データ)を他社のものと替えたい時は、今までダウンロードしたMARCをシステムエンジニアを別途費用で以ってアウトプットしてからでないと、他社のMARCに乗り換えることが出来ないと、市職員から説明されたこともあった。</p> <p>多額の財源を投ずるのであれば、メリット以上にデメリットやリスクもそれ以上に想定せねばならないと思う。新図書館でも他でも、計画と予算だけ用意して、あとは指定管理者に一任しますでは行政としては心もとないし、指定管理者の肥やしになるだけの様な感がしてならない。</p> <p>新図書館をふくむ、市中心部のにぎわい策は、本来、行政が現状に見合った立案を細部まで検証したうえで正式案を議会・市民に提示し賛同してもらう事柄である。プロポーザル方式のような市役所の主観を中心とした委託業者の決定だけは本市の図書館行政においては、お控えいただきたいと思う。</p>	<p>新図書館を核とした中心市街地拠点施設の整備については、あらゆる世代が集い交流することができるスペースや憩いの空間など、複合的な機能を持つ施設としてまいります。</p> <p>なかでも、図書館については「ICTにも対応し、日常の居場所となる全世代を対象とした滞在型図書館」をコンセプトに、単なる図書の貸し借りの場ではなく、読書などで本を楽しみ、調べ物や生涯学習もできる、ゆとりある空間を持ち、また、新たな情報や人に出会い、子どもから高齢者までの多世代が交流できる図書館を目指しています。</p> <p>現在、その立地場所について、より具体的で実現性の高いエリアを候補地として絞り込むための調査検討を行っており、近鉄四日市駅直結エリア、JR四日市駅直結エリア、市庁舎東側広場の3つを候補地としております。立地場所については、市としての方針を示させていただいたのちに、市議会との議論を経たうえで、決定させていただきます。その後、具体的な図書館の整備内容について、改めて市民の皆様のご意見を伺いながら事業を進めてまいります。</p> <p>また、管理運営体制については、市直営をはじめ指定管理者制度など民間手法の活用を含めた検討を行っています。</p> <p>市直営と民間手法の活用による管理運営とのメリット、デメリットを十分に比較検討し、市民の皆様が親しまれる図書館とするとともに中心市街地のにぎわい創出に資する施設となるよう、最も適した手法を選択してまいります。</p>
34	<p>極論を許されるなら、ソフト・ハード面共に考え得る事実の総てを網羅した「机上談義」に過ぎない内容である思えるのは、実施する総合計画(事案・企画)の様々な事案は四日市市の行政権内だけで解決できる問題や課題に留まらず、何等の形で県及び国と関連する事業の対応が多々あると考えられ、協働あるいは要請・要望をしなければならぬ諸問題の抽出と検討が為されて居らず、しかも四日市市の市街地や工業地帯の大半が堆積層である軟弱な地盤の上に構築されている現状と日野・常磐・尾平地区から桑名に至る南北に縦断する活断層の存在を鑑みた場合に、昨今取り沙汰されている巨大地震である東海・東南海地震が発生した場合には甚大な被害を避けられず、市民の生命・財産及び安全・安心を担保する避難所・避難地及び救援物資の配送等の事案の提案及び検討が為されておらず、政策とは各管轄部署の枠を超えて考慮される総合的な総ての事案への対策を講じる努力をするべきではないでしょうか。</p> <p>某民間調査機関の調査に依る概算数値では巨大地震が発生した場合に予測不可能な人的被害は除外して四日市市内(市街地・港湾・コンビナート等やインフラの損害を含む)の物資被害総額が最低でも約6,000億円とも試算されている問題の対策については市行政単独ではなく県及び国との政策及び関連機関や企業に関連する問題や課題が多々あり、重大災害後の各地域の救援物資の集積場所・避難場所・救護・消火活動等の問題や課題の対策に関して全く検討されていない「素案」は四日市市が置かれている実情を把握していない綺麗事を羅列しただけの「総合計画」では価値と意味はなく、政策とは各担当部署の枠を超えて総ての事案に対処する事ではないではないでしょうか。</p> <p>この素案を基本にして次の段階へ進展をさせて行くとは思いますが、ソフト面では特に事業の進捗状況に依っては民間企業や民間人に関与及び協力を要請しなければならない場合があり、時間軸に伴う市民(人員)の増員の協力を図る範囲と方法の検討が為されておられません。</p> <p>そして実務・実働に関してはボランティアで処理する事は限定され対価が必要になると考えられ、有償・無償の範囲の決定と検討が為されておらないと思いますが如何でしょうか。や個人資産に関わる問題や課題にどのような対処をするかが問われる。</p>	<p>市民の生命・財産及び安全・安心を担保する避難所・避難地及び救援物資の配送等の事案の提案及び検討につきましては、基本計画(分野別基本政策)政策6 防災・消防、【基本的政策】地域の防災力を高めるまちづくりにおいて、3 展開する施策の(3)実効性の高い計画づくりと指定避難所の環境整備の中で位置付けています。学校や地域団体など関係機関との連携や協力のもと避難所運営体制の構築に努めるとともに、国や県等からの支援に備え、国・県・地域等関係機関と連携しながら実効性の高い受援計画の策定を行い、災害からの速やかな復旧を図る体制を構築してまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
35	<p>ソフト・ハード面の如何に関わらず「総合計画」に網羅されている事業の大部分の実施を2020年度～2029年度の10年間の短期間で実施するには市民との協議に依る合意形成を図り、準備を経て実施に入る手順を踏まなければならない、特にハード面の実施するに当たり現行の諸法律では行政権の強制執行及び命令が不可能な状況下で、民間企業および事業や民間との交渉・折衝期間、そして合意形成を経て実施に至る期間を考慮した場合に不可能であると考えられ、その方法の検討が記載されていません。</p> <p>県や国からの補助金額は多くを望めず、年次毎の市の予算では限界があり市債等に頼らなければならないと、少子化へ向う次世代に負の遺産になる負担額は相当な金額を残す事を認識しなければならないと思いますが如何でしょうか。</p> <p>四日市市「総合計画」の実施には全市を対象としたソフト・ハード面共にあらゆる問題や課題を考慮した場合に「総合計画」素案を10年間で実施する事は不可能な事は明白であり、長期的な展望に依って市民と協働(参画)で充分な議論・検討の結果において実施の是非を決定しなければならず、市民に夢を膨らませて期待をさせておきながら、原資(予算)の不足と期間が足りずに実施が出来ませんでしたでは市民に対する冒流行為であり総合計画」の甘さを指摘され市行政への信頼を失墜させる事になると思いますが如何でしょうか。</p> <p>各事業や事案に対して掘り下げた検討のない綺麗な事を羅列した「総花的」な机上談義の素案では意味と価値がないと思われませんが如何でしょうか。</p>	<p>ここ数年、本市の財政運営においては、市内企業の好調な業績やIT 関連企業の大型設備投資に支えられて市税収入が好調ではあるものの、国内外の経済環境の変化は激しく、市税収入が急減するリスクも十分に想定しておく必要があると考えており、施策の実施に際しては、「最小の経費で最大の効果を上げること」、「選択と集中による重点施策の展開」といった観点から取り組んでまいります。</p> <p>また、平成30年度に現総合計画の進捗状況を検証した結果、計画に掲げた重点的施策に基づく実施施策280 項目のうち、269 項目について施策を十分(又はかなり)実施することができ、全体の96.1%に成果が見られる結果となりました。</p> <p>このような市政運営のノウハウを生かして、新総合計画が机上の空論とならないよう、そして、これまでの先人たちの知恵とご努力によって今日の成長と発展が築かれたことを忘れることなく、今後のまちづくりに取り組んでまいります。</p>
36	<p>官民を問わず施主側の立場で言えば、用途目的の事業実施の資金の調達・採算の問題・借り入れ金額の返却期間等を十分に検討の結果に於いて是非を決定して発注する手順を踏まえるものです。私事で恐縮ですが民間企業(スーパーゼネコン)に在籍していた当時、物件毎に規模と工事金額の相違はありましたが、携わる総合産業を束ねて完成させる責務に従い、工事に伴う近隣地域へのコミュニケーション・施主への対応・工事の進捗状況・工事予算内(請負金額)の執行を含む、あらゆる事案を細部に亘り検討し施主側の要望に応えるべく遂行・完成に向けて努力をしてまいりました。</p> <p>この素案を総花的な「机上談義」の素案を作成した「組織」は金の執行実務の未経験であると推定致しますが如何でしょうか。</p> <p>資料が庁内に残されているかどうかは判りませんが、過去に四日市市に依って立案された常磐地区中心部135ヘクタールの「都市再開発計画」実施組織の地区代表の一員として参画をしておりましたが、数年間で頓挫した要因は市当局から地区住民への構想図等の情報開示が不備であった事と実施に伴う地区住民の各個人財産の削減範囲と移転等の補償、所謂利害関係の問題等に付いて納得が得られる充分な原資(予算)の説明が為されず、全く合意形成が得られなかった事を付記させていただきます。</p> <p>その結果として常磐地区は市街地に存在しながら、大火・巨大地震・水害等の有事の際に対応が不可能な道路事情と住環境の地域が現存したまに残されている現状なのです。</p> <p>「社会」とは時代毎に異なる複雑な要因(文化・経済・社会形態等)と、四日市市中心街の不動産等には行政の介入が不可能な利害関係(多重抵当権や債務等)が多々存在している実情を「素案」の作成者は理解していないと考えられ、行政が過半数の市民に納得が得られる「総合計画」が提案をするには、様々な問題や課題をクリアしなければ実施は不可能ではないでしょうか。</p> <p>理想の前には解決が困難な社会の現実が障壁として存在している事をも理解をしなければならぬのではないのでしょうか。</p> <p>以上 謝、乱文</p>	<p>・素案P5「総合計画の構成と計画期間」にあるように、総合計画は、基本構想・基本計画・推進計画の3層構造となっています。今回の素案は、そのうち基本構想と基本計画にあたる部分であり、今後10年間のまちづくりの方向性及びそれに基づく施策の方向性を示すものです。基本構想・基本計画に基づき、実施する具体的事業につきましては、基本構想・基本計画の確定後に策定する推進計画に位置づけてまいります。また、具体的事業実施の段階においては、ご意見にいただいたように様々な調整とともに、予算の裏付けを行っていくことにより、計画の実現に取り組んでまいります。</p> <p>・本市を取り巻く社会情勢や市場の変化などにより、実現に至らなかった計画もあります。一方で、存在する課題を踏まえてその解決に努めていく必要があり、新たな時代の潮流を見据えて総合計画の策定に取り組んでおります。いただいたご意見を参考にさせていただき、計画の実現化に取り組んでまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
37	<p>※2、1日中、誰もが充実して過ごせる場所がある。</p> <p>&lt;重要&gt; 市の発展の阻害要因となる四日市駅直近へのマンション建設は、絶対に避けなければならないと考える。</p> <p>※2、四日市駅から直結して総合アミューズメントビルを創ると1日任ごせる。 駅の西側か、東側のバス停へ行くのも便利でスムーズ動線がいいスターアイランドの跡地がベターと考える</p> <p>アミューズメントビルには</p> <p>①図書館、</p> <p>②四日市の学力向上→学生が自主勉強できる場所(1人様の机)を1フロア一設置する (娘談…勉強は家では甘えがあるため集中できない、又、友達や同年代の子勉強している姿を見るとヤル気が出るとの事。)</p> <p>③生涯学習センター、防災学習センターを設置する</p> <p>④スポーツ、ジムの様な体力増強ができる</p> <p>⑤娯楽(囲碁、シヨウギ、マーじゃん etc)…高齢者のボケ防止</p> <p>⑥各スポーツ、文化サークル</p> <p>⑦軽食、喫茶店 etcがある</p>	<p>中心市街地で誰もが充実して一日を過ごせるよう、多様な機能をあわせ持ったアミューズメントビルを建設するというご提案をいただきました。</p> <p>素案においては、「四日市が仕掛ける中心市街地活性化の起爆剤」として、新図書館を中心とした複合的な機能を持つ中心市街地拠点施設の整備を掲げています。</p> <p>拠点施設を中心部のランドマークとなるような施設とすることで、幅広い年代層の人々を惹きつける魅力的な空間を創出していくことを目的としており、新図書館のほか、様々な文化的活動の練習や発表ができる場として多世代が交流できるスペースなどについても検討を行っております。</p> <p>現在、その立地場所について、より具体的で実現性の高いエリアを候補地として絞り込むための調査検討を行っており、近鉄四日市駅直結エリア、JR四日市駅直結エリア、市庁舎東側広場の3つを候補地としております。立地場所については、市としての方針を示させていただいたのちに、市議会との議論を経たうえで、決定させていただきます。その後、具体的な図書館の整備内容について、改めて市民の皆様のご意見を伺いながら事業を進めてまいります。</p> <p>また、市では、地区市民センターでの各種講座をはじめ、市民大学一般クラスや熟年大学などの生涯学習事業を行い、市民の皆様のライフステージに応じた学習機会の提供に取り組むとともに、市民の皆様のも多様な活発な文化活動の支援に努めております。その一環として、平成28年12月には、市民の芸術文化活動の場、生涯学習活動の場などの機能を持つ施設として、三浜文化会館を開館し、さまざまな事業の実施を進めております。</p> <p>新図書館を中心とした拠点施設の整備にあたっては、こうした既存事業との連携も図りつつ、相乗効果が生まれるよう努めてまいります。</p>
<p>③幸せ、わくわく！ 四日市生活</p>		
38	<p>四日市に生まれ、育ち、第一定年を過ぎた現在、愛着のある「四日市」をより良くして頂きたい一心でコメントさせていただきます。</p> <p>「健康・生活充実都市」、「幸せワクワク！四日市生活」につきまして、私の希望は、幼少期の四日市の勢いを今の時代にアレンジした再生です。</p> <p>昭和30年代に生まれた目で、「四日市」の駅前は憧れの地であり親に連れられてお出かけする日はワクワクしてたまりませんでした。当時は近鉄電車も平面を走っており、駅から一歩出たらにぎやかな一番街でJRの駅まで諏訪商店街が続いており子供心にその活気に心躍らされたものでした。今思うと宿場町「四日市」が息づいていたのでしょうか。</p> <p>今、四日市の駅前が目につくのは飲食店と学習塾というのめいかなもののでしょうか。</p> <p>四日市への期待① リバイバル「宿場町 四日市」 **駅前商店街を再活性化するため、計画的に「四日の市」を大々的にアピール出来るよう抜本的に大規模商店街にしてみたい**</p>	<p>・中心市街地の商店街をはじめとする商業の振興につきましては、にぎわいの創出につながるイベント開催への支援や幅広い世代にとって魅力あふれる商店街づくりへの支援に取り組み、商店街の活性化を図っていきます。また、空き店舗への出店を促していくための支援に取り組むとともに、特に諏訪地区においては、小売店など飲食店以外の店舗の出店を促進していきます。</p> <p>・四日市新総合計画(素案)48ページ、126ページ1-(1)、127ページ3-(1)④⑤に記載のとおり、中心市街地の都市機能高次化プロジェクトとして、駅前広場や歩行空間等の整備・高次都市機能の集積で居心地が良く歩きたくなる魅力的なまちなかを形成することを目的として、にぎわい創出に向けた玄関口に相応しい駅前空間の整備に取り組むとともに、中心市街地における再開発など民間投資の誘導を図ります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
39	<p>私は、高齢社会の改革に最善を尽くしてほしいと思っております。</p> <p>そう思ったきっかけとして、私自身の最近の出来事でしたが、娘と実家の近所の地域の小さい公園に行ったときに、91歳の男性のご老人に会い、何気なくあいさつを交わした後、世間話をし、その男性から心中を吐露されました。</p> <p>男性は奥さんと二人暮らしでお二人ともご年配です。奥様は体調をくずされていて、家事の全てをその男性がされているそうです。慣れない家事を91歳の男性が一人でこなし、とても苦勞されています。息子さんも遠方に住んでおり、頼れない状態です。病院に行くのでさえも、高齢ドライバーの免許返納を国が、社会が進めているにも関わらず、近距離のタクシーの乗車は断られる、目的地へのバスは、遠回りでの路線や乗りかえのバスしかなく、体力を使うことや金銭的な面でのデメリットがあります。</p> <p>年金も受け取れる額の減少や受け取れる年齢が上がっています。これは免許返納と高齢者の交通利用に関して全く比例していません。男性は長生きしていることを消極的に思われています。私は男性が一人で抱え込んでいることや一人で努力していることに何かできないかと考えさせられました。</p> <p>おそらく高齢者で同じ悩みや苦勞をなされている方は一部にすぎず、多数いらっしゃると思います。四日市市だけでなく、これは国の問題でもあると思います。ですが、まず私とその男性のためにも、四日市市のご高齢者の方のためにもできることはないかと考えた時、四日市市役所のHPを開けてみると調度この「四日市市新総合計画」に対する意見提出の掲載が目飛び込みました。</p> <p>前書きが長くなりましたが、意見としましては、四日市市も少子高齢化に直面しています。四日市市は最善を尽くして欲しいこととして、高齢者は、孤独な方が多く、一人でかかえこもうとする方が多いことを理解して頂き、高齢が支援を必要とつたえる前から一定の高齢の年齢になりましたら、市役所の方で地域などの担当を決めて、該当の高齢者、またはご家族と面談を数か月ごとにするによって、本人やその家族がかかえていることに問題を解決する方法の提案(ケアマネージャーとのやりとりや訪問看護・老人ホームへの入居などのすすめ、免許返納など)また徘徊者が年々、増えているので頻りに面談を行うことによって未然に本人の異変に気付き、防止につながると思います。現代は独身者が過去に比べ急増している世の中です。</p> <p>徘徊や孤独死など悲惨なできごとを減らすためにも高齢社会の現状改革に力を入れてほしいと思います。職員だけでは対応が難しくればボランティアも導入することも一つの方法だと思います。高齢者の中には、一人暮らしで誰とも話す機会がない方、同居家族からめんどくさがられ、冷たくされている方も多くいらっしゃると思うので、面談だけにとらえず、心のケアや話し相手、お茶の時間をいっしょに楽しむ、地域へのコミュニティへの参加を勧めるなどして高齢者のいきいきした生活への支援、また高齢者が安心して生活できる社会を築いていって欲しいです。</p> <p>また、四日市市の交通利用についても高齢者のことを考え、見直して頂きたいです。(前文に理由は記入済)</p> <p>四日市市がこの案を発信し、全国に広まれば嬉しく思います。</p> <p>最後まで読んで頂き誠にありがとうございました。</p>	<p>・ご意見の通り、少子高齢化が進展し、個人の抱える課題が複雑化している状況にあります。</p> <p>そのため本市では、介護保険制度の改正を機に導入された介護予防・日常生活支援総合事業を活用し、ボランティア等の多様な人材や団体の協力を得ながら、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、支え合いの仕組みづくりを進めているところであり、今後も施策の拡充に努めます。</p> <p>・四日市市新総合計画(素案)122ページに記載のとおり、人口減少・高齢化が進む中での移手段の確保は大きな課題と認識しています。そこで、マイカーに依存せず、歩いて暮らせるまちを目指し、123ページ(1)(2)に記載しているような取り組みを進めてまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
40	<p>「高齢者を活用する為に」            少子高齢化の進展で労働力が減少する、一方で介護や福祉支援を必要とする人が増加する。            この課題を解決するために、高齢者の活用が不可欠となる。            しかし、それは解決が相当困難な課題である。            何故か？私なりに考えると次に様に思う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. お金に困っていない、又はお金に困っていると思われたくない。→お金以外の魅力を得られるかが決め手。社会に貢献しているとか、地球環境の保全に役立つとか、納得出来る動機付けが必要。</li> <li>2. 別な楽しみに時間を取られているので、長時間を拘束されたくない。→フルタイムではなくスキマ時間の活用とか、働く時間・場所を選択出来る事が必要。</li> <li>3. 身体的な衰えが気になり、体力を使う事に消極的である。→身体を使うなら機械や道具、ロボットの利用により負担を軽減すること。軽い負担で、体力の衰えを軽減するならば良い。</li> <li>4. 新しい事に取り組む好奇心が衰えている。→取り組む事の全体像が分かりやすく、親しみを持てる様な説明ツールが必要。</li> <li>5. 現役時代の組織の経験から、上下関係や政治的な思惑に悩まされたくない。→出来るだけフラットな運営形態をとり、参画意識の持てるものが大切。</li> <li>6. その他</li> </ol> <p>これらの問題を解消する、又はその問題があっても、それらを上回る魅力がある動機付けが必要となる。            ヒントは次の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ボランティア経験→動機付けの模範例</li> <li>2. ブロックチェーン→機密性と匿名性、トレーサビリティ</li> <li>3. IT活用→活動対象・主体の把握、情報蓄積・共有</li> <li>4. AIやロボット→低い負担(コスト・負荷)で活動を進める</li> <li>5. クラウドファンディング→賛同者を募り規模の拡大</li> </ol> <p>そして、小さくても成功例を作る事、そしてその情報を拡散して多くの人の理解を得る事が大切だと思う。            地域にどの様な高齢者が居るのか、どの様な経歴・スキルを持ち、どの様な生活をしているのか、ある程度把握する必要がある。個人情報保護の時代ではあるが、本人の承諾を得られる様な情報活用・管理を説明すればデータとして蓄積できるはずである。            主要な文化活動への参加者だけでも相当の人数となる筈であるし、その様な人の方が協力を得られると思う。            以上</p>	<p>・シニア世代の方々、いつまでも健康で元気に過ごし、自分らしく社会で活躍できるよう、健康寿命の延伸を図るため、各部署がそれぞれの施策を連携させながら、生涯健康であり続けることのできる環境づくりや仕組みづくりをしてまいります。</p> <p>・高齢者が住みなれた地域と関わりを持ちながら、健康に暮らしていくための提案として、大変示唆に富んだご指摘であると考えます。</p> <p>①ボランティアについて            2025年問題など、高齢者に関わる諸課題が今後10年間の大きな課題であると認識しております。市民協働・社会貢献活動を担当する課として、ボランティアへの参加は重要な分野と位置付け、例えば、地域におけるリーダーの養成を目的とする「地域づくりマイスター養成講座」の開催など、市民協働促進計画に基づき、各種事業を展開しており、今後も内容の充実を図りながら、継続していく予定です。</p> <p>高齢者が地域で活躍していただく際の問題として、1に記載いただいた動機付けの問題がございます。ボランティアへの関わり方には、単純作業から特殊なスキルを生かした専門性の高いものまで、さまざまな形態が考えられ、市として多種多様な実践例・成功例を紹介し、活動の意義について啓発を進めていきたいと考えております。例えば、非営利活動という枠組みの中で、地域における課題解決に向けたコミュニティビジネスの展開などについて支援をしてまいります。</p> <p>②クラウドファンディングについて            市民活動団体・NPOが継続的に活動を行っていくためには、会費収入だけではなく、団体自らが資金を集めることが重要です。市内の団体に対するクラウドファンディング実施例についてのヒアリングにおいて、手数料率の高さなど多くの課題があることについても認識しております。クラウドファンディングを含め、市内の市民活動を活性化するための資金調達の手法について、市民協働促進計画に基づく事業のなかで検討を進めていきます。</p>
41	<p>締め切りぎりぎりです申し訳ありません。私自身、四日市大好き人間です。総合計画読ませていただいているだけでワクワクします。            ・幸せわくわく！四日市生活。ステキなネーミングです。今後もわくわくしながら私も何かしら地域の魅力になれたらいいなと思っています。ありがとうございます。</p>	<p>人生100年時代において、子どもから高齢者まであらゆる世代の人が、いつまでも元気で活躍でき、暮らしの中で楽しみと幸せを実感しながら、四日市に住んで良かったと思っただけのまちとなるよう、いただいた応援のお声を励みに、今後とも取り組みを進めてまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
Ⅲ. 基本計画 分野別基本政策 について		
①子育て・教育		
42	公立幼稚園を3年保育にしてほしい。	教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。
43	公立幼稚園を3年保育で受けたいです。	教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。
44	公立幼稚園で3年保育をしてほしいです。	教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。
45	公立幼稚園の教育内容に賛同している。3歳児保育を始めてほしい。	教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。
46	公立幼稚園において3才児保育と延長保育。をになう	教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。 就労をしている保護者の方々のニーズにつきましては、保育園や認定こども園の保育認定での対応を考えています。
47	公立幼稚園でも3年保育を残してほしいです。	教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。
48	3年保育ならもう少し幼稚園に人が入ると思います。	教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。
49	公立幼稚園でも3年保育を受けたいです。 子供の世界を広げてほしいです。	教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。
50	公立幼稚園の園児が減少しているため私立と同じように3年保育になればもっとたくさんの人に利用してもらえそうです。	教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。
51	四日市の公立幼稚園が2年保育ではなく3年保育になれば、公立幼稚園に入園する児童も多えて、いくのではないかと思います。	教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。
52	公立幼稚園に、3歳児保育や預かり保育を導入してほしい。	教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。 就労をしている保護者の方々のニーズにつきましては、保育園や認定こども園の保育認定での対応を考えています。

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
53	<p>幼稚園で3才からあずけられると、とてもうれしいです。 小学校も近いので入園の人がふえとお友達もふえて、小学校になってもお友達多くいられて子供達は親友がふえてとてもいいです。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
54	<p>・少子化と言われてますが四日市市はとても子どもが多いと思います。 なかなか学区内の保育園に第1希望をおいても入れなくて辛い思いをしました。 ・今は幼稚園に通っていますが、公立なので2年保育です。 私立のように延長保育までは求めませんが、年少から入れるようになるととても助かります。</p>	<p>保育園の入園につきましては、私立幼稚園の新設等により受け入れ枠を拡充してきたところであり、今後も適正な受け入れ枠を確保していきます。 教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
55	<p>公立幼稚園での3年保育を希望します。 適切な集団規模での教育が困難になっているのは公立幼稚園が3年保育をしていないからであって公立幼稚園で3年保育をのぞむ声はたくさんあります。 四日市市としてすべての子どもたちに公的役割をはたしていくためにも、公立幼稚園での3年保育を行う必要があるのではないのでしょうか。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
56	<p>三年保育はいいと思います。ただ、私立の幼稚園、こども園、保育園のことは、記載があるのに、公立幼稚園のことは、少ししか記載がありませんでした。 公立の幼稚園も良い所は沢山あると思いますので、公立幼稚園の存続も検討してもらいたいと思います。</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。 教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
57	<p>子どもを公立幼稚園へ通わせている2児の母親です。 公立幼稚園では地域・敬老会の方などのふれあいなど 家ではできない体験ができるというところに魅力を感じています。  しかし、3年保育を行っている私立幼稚園に入園してしまう人が多く、現在、子どもが通っている園では子どもの数が少なく、年長、年中児混合クラスとさみしいのが現状です。  公立幼稚園ならではの良さを生かしながら、子ども同士でのかかわりの中から子どもたち自身で様々なことを学んでいけるよう、また 公立幼稚園が活気にあふれた園となるよう、公立幼稚園の3年保育を希望します。  よろしく願います。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
58	<p>公立幼稚園は、経験を多く積んでいる先生がたくさんみえると思います。そんな中で子供を見ていただいたことは、安心できましたし、子供もよかったですと思います。</p> <p>在園中には、近くの小学校へ行き、給食試食会をしていただいたり、敬老会には体育館で出演させてもらい、夏には、プールにも入らせていただきました。</p> <p>子供にとっては、小学校は憧れと共に不安なところであると思いますが、中には入らせてもらい見せてもらえたことにより、安心したり、入学の心構えもできたと思います。</p> <p>私立にはない公立の良さがここにはあるのではないのでしょうか。何よりたくさんのお友達と一緒に同じ小学校に入学できることは子供も親も不安なくむかえられると思います。</p> <p>公立幼稚園は子供にとって一番大切に成長できる場だと思います。必要不可欠だと思っています。それと共に公立3年保育にすることは、子供の世界を広げ、早くからの自立も見込めると思います。そして何より働く人も増え子供を育てやすい四日市になると思います。親も子供も安心して関わりのもてる3年保育を作らない理由はないと思っています。</p> <p>四日市にも作っていただき、住みやすい子育てしやすい街にするのは、四日市の仕事でもあるのではないのでしょうか！？公立の3年保育を作ってください！！</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。</p> <p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
59	<p>四日市市立の幼稚園でも3歳児をみてもらえるようにしてほしい。</p> <p>公立幼稚園をなくさないで下さい。</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。</p> <p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
60	<p>・公立幼稚園の3年保育の実施 共働きの増加や、幼児教育・保育の無償化の影響により、公立幼稚園の児童数は減少しているため、公立幼稚園を維持していくために</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
61	<p>公立幼稚園についてです。私立の幼稚園は3歳児の受け入れもしているのに、公立幼稚園は3歳児の受け入れをしていないことが不思議に思います。私は子供を自由に伸び伸びと育てたいので公立幼稚園を希望していますが、上の子が5歳、下の子が3歳で、私立の幼稚園なら一緒に幼稚園に入れられるのに公立幼稚園だと下の子をまだ1年家で見なくてははいけません。ぜひ公立幼稚園の3歳児の受け入れを希望します！</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>



「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
62	<p>公立幼稚園の園児が減少してきているのは様々な理由があると思いますが、2年保育であるという点は 大きいと思います。家から歩いて行ける いずれ入学する校区内の幼稚園に通えたら 小学校生活へスムーズに入れると思います。その為にも 3年保育をぜひ進めて欲しいです。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
63	<p>公立幼稚園は、園児数が減って廃園されていくのですか？これまで、そうならないように3歳児や預かり、給食を増やすなどを始めてほしいことが市P連などでも出ていたと思います。保育料だけが、私立と一緒に、他はできないというのは、おかしいと思います。どの子も平等に通える公立幼稚園がなくならないようにしてください。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。公立幼稚園における給食につきましては、現在週2回デリバリー給食を実施しておりますが、現在のところ回数を増やすことは考えておりません。園児数の減少した公立幼稚園においては、認定こども園化を図っていくこととなりますが、認定こども園化後は教育認定の子ども及び保育認定の子どもの両方に対し、自園調理による給食を実施していきます。</p>
64	<p>公立のようちえんも3年保育だとありがたい。公立は小学校に入るための準備として小学生とかかわれる時間や、経験もたくさんできるメリットがある。私立にもいいところはたくさんあると思いますが、公立の幼稚園も3年生になることで入りたい人は多くいると思います。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
65	<p>二人の子どもを公立幼稚園に通わせていた母親です。新聞で、公立幼稚園が全部なくなるという記事を見つけました。オリンピックに選出された四日市市出身の2選手は、公立幼稚園出身です。同世代の子をもつ母として、小学校前の時期を思いきり遊べる公立幼稚園を選んだことが、今の子どもたちの成長につながっていると思います。幼稚園が大事にしている子どもを大切にしたいねいな教育を、四日市市の子育て環境の一つの選択肢からなくさないでいただきたいです！3歳児保育を始めたなら、公立幼稚園を選ぶ保護者は多く、今よりもっと希望する子どもが増えます！</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
66	<p>新しい政策に期待しています。 子どもも公立幼稚園でお世話になりました。 公立幼稚園において公的役割を果たしてもらえるとのこと3才児の受け入れも検討してもらえるとということで、近くの公立幼稚園・こども園にも3才児ができると嬉しいです。 今度は孫もお世話になりたいです。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
67	<p>「子育てするなら四日市」という市長の声にどんな新政策が出るのかと期待をもって読ませていただきました。 でも その内容は期待はずれでした。 市内には いろいろな家庭があり、私立に通わせられる家庭ばかりではないと思います。保育料が無償になってもバス代やレッスン料など負担も多く、3才からの保育を希望していても公立で ないのは納得いきません。 すべての子どもたちの幸せのために地域にある公立幼稚園で せめて こども園だけでも 希望するすべての3才児が入園できるようにして下さい。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
68	<p>四日市市新総合計画のなかにある、こども園での3歳児受け入れの検討 ではなく、公立幼稚園での3歳児受け入れを希望します。 社会性・協調性を身につけていくには、集団生活から学ぶことも多くあると思います。 長男・長女を入園させる際も、3歳児の受け入れがあればと、強く感じました。 私立幼稚園のように大人数クラスでの長所もあると思いますが、公立の、少人数での保育が可能なのも、また子どもたちにとっても長所となるのではないのでしょうか。 保育料無償化となるからこそ、3歳児受け入れをすることで、公立幼稚園への入園を考える選択肢が広がるのでは考えます。 ご検討よろしく申し上げます。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
69	<p>公立幼稚園も3歳から入園できるようにして下さい。 第一子から下野幼稚園に通わせていただいています。「『めだか組』というのがあるよ」と教えていただいて第一子、第二子と入会してきました。めだかの先生はすごく優しく愛情をもって子供と接していただきました。そのおかげでスネてばかりの子が卒園する時にはちゃんとできるようになったと思います。 公立の親と先生方と一緒に協力してやっていくスタイルがとても素晴らしいと思っています。この幼稚園でよかった、この先生達に教えて頂けてよかったとすごく感謝しています。 今無料化が始まりうれしい事ですが、3歳から入れる私立幼稚園の方に行く方が増えてしまうと思います。私にはまだ1歳の子がいるのですがやっぱり下野幼稚園の方に通わせたいと思っています。 3年通うのと2年通うのとではやはり違うと思うのです。 子供達にいい環境で子育てをさせて下さい。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
70	<p>保育料の無償化に伴い、公立幼稚園の3才児の受け入れを希望します。 やはり、2年保育では公立保育園の存続はきびしくなってくると思います。 私は、子供を私立保育園に1年だけ授け、確かにより大くの子供がいるため、茶道であったり武道であったりと学ぶ事ができました。ですが、より幼児期にとって必要な事は自然と触れより大人(先生方)の目がいきとどく環境であると思います。幼児期は心の変化がおきるスタートラインの時期です。そんな時こそ、公立幼稚園の園児に対して大人の人数、何より育児研修をしっかりとされている公立幼稚園の先生方に大切な子供をお願いしたいです。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
71	<p>公立幼稚園は4歳からの2年保育なので3歳からの3年保育にしてほしい。 また延長保育等もあると仕事をしている保護者は特に助かると思います。 公立幼稚園に通う子供の数が減少している為、こども園に移行している所もある様ですが、こども園という所がよくわからない保護者はたくさんいると思う。 また公立幼稚園は小学校や地域の方々との交流も多い為、様々な人との出会いがあったり、自然との触れあい等幼児期に大切な事を学べるので統廃合していくのが残念だと思えます。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。 就労をしている保護者の方々のニーズにつきましては、保育園や認定こども園の保育認定での対応を考えております。認定こども園につきましては、幼稚園と保育園の両方の機能を併せ持ち、従来の幼稚園、保育園という枠組みを超え、乳幼児期の教育と保育を一体的に行う施設であります。ご意見にありましたように、保護者の方々に対しまして、その周知に今後も努めてまいります。</p>
72	<p>現状、公立の幼稚園は4歳児と5歳児のみの受け入れのみ行っているが、現状私立幼稚園の3歳児から幼稚園に通わせている親が多い。3歳児から受けさせたいという親も多いと思う。 公立幼稚園の存続を考えるとであれば3歳児からの教育が必要ではないかと思われる。 幼児教育の無償化が実施されればますます私立の幼稚園へ流れていくことは避けられないと思う。 公立の幼稚園も現在空きの教室も多く、3歳児の受け入れする場所はあると思う。 教員の数の問題があるが、行っていかなければいずれは公立の幼稚園がなくなっていくのではないかと思う。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
73	<p>四日市々は、3歳児保育の選択肢が私立幼稚園しかありません。 保育園にいけない働かない者には、公立と私立とどちらかを選べれるように四日市市はしてほしいです。 他市に友だちがいますが、3歳の公立はあります。 こども園は、必要に応じて・・・と書かれていました。 3歳全てを受け入れて下さい。のびのびと遊んでいる公立の幼稚園を四日市市はどのように考えているのでしょうか。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
74	<p>・就学前教育・保育の充実について 家庭環境等に関わらず全ての子どもが就園できるようにこども園においては「必要に応じて」ではなく、条件を付けずに希望する3才児全員を受け入れて頂きたい。 以前のシテイミーティングで公立幼稚園の3才児クラスの要望が増えている、という意見が出ていました。こども園に変わった園があり、変化はしているようですが、公立幼稚園(単体)での制度等の変化、変更点はありますか？</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。 なお、公立幼稚園における制度の変化や変更点に関しましては、10月から幼児教育・保育の無償化が開始されております。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
75	<p>就学前教育、保育の充実について 先日老人会の集まりに行った時公立幼稚園の子ども達が来て歌などを見せてくれました。とても可愛かったのですが自分の子が行っていた頃よりずいぶん少人数と感じました。 聞くとところによると少子化や公立幼稚園に3才児がない為行く子が減っているとの事です。又保育園と幼稚園が一緒になって子ども園になるとも聞きました。 公立幼稚園や子ども園に3才児を希望する人皆な行ける様なになれば公立幼稚園も残り、保育園の待機児童解消にもつながり色々な事がうまく行くのではないのでしょうか。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
76	<p>全ての希望する3歳の子が、四日市市は、私立幼稚園しか行くことができないのはおかしいです。 公立幼稚園の教育は絶対に必要です。 残すような方法を考えて下さい。 又、こども園の幼稚園を希望する人全て入れて下さい。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
77	<p>P.88～ 4.(1)子育て・教育安心都市 P.89 3.(1)就学前教育・保育の充実(②)について “適切な集団規模での教育が困難な園については、”とありますが、今後、公立幼稚園の人数が減少していった場合には公立幼稚園はなくなってしまうということなんですか？ 確かに子育てしやすい環境はとても大切に嬉しいことなのですが、公立幼稚園には地域と密接に関わったり、家族との深い関わり(お弁当・送迎・祖父母や親同士が関わる時間等)など、人と人がふれあえる時間がとても多く、現代では少なくなってきてしまっている子どもたちの心を育てるのに大切な環境がとても多くあります。 共働きやシングルの方が増えてきており、長時間保育・休日保育等の様々な保育サービスはもちろん必要だとは思いますが、これからの日本をになっていく子どもたちには人との密接な関わりができる環境はとても大切ではないのでしょうか？ 公立幼稚園も3歳児の受け入れ等、サービスを整えて存続していく方向性で考えていくことは難しいのでしょうか？ 細かくいろいろな事を把握できているわけではありませんが、もしもこれから公立幼稚園がなくなってしまうのであればとても寂しいことだと感じたので意見させていただきました。 大変な事がたくさんあると思いますが、新総合計画楽しみをしていますので、よろしくお願いします。</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。 教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
78	<p>こども園だけでなく、公立幼稚園でも3歳児の受け入れの検討をお願いしたいです。周りの方でも、公立幼稚園に魅力を感じていても年少から入れないという理由で私立に行かれる方がとても多いです。我が家は上2人公立、3番目は年少だけ私立→年中～公立へ通っていますが、年々人数が減ってきていて、このままではなくなってしまわないかと心配です。私立よりも園の様子、雰囲気、こどもの様子がよくみえるし、地域に密着しているところがとても良いと思います。ぜひ、公立幼稚園の3年保育の検討をお願いします。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
79	<p>『子育てするなら四日市』からより進み『子育て・教育安心都市』にとあるが、働く女性に対する施策は多く盛り込まれているが、今後を担う子ども達を産み、自分の手で温かく育てていこうとしている母親への支援が少ないのではないかと年齢近く兄妹、姉妹がいると子育てがいっぱいで働くことは考えにくい。また、育児の負担も出てくる。子育て支援センター等もあるが、毎日、通って楽しく友達を作っていける施設である幼稚園では公立幼稚園に3歳児学級がないのは選択肢の幅が狭められていることにならないのか？私立幼稚園は3年保育が実施されている。他市、他府県では公立幼稚園の3年保育が実施されているところもある。今後発展しようとしている四日市市で実施されていないのは残念なことである。是非、先進的な考えで効率も考えながら実施の検討をされたい。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
80	<p>公立幼稚園において、公立の のびのびした教育と充実した園生活を、今後も続けてほしい。また3歳児が入園できない事により、年々園児数が減ってきている現状に公立幼稚園はどうなるのか、とても不安に思います。四日市市周辺の市は、3歳児より入園できるのに、どうして、四日市市はできないのでしょうか？今、進められている「こども園」についても、保育園と一緒に教育面・保育面でも、どのような園生活なのかまだまだ周知されておらず、安心して子どもが通えるような園なのかとあまりよくわかりません。その地域で育ち、通える公立幼稚園を残してほしいです。すぐ側に小学校がある、とても良い環境なので大切にしてほしいと思います。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。認定こども園につきましては、幼稚園と保育園の両方の機能を併せ持ち、従来の幼稚園、保育園という枠組みを超え、乳幼児期の教育と保育を一体的に行う施設であります。ご意見にありましたように、保護者の方々に対しまして、その周知に今後も努めてまいります。</p>
81	<p>本年度から幼児教育無償化が始まります。それにつれて保育園、私立幼稚園、公立幼稚園と選択肢が増える分、かたよりが出てくるのを懸念しております。公立幼稚園が今現在 保育料が所得に応じた金額となっており たでさえ園児数が減少傾向にあるのに新制度が導入される事によって増々少なくなってしまうのではないのでしょうか。私立幼稚園は3年制ですが10月からは満3歳から無償になると知り公立幼稚園も2年制ではなく3年制をとり入れると人数減少も少しではありますが防げるのではないのでしょうか。検討の程、よろしくお願いします。小学校、地域と深いかわりのある公立幼稚園をなくしたくはありません！！</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
82	<p>公立幼稚園についての新聞記事を見て、ペンをとった。 公立幼稚園では、預かりやバス、給食、3歳児など時代のニーズにそったサービスの充実は図られず、園児数減少や保育料のことで話題にあがっただけだと思う。 公立幼稚園の教育に対する保護者からの信頼や人気は根強いにもかかわらず、園児数減少の歯止めとなるような施策をこれまで打ち出すことはなく、市は、公立幼稚園を廃止する方向ではないかと疑っていたが、記事を見て、ついにここまで来たかと。 3歳児からの幼児教育無償化が始まり、3歳児保育のない公立幼稚園はこれからますます園児数減少が進むと思われる。公立か私立か明言されてもいない認定こども園に移行したところで、これまでの公立幼稚園の役割がしっかりと引き継がれるのか、疑問でならない。橋北と塩浜が、公立のこども園としてスタートしたが、その内容や検証がされているとは言い難い。公立はある意味、全ての子供を平等に構成に教育・保育する指標となる存在である。就学前の教育・保育の大切さがこれほどまでに声高に言われてきているのに、民営化の流れを押し進めるかのような四日市市の施策に危機感を感じる。 上記の理由から、公立幼稚園の削減を早急に進めることに反対である。</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。 教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。 本市では、平成29年度から橋北こども園、塩浜こども園を開園しておりますが、こども園化した後も、公立幼稚園の良さを取り入れながら、園運営を実施しております。</p>
83	<p>四日市市が「公立幼稚園廃止」という方針案を出したと、中日新聞に書いてありました。 公立幼稚園は、希望する子どもを平等に受け入れ、課題を抱える子どもや親にも寄り添って一緒に考え、必要な時は市の機関ともしっかりと連携することができます。送迎を親が行うことで親同士、また、親と先生が十分なコミュニケーションをとることができ、そのことが子どもにとって大きくプラスになっています。市が、「子育てするなら四日市」と言うなら、親が望む選択肢がきちんと用意されていることが大切だと思います。公立幼稚園を廃止にしないでください。</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。</p>
84	<p>子供が成長するにつれ、必要なお金も増え、夫婦共働きが自然になります。兄弟、姉妹の年齢が離れていたり、子供が多いご家庭では、働くには、3歳から受け入れてくれるところにと、無償化に決定した時から特に多く耳にします。他にも延長保育、ほぼ毎日給食にさせていただけたらと思います。 私立と比べ公立は人数が少ないので小学校入学時知らない顔が多数ではありますが、園児と保護者が皆顔を知らない事なく仲良く交流できるのが私は入園して良かったと感じています。</p>	<p>共働き世帯の子どもの預かりに関しては、受け入れ年齢や預かり時間、そして給食対応を含めて、保育園および認定こども園の保育認定枠にて受け入れを図ってまいります。 保育園の入園につきましては、私立保育園の新設等により受け入れ枠の拡大を図ってまいりましたが、今後も人口動態等を見据えたうえ、適正な受け入れ枠を確保してまいります。</p>
85	<p>公立幼稚園をなくし、認定こども園を作っていくと聞きました。ぜひ、幼稚園の子ども保育園の子どもみんなが集うことのできるいい施設にしてください。働いている親も働いていない親も子供を地域の園に通わせ、友達と元気いっぱい小学校に行ってほしいという思いは強いと思います。 そのためには、幼稚園対象の子供が入れる、こども園の3歳児クラスを実現してください。いまどき、4歳児から集団生活を始めるというのでは遅すぎます。地域の中でみんなが通える園にするには、働いていない親の子供も3歳児から通えることができるようにしてほしいです。支援が必要な3歳児の受け入れを検討することが新聞に書いてありましたが、そのような方向ではなく、どの子も受け入れられるようにしてください。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
86	<p>私立幼稚園との差別化を解消するために、延長保育、3歳児保育、全日給食化を取り入れ、昔ながらの、のびのびとした教育ができる環境の中で、働きたいと考えている保護者にアピールができるので公立幼稚園を活性化してほしいです</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。</p> <p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p> <p>公立幼稚園における給食につきましては、現在週2回デリバリー給食を実施しておりますが、現在のところ回数を増やすことは考えておりません。園児数の減少した公立幼稚園においては、認定こども園化を図っていくこととなりますが、認定こども園化後は教育認定の子ども及び保育認定の子どもの方に対し、自園調理による給食を実施していきます。</p> <p>また、就労をしている保護者の方々へのニーズにつきましては、保育園や認定こども園の保育認定での対応を考えております。</p>
87	<p>私は公立幼稚園の存続を希望します。          子供を公立幼稚園に通わせていただいておりますが、先生方が皆さん園児一人一人を良く見て下さっており、その子に合わせた対応を下さっています。私立の幼稚園はカリキュラムや行事が多く、先生がそれに追われとても忙しそうにしているように感じますが、公立幼稚園のゆとりとしたペースなので個々に合わせた対応が可能なのではないかと思っております。          おかげで子供は一度も嫌がらず楽しんで通っています。          なのでぜひ公立幼稚園を続けて行って欲しいと思っておりますが、3歳児の入園がない事や週3回のお弁当の負担、延長保育がない事などが、良さを理解していても、公立幼稚園の入園を断念せざるおえないという人もいないのではないかと思います。その点が改善され、少しでも多くの児童が公立幼稚園に通えるようになる事を望んでいます。</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。</p> <p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p> <p>公立幼稚園における給食につきましては、現在週2回デリバリー給食を実施しておりますが、現在のところ回数を増やすことは考えておりません。</p> <p>園児数の減少した公立幼稚園においては、認定こども園化を図っていくこととなりますが、認定こども園化後は教育認定の子ども及び保育認定の子どもの方に対し、自園調理による給食を実施していきます。</p> <p>また、就労をしている保護者の方々へのニーズにつきましては、保育園や認定こども園の保育認定での対応を考えております。</p>
88	<p>公立幼稚園は子ども1人1人をていねいにみていただき、安心して通園させることができました。母親(家庭への)関わりもていねいで共に成長できたように思います。          時代のながれで2年保育を待つのは不安な親もあり、公立幼稚園で3年保育をしてもらえばもっと保育の向上につながり、すてきな子育てになっていくと思います。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
89	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3才児から預ってほしい</li> <li>・給食を出してほしい</li> <li>・朝の時間、帰りの時間を長くしてほしい</li> </ul>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p> <p>公立幼稚園における給食につきましては、現在週2回デリバリー給食を実施しておりますが、現在のところ回数を増やすことは考えておりません。</p> <p>園児数の減少した公立幼稚園においては、認定こども園化を図っていくこととなりますが、認定こども園化後は教育認定の子ども及び保育認定の子どもの両方に対し、自園調理による給食を実施していきます。</p> <p>また、保護者が就労しているなど、保育の要件がある方で長時間の保育が必要な方の子どもの預かりに関しては、保育園および認定こども園の保育認定枠において受け入れを図ってまいります。</p>
90	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てするなら四日市からさらにステップアップした「子育て教育安心都市」の方針が出される中、公立の教育が好きで選択したくても3才児保育がない為に選択肢が狭められているように感じます。</li> <li>・公立幼稚園の子供を中心にした伸びやかな教育を今後も是非受けられる環境を作ってほしいです。</li> <li>・私立幼稚園には3才児～入園出来る今では1才～プレで通ったりもしている中、公立幼稚園は4、5才児2年保育のみである。</li> </ul> <p>こども園での3才児1号認定だけでなく公立幼稚園でも3才児保育の実施をしてほしい。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
91	<p>就学前教育</p> <p>10月から3才からの無しう化が始まり、ますます3才から幼児教育を受けたい人がふえている。働く女性もふえて</p> <p>いるが、一方では、やはり、自分で子育てをしながら幼稚園に行かせたいと思う人も多数いる。</p> <p>公立幼稚園の子どもの数が減った時に、こども園でその役割を果たしていくとあり必要に応じて3歳児の受け入れの検討を進めると書かれているが、必要に応じてとはどういうことなのか。自分のこどもにこども園の教育を受けさせたいと思う人には、全て3才から幼稚園の子を受け入れてほしい。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
92	<p>四日市市 新総合計画</p> <p>◇四日市市認定こども園について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一号認定の3才児の受け入れを希望したいです。また、万が一の時などで降園後でも預りができるようにして頂けたらと思います。その際は延長料金を別で支払う形でお願いできればと思います。</li> </ul> <p>地域の方に囲まれ、ふれあいながら、のびのびと子育てをしやすい『こども園』として魅力が発揮できればと思います。保育の時間などでも融通がきくように、保護者の方が安心して預けられるような『こども園』にして頂ければと思います。</p> <p>ご検討よろしく申し上げます。</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。</p> <p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p> <p>認定こども園につきまして、本市では平成29年度から橋北こども園、塩浜こども園が開園しておりますが、地域とのふれあいを大切に、保護者が安心して預けられる施設づくりを進めてまいります。</p>



「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
93	<p>[基本的政策]子どもと子育てにやさしいまちに向けた環境整備の展開する施策(1)就学前教育・保育の充実について次の3点を追加していただきたくよろしくお願い致します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公立幼稚園の延長保育</li> <li>→私立幼稚園や保育園と同様の保育サービスがあれば多様化している就業実態の中でより多くの人が働きに出れる</li> <li>・3歳児の受け入れ枠の増大</li> <li>→保育園、こども園だけでなく公立幼稚園でも3歳児を受け入れることで働ける人材をさらに確保できる。さらには減少しつつある公立幼稚園への入園者も増大し活動が活発化する</li> <li>・マンパワーの確保、保育者の充実</li> <li>→保育サービスを充実するためには向上心のある保育者の増加が必要。研修だけでなく賃金や働き方などにおいても室を向上し、モチベーションの高い保育者の増やすことで就学前教育や保育が充実を図る</li> </ul> <p>四日市市は市民と市が協力して子育てするそんな市になって欲しい</p>	<p>就労をしている保護者の方々へのニーズにつきましては、保育園や認定こども園の保育認定での対応を考えております。</p> <p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p> <p>一方で保育士の確保や、保育士および幼稚園教諭の質の向上につきましては、今後その充実を図ってまいります。</p>
94	<p>「就学前教育、保育の充実」について</p> <p>現在、保育園を希望する方が多いのもわかっていますし、待機児童の多い四日市市の状況を改善しようと市長が頑張っていたのもわかっています。今四日市市には20園の公立幼稚園がありますが、市長はどうしていきたいですか？新総合計画には、公的役割を果たしていくと書かれています。人数の少ないところはこども園にしていくんですよね？その後がよくわからない。「必要に応じて教育認定の3歳児の受け入れを検討を進めます」って3歳児は入れる子と入れない子がいるのですか？どういう基準ですか？もっとわかりやすく説明してください。どうして希望している子全員が入園できないのですか？私立がこわいですか？</p> <p>「教育するなら四日市」といつも言ってますよね。この人なら本当に子どもたちのためになる政策をやってくれるだろうと信じて投票しました。教育のこと本当にわかっていますか？お金の問題ではなく教育のことを真剣に考えて。公立幼稚園をなくしたいですか？なくしたいならいっそそう言ってください。期待をさせて、実際の計画は全くす気マンマンにしか見えませんよ。なんのために市長になったの？私の意見は今幼稚園にいる全員の意見だと思って書きました。書きたくてもどう書いていいかわからない人もいます。タウンミーティングもお母さんは忙しい時間ですよ！！</p> <p>私たちの希望は「こども園で幼稚園籍の3歳児を全員受け入れてほしい」です。もう市長にしかできないと思っています。</p> <p>これからも四日市で教育を受けさせたいと思える街にしてください。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
95	<p>就学前教育について</p> <p>市民として平等に3才からの無しよ化を受けたいと思っている。必要に応じて教育認定の3歳児の受け入れの検討を進めるとはどういうことか。</p> <p>不平等のないように全ての受け入れをしてほしいです。</p> <p>公立幼稚園の教育を四日市市に残してほしいです。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p> <p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
96	<p>現在、下野幼稚園に娘が在園していますが、今年から年中・年長合同クラスになりました。公立幼稚園は、自分の住んでいる身近な地域で、地元の方々の協力を得て、様々な体験をしながら、そのままのメンバーで小学校にも行くことになり、私たち親からしたら、とても安心できる、貴重な環境です。保育料の無償化もあり、私立幼稚園へと人が流れていく現状ですが、『こども園』という形で、今後公立幼稚園が残っていけるのであれば、受け入れ児童の対象年齢を“必要に応じて3才児の受け入れを検討する”ではなく、“3才から希望する全ての子どもが入れる”という条件にしたいと思います。私立幼稚園にはない良さが、せつかく公立幼稚園にはあるので、子ども園という形になっても、私立に負けないような条件を出していただきたいと思います。母親の就労に合わせて、子ども園に入れるのは賛成です。めだかぐみ(年少)も存続危機なので、せめてもの形で、全ての希望する3才児を受け入れる子ども園という良い形で残していただきたいと思います。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
97	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立幼稚園(海蔵幼稚園)をこれからも今まで通り存続してほしい             <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校へスムーズに移行できるから</li> <li>・子供が戸惑いなく進学できるから</li> <li>・自宅に近いため近所の知り合いの子や兄弟が通っている安心感があるから</li> <li>・のびのびとした良い雰囲気生活習慣が身に付くから</li> </ul> </li> <li>・今後期待したい事             <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年保育</li> <li>・毎日給食</li> </ul> </li> </ul>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。</p> <p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p> <p>公立幼稚園における給食につきましては、現在週2回デリバリー給食を実施しておりますが、現在のところ回数を増やすことは考えておりません。園児数の減少した公立幼稚園においては、認定こども園化を図っていくこととなりますが、認定こども園化後は教育認定の子ども及び保育認定の子どもの両方に対し、自園調理による給食を実施していきます。</p>
98	<p>上の子供3人公立幼稚園(海蔵幼稚園)お世話になってきました。4番目の子を 保育園へとも 考えましたが 上の子たちを公立幼稚園へ行かせて良かったと感じていたので4番目の子も上の子たちと同じように海蔵幼稚園へ。。園児もかなり少なくなり さみしく感じています。でも 幼稚園の先生方に それプラス同じ園児の保護者さん悩みやたわいもない話を お送り迎える時にできる機会があるので それが楽しみにもなってます。公立幼稚園も3年保育になったらいいなって昔から思っていました。うちは 3歳までは自分でみたく強く思っているの・・・私立の幼稚園のように3年保育になったら園児の減少も少しはくいとめれるようになると思います。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
99	<p>・笹川の公立幼稚園に通う日本人の子供が少なすぎてPTA役員の負担が大きすぎる。保育料無償化で私立の幼稚園に行く子供が増えさらに少なくなると思うので4歳ではなく3歳から保育をする、夏季保育をするなど公立に行かせたい親が増える様対策してほしい。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。                  笹川地区の公立幼稚園(笹川中央幼稚園)におけるPTA活動は、外国籍園児の保護者への日本語指導も行いながらPTA活動への参加も促し、各保護者の負担が軽減できるよう努めているところです。</p>
100	<p>「教育認定の児童については、公立幼稚園において公的役割を果たしていきます。                  なお、適切な集団規模での教育が困難な園については、認定こども園においてその役割を保障していきます。                  また、こども園においては、必要に応じて教育認定の3歳児の受け入れの検討を進めます。」                   上記の内容について、認定こども園は3歳児を受け入れる条件を既定している(基本的には受け入れない)と受け取れるのですが、いかがでしょうか</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
101	<p>現在3歳の娘がおり、来年から下野幼稚園のめだか組さんに入れる予定です。                  ですが無償化の影響もあって全く人数が集まらず続けていくことも厳しいという状況だそうです。                  今5歳になった息子もめだかさんでお世話になり先生方にとっても手厚く接していただきました。                  今私は引っこしをして下野地区ではありませんがめだかさんに通わせてあげたいと思っています。                  もしめだかさんがなくなってしまってもこども園に3歳から入れるようにしていただきたいです。必要に応じて書いてありましたが具体的に何をもち必要に応じてと言っているのか分かりません。とても必要だと思います。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
102	<p>(市立幼稚園について)                  就学前の子どもの選択肢は、多様にあるべきであって、公立幼稚園の今まで担ってきた、ゆったりとした環境で子どもの個性を尊重した保育、それに関わる保護者・地域の温かい繋がりをなくしてしまうのは残念。存続を望みます。</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。</p>
103	<p>公立幼稚園がなくなるととれてしまう。                  子どもが生まれ公立幼稚園にと思いきや妻が仕事をやめたのに選択がなくなってしまわないかと思ってしまう。</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。                  こども園においては、教育認定のお子さんも保育認定のお子さんも双方が受け入れ可能となり、お仕事を辞めた方であっても入園することが可能です。</p>
104	<p>“公立幼稚園の存続について”                  地元(川島地区)で13年民生委員児童委員をしている中で、川島幼稚園のはたして来た役割について書きます。H24年当時、長男(小3)の不登校をきっかけに、長女(4才)次男(1才)の就園において、育児能力の低い母親を支援し、途中でも、母親の入院の際行政にもつないでもらいました。長女・次男は今小学校に通っています。P89. 3. (1)③就学前教育・・・家庭環境に関わらず全ての子どもが就園できるよう取り組むとありますが、認定こども園の形になった時、支援の必要な家庭の受け皿を確保出来なければ、民生委員児童委員活動に支障をきたすと思います。ちなみに、現在別の家庭の支援してもらっています。</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。                  なお本市では、平成29年度から橋北こども園、塩浜こども園を開園しておりますが、他地区においてこども園化となりました後も、支援の必要な家庭の受け皿を確保してまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
105	<p>下野地区だとめだか組ですが、3歳からの無償化になり、めだか組は存続の危機にあります。このままでは公立幼稚園の存続も厳しくなってくると思いますが、公立幼稚園を続けるために、何か手立てはあるのですか？それを考えて下さい。</p> <p>それが難しいのならば、すべての子供を幼稚園籍でこども園に入れてほしいと思います。</p> <p>仮に私立幼稚園だけになった場合、私立幼稚園をはじかれた子どもはどこに行けばいいのでしょうか？今までならそのような場合に、公立幼稚園という受け皿があったと思いますが、それを失くしてしまってもいいのでしょうか？</p> <p>ぜひご検討をよろしくお願い致します。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
106	<p>公立幼稚園(川島幼稚園)の魅力は、広い園庭があり、体を使って遊べる遊具があり、子どもたちがのびのびと過ごせる施設であり、とても貴重だと思う。そういう場所に子どもを通わせたいと思う親は多いと思う。しかし、現状として公立は2年保育であり、体を動かして遊びたい時期の子どもを早く幼稚園に入れてあげたいと思う時、3年保育の私立幼稚園と悩み、公立幼稚園を断念せざるを得ないということがあると思う。公立幼稚園も3年保育にして残すことを希望します。</p> <p>そうすれば、私立幼稚園に集中している園児の数が分散され、公立幼稚園に入園する子も増えると思う。それぞれの園児がのびのびと幼稚園生活を送れると思う。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
107	<p>「子ども子育てにやさしいまちに向けた環境整備」読みました</p> <p>(1)就学前教育・保育の充実 ②のこども園においては必要に応じて教育認定の3歳児の受け入れの検討を進めますと書いてありましたが「必要に応じて」というのはすべての3歳児ではないのでしょうか？</p> <p>今娘は3歳で下野地区子育て支援事業のめだか組に通っています。めだか組はすぐ地域に密着していて娘もお友達ができ毎日楽しそうに行ってるので親としても嬉しく思うし入れて良かったなって思っています。</p> <p>でもこんなにも良い施設が園児減少で来年なくなってしまうかもしれないと聞きました。</p> <p>「四日市は子育てにやさしいまち」というのならめだか組のように地域に密着している施設を大事にしてほしいです。これからはずっとめだか組がつづいてほしいと思っているのでよろしくお願いします。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
108	<p>公立幼稚園縮小化の話聞きます。</p> <p>就学前教育の充実とありますが、3才児の受け入れのない公立幼稚園へ入園希望が少なくなるのは当たり前なことではないでしょうか？</p> <p>必要に応じて教育認定3歳児の受け入れの検討というのも具体的に教えてもらいたいです。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
109	<p>四日市市新総合計画を見ました。四日市市にある公立幼稚園、保育園の果たす公的役割についてより詳しく説明を聞きたい。ここでは公立幼稚園の園児減少についてだけ述べられているが、公立保育園においては今後の園児数の減少は見込まれていないのか？四日市市としての展望、子どもの人口推移についてどのように考え、どのような保育施設ニーズがあり、どう対応していくのか？を具体的に教えてほしい。</p>	<p>公立幼稚園においては近年園児数の減少が見られますが、公立保育園においては女性の就労率の増加等による入園申込数の増加、低年齢化、あるいは、延長保育や休日保育などの保育サービスの多様化が見られております。</p> <p>そのような中、10月からの幼児教育・保育の無償化の影響や今後の人口動態等を見据えたうえで、保育園等の適正な受け入れ枠を確保してまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
110	<p>政策1子育て・教育の展開する施策について                      (1)就学前教育・保育の充実の②(p89)に、「教育認定の児童については、公立幼稚園において公的役割を果たしていきます。」とありますが、公的役割とは具体的にどのような役割でしょうか。また、「こども園においては、必要に応じて教育認定の3歳児の受け入れの検討を進めます。」とありますが、「必要に応じて」とは具体的にどのような方が対象なのでしょう。こども園へ教育認定の3歳児入園を希望する人の受け入れを検討するということでしょうか。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
111	<p>P89 3(1)②                      教育認定の児童 児童は小学校に入学している子どもを意味するのではないのでしょうか？広い意味では児童かもわかりませんが、園児または幼児ではないですか？                      また、教育認定はどういう意味なのでしょう？初めて聞く言葉で、市民の方はわかるのでしょうか？もっとわかりやすい言葉で表現してほしいです。                      こども園のみで3歳児の受け入れが可能になるのですか？「教育認定の3歳児の受け入れの検討を進めます」とありますが、いろいろな子がいて子供は成長するのではないのでしょうか？8月議会での豊田議員の質問と市の答弁とを聞いていると教育認定の子だけが3歳児として入園できるというふうに受け取ったのですが、それで本当に子どもの成長・育ちあいがあるのでしょうか？いろいろな子がいてその中で友達の姿を見て成長していくことが多いのではないですか。ただ保育をする、子どもを受け入れるというだけでは、心が育たないと思う。子ども達同士のいろんな関わり、葛藤を通して心が育っていくのではないのでしょうか？今まで公立幼稚園では3歳児は受け入れないといっていたのに、ここで急に出てくるのはおかしいのでは？これを目にした市民は3歳児がこども園で受け入れてもらえると誤解するように思う。これを機会に3歳児保育が可能になればいいけど、市は全く考えていないようなので</p>	<p>平成27年度から開始された子ども・子育て支援新制度において、就学前児童が保育園や幼稚園、認定こども園などの施設を利用するためには市町村にて、教育認定あるいは保育認定を受ける必要があるとされています。                      教育認定とは3～5歳児で保護者が働いているなどの「保育を必要とする事由」に該当しない場合に受ける認定となり、利用できる施設は幼稚園や認定こども園の教育認定枠となります。一方、保育認定とは0～5歳児で保護者が働いているなどの「保育が必要な事由」に該当する場合に受ける認定となり、利用できる施設は保育園や認定こども園の保育認定枠となります。                      教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
112	<p>政策1 子育て・教育の3 展開する施策                      (1)②「必要に応じて教育認定の3歳児の受け入れ」とあるが、「必要に応じて」とは？                      もう少し具体的に記述願いたい</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
113	<p>基本的政策No.1 3.展開する政策(1)就学前教育・保育の充実 に関して                  ②の「公立幼稚園での教育が困難な園については認定こども園でその役割を保証する」としていますが、保育士に教育を担当させるのでしょうか？資格はあるのですか？不安です。                  詰め込み教育は止めるべきです。                  公立幼稚園では子供の自主性を育みながら教育に取り組んでいると感じます。                  所謂ゆとり教育が実践されていると思います。                  むしろ3年保育の考え方を公立幼稚園にも適用しては如何？                  公立幼稚園の役割は重要だと思っています。教育にコストパフォーマンスの考え方は馴染みません。                  公的役割を果たすために、公立幼稚園が存続していくための何らかの施策(努力)をすることを希望します。</p>	<p>市では平成13年度から保育士と幼稚園教諭の双方の資格を持つ者を採用しており、こども園においても双方の資格を持つ者を配置しております。                  公立幼稚園での教育は、「幼稚園教育要領」に基づいて実施しておりますが、この「幼稚園教育要領」と、保育園における「保育所保育指針」、また、こども園による「こども園教育・保育要領」は平成29年に同時改訂され、「幼児教育の共通化」が図られて、幼稚園に限らず、保育園、認定こども園すべてが同じ方針に基づき、幼児教育を実施しております。                  また、公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。                  教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
114	<p>今年から幼稚園、保育園の無償化が始まるにあたって私立幼稚園に人数が多く集まり、公立幼稚園の存続が難しくなっている様に見える。公立幼稚園の良さは、私立に比べて子供の数が少ないので子供1人1人に目が届きやすいことや、親同士の交流や情報交換が出来る事は良い事だと思う。預かり保育や給食などをもっと増やしていく事で今よりも公立を選んでくれる人は増えるのかなと思いました。私自身は幼稚園の無償化よりも医療の方を今よりもっと充実してくれたら嬉しい。未就学の時だけ無料なんじゃなくて、中学卒業するまでに引き伸ばしてくれた方が良い。小学校から集団行動する事が多くなるので病気などなりやすい。免疫がない時期は病院に通うことが多くなるので金銭的な理由で行かしてあげられない人もいます。なので医療関係にもっと力を入れてほしいなと思いました。                  公立幼稚園は地域の人達や老人の人達との交流の場もあるので、そういった行事がある事も魅力の一つかなと思いました。先生方も親身になって話を聞いてくれ、一緒に考えてくれているしそういった幼稚園が今後なくなるのは嫌です。</p>	<p>公立幼稚園では、年齢別(4歳児と5歳児)の各園児が18人に満たずに混合クラスによる運営の園が多く、現状として少人数による就学前教育・保育を実施しております。                  そのような状況下では、園児に目が届きやすいといった状況であるものの、幼児同士が刺激し合い、切磋琢磨しながら様々な体験を得られるような環境での教育を進めることが重要であると考えています。そのため、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。                  子ども医療費については、平成30年度から、未就学児を対象とした窓口負担無料化を開始しました。今後は、子どもの疾病の早期発見と早期療養の促進、並びに、保護者の経済的負担を軽減するために、窓口負担無料化の対象拡大についての検討を進めてまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
115	<p>・豊田議員が議会の冒頭で言われた「10年間の中で公立幼稚園はすべて廃止する」というのは、そういう考えが市の幹部で内密に進められていることでしょうか。とてもショックです。答弁の中でそのことを否定するお考えは聞けなかったように思います。あやふやにごまかされたような。市の考えだから、予算がないからと切り捨てられていくんですね。市民の小さな声には耳を傾けてもらえないのかとがっかりしています。</p> <p>私も60年前の公立幼稚園の卒園生だし、子どもも公立幼稚園を卒園しました。園生活の中でいろんなことを経験させてもらい、先生からいっぱい教えてもらいました。120年の歴史のある公立幼稚園がなくなるのは納得がいきません。無償化のあおりで今のままというわけにはいかないでしょうが、何園が残って今までのような教育ができることを強く望みます。人間形成の基礎を培う幼児期だからこそ、丁寧な心を育てる教育が必要なのではないのでしょうか。ノーベル賞をとられた方も「小さい頃の好奇心、体験が今の研究していくもとなっている」といってみえます。そんな体験ができるのは公立幼稚園だからだと思います。支持されなければ何をしたいのかかわからない動けない子を育てるのではなく、「なんで？」と考えて自分で工夫し、動き出せる子を育ててほしいです。幼児教育は目に見えてすぐ結果は出ません。特に公立幼稚園の教育は成果はすぐには出ません。でも、基礎となるものが育ち、しばらくして成果が出るのです。四日市の子どもたちの未来のために、公立幼稚園の火を消さないようにお願いします。</p> <p>・統廃合されて、使われなくなった園舎はどうなりますか？地域の子育て支援センターとして、また、集団になかなか入りにくい子どもたちのためにほっとできる場所として今のまま残していただけるといいのですが。取り壊すとか、すぐ地域のものになるとかではないことを望みます。</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。</p> <p>また、こども園化による施設利用に関しましては、基本的には既存施設(既存園舎)を活かしながら進めてまいります。</p>
116	<p>地域に、公立幼稚園を残すか、公立のこども園を作ってほしい。</p> <p>その中で、3歳児保育をすぐに始めてほしい。</p> <p>よろしくをお願いします。</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。</p> <p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
117	<p>周囲では、保育施設への入所が出来ず、就労できない又は、保育料負担が得られる収入に対し高い比率となることから、就労に前向きになれないと考える人が多くいる。</p>	<p>就労している、または予定されている方々の保育につきまして、これまで私立保育園等の新設により保育の受け入れ枠の拡大を図ってきましたが、今後の人口動態等を見据えたうえ、適正な受け入れ枠を確保してまいります。</p>
118	<p>上記には、単に保育料負担の低減だけでなく、公立幼稚園の延長保育？など、フルタイムでの就労に対しても不安なく、保育を頼める環境となる事が望ましいと考える。</p> <p>118 学童保育所に関しては、一部報道では指導員の報酬の問題から、なり手が少なく悪循環に陥っていると聞く。四日市市の実態はわからないが、「展開する施策」にあるとおり、指導員の処遇改善(幼稚園・保育園を含め)による人材確保に努めていただきたい。</p>	<p>就労をしている保護者の方々のニーズにつきましては、保育園や認定子ども園の保育認定での対応を考えております。</p> <p>学童保育所に関しては、いただいた処遇改善についてのご意見も含め、取り組んでまいります。</p>
119	<p>四日市市立の幼稚園ではきめ細やかな保育をして頂き子どもの気持ちに寄りそって遊んでくれるのでとても安心できます。</p> <p>園生活と家庭生活でゆっくり親子が関わり合えるのでとても大切な時間がもてると思います。</p> <p>公立幼稚園の存続をこれからもお願いします。</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
120	<p>「子どもと子育てにやさしいまちに向けた環境整備」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適切な集団規模とは何人までですか？</li> <li>認定こども園の事がよくわかりません。これまでの公立幼稚園と何が変わりますか？</li> <li>現在の公立幼稚園を良くすれば、入園者が増えるのに、3年保育 延長保育にしないのはどうしてですか？</li> <li>駐車場がないのも困ります。</li> <li>働いている人は保育園の人だけではないのに、幼稚園に駐車場が無いのはなぜですか？</li> <li>保育園でも、私立保育園・幼稚園でもない、公立幼稚園でのびのびと過ごさせてあげたいと思っています。</li> <li>どうか公立幼稚園が残っていくようにしてください。</li> <li>こども園になってしまった場合、働いていない親が役員をするなどの問題は無いのですか？</li> <li>保育園は親同士の関わりが少なく、その分トラブルも多いと聞きました</li> <li>幼稚園の良い所は親同士に関わりがあり、悩みの共有が出来る所です。</li> <li>こども園ではどうでしょう？ 保育園側と幼稚園側でトラブルになったりしませんか？</li> <li>働く側(職員)も混乱しているようですが、どんな対策をしていますか？</li> </ul>	<p>認定こども園とは、幼稚園と保育園の両方の機能を併せ持ち、従来の幼稚園、保育園という枠組みを超え、乳幼児期の保育と教育を一体的に行う施設であります。</p> <p>本市では近年園児数の減少が続く公立幼稚園におきまして、適正な規模の集団を確保するため、年齢別(4歳児と5歳児)の各園児が18人に満たず混合クラスによる園運営が3年間継続した園を対象に、近隣の保育園との認定こども園化を進めております。</p> <p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
121	<p>四日市市は希望の保育園に入れることが困難だとよく聞きます。職場や自宅から離れた保育園では毎日の負担が大きいので、保育園を増やし希望の園に入れることができるようにしてほしいです。</p>	<p>保育園の入園につきましては、私立保育園の新設等により受け入れ枠の拡大を図ってまいりましたが、今後も人口動態等を見据えたうえ、適正な受け入れ枠を確保してまいります。</p>
122	<p>申請しているが学童や保育園に入れず状況から働きたくても働けない。パートが決まっても預ける所がなく結局辞退しなくてはならない。</p>	<p>学童保育所の定員超過の見込み等の現状を早期に把握して、受け入れ枠の拡大への支援に引き続き努めてまいります。</p> <p>保育園の入園につきましては、求職活動中の申込みも受け付けておりますが、入園の優先度としては既に就労している方が高く、入園できないケースもあります。</p> <p>このような状況を改善するため、これまでの私立保育園等の新設により保育の受け入れ枠の拡大を図ってまいりましたが、今後も人口動態等を見据えたうえ、適正な受け入れ枠を確保してまいります。</p>
123	<p>笹川西小学校を学童や保育園、支援センターにしてほしい。</p>	<p>笹川小学校区内に開設されている学童保育所について、今後移転や増設が必要な際には、学校施設等の公共施設の利活用も含めて検討してまいります。</p> <p>また、子育て支援センターは現在市内に20か所開設しており、笹川地区内では笹川保育園に併設しております。</p>
124	<p>夏休みに子育て交流プラザを利用した時に、小学校高学年の子が攻撃的に遊んでいて 低学年や未就学前の子がこわがったり泣いているのを見た。せつかくの支援センターなのに安心して遊べるようにもう少しくふうしてほしい。スタッフさんもあまり注意することなく 見守っているという感じられなかった。</p>	<p>18歳未満の児童が利用できる施設のため、各年代に応じた行事の企画や、年少児を中心に遊んでいただけのエリアの設定など工夫しながら、低学年や未就学児のお子さんも安心して遊んでいただけるよういただいたご意見も参考に、十分な配慮に努めてまいります。</p>



「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
125	<p>・私が住んでいた地域は、小学校入学前の1年(年長児)は公立幼稚園に通うシステムだった。あまり考えたことはなかったが四日市の公立幼稚園に対する扱いが(認識)、他県とはちがう。</p>	<p>本市といたしましては、年長児に限らず、保護者のニーズに応じて幼稚園、保育園あるいは認定こども園を選択していただくことと考えております。 公立幼稚園に関しましては、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。</p>
126	<p>・働く母が増え、保育の無償化によりますます公立幼稚園への風当たりが強くなります。親の為の園である前に、子ども達の為の園であることを大切に考え、日々保育して下さっている公立幼稚園を大切にしたい。地域で育てる事がどれだけ親子にとって安心な事かと感じます。</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。</p>
127	<p>【就学前教育・保育の充実】について。 子育て世代である30-40代の流出を防ぐには、幼児教育の効率化だけではなく、「子育てするなら四日市」と思えるような環境作りが必要であると思う。 多様化する家庭環境や、増加する外国人住民などのニーズに応えるためには、安定した運営基盤を持った公立幼稚園がその役割を担うのが相応しく、効率化だけを指すのではなく、町を担う「人財」への先行投資としての在り方を考えていくべきである。 実例を挙げると、農業体験を伴う食育活動や自然との触れ合いなどといった、実体験を中心とした教育、のびのびと泥だらけになって遊べる環境、地域社会との交流 活動、国籍に捉われない文化交流(異文化への理解)などは、保育園や私立幼稚園では提供できない教育内容の一例と言える。一方、実際に子供を通園させる保護者の視点に目を向けると、自宅徒歩圏内に幼稚園があるというのも魅力のひとつである。このような魅力溢れる公立幼稚園が公共サービスとして用意されることは、私たち子育て世代が住環境を考える上で、外すことができない重要な要素である。 また、幼稚園に多様性を持たせることにより、それに関わる多様な人材が必要となることから、例えば、預かり保育や送迎バスの運行などを通じた新しい雇用の創出につながり、市の活性化にもつながるのではないだろうか。 以上のような考えから、公立幼稚園を単に「効率」幼稚園とするような政策に対しては反対である。</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。 園児の減少が進む園においては、こども園としてその地域での教育認定の児童たちの受け皿を確保してまいります。その上で、公立幼稚園の取組も継承しながらこども園での就学前教育・保育を実施してまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
128	<p>幼稚園、保育園をこども園にということであれば、既存の施設は今後どのようにしていくのか具体的なプランを示してほしい。</p> <p>人的配置についてもこども園に置いて勤務するのは現在幼稚園で勤務している幼稚園教諭、保育園で勤務している保育士が集まり同じ場で保育を進めるということなのか？</p> <p>幼稚園は幼稚園ばかりの教諭を集めて幼稚園型のこども園を、保育園は保育園ばかりの保育士を集めて保育園型のこども園を作るということであるのか？</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。</p> <p>また、園の職員について、本市は平成13年度から公立幼稚園および公立保育園の職員採用において幼稚園教諭と保育士資格の双方の資格を持つ者を採用しており、認定こども園にもその双方を持つ職員を配置しております。</p>
129	<p>・保育料無償化に伴い、公立幼稚園の希望園児数の減少で、保育園と一緒にこども園になっていく公立幼稚園がこれから増えてくると思うのですが、今までと同じような幼稚園教育ができていくのか不安です。内容が保育園化していないですか？今四日市市のこども園は保育園出身の園長になっているが、なぜ幼稚園出身の園長はいないのですか？乳児からいるからということなのでしょうが、園の運営、方針は全職員で協議して、お互いに意見を出し合って教育、保育をしているのではないですか。こども園が保育園化しているのは寂しいです。保護者が幼稚園を選んでいるのは、教育をしているからではないのでしょうか？働くお母さんが増えてきているので、保育園は必要です。しかし、それと同じように教育を受けさせたいと思っている保護者もいるので、幼稚園も必要です。今のままでは、教育を受けさせたいと思っている保護者が公立を選ぶことは少なくなってしまいます。入園する園をしっかりと考えて選ぶことだと思います。公立幼稚園にしてよかったと思ってもらえるようなそんなこども園であってほしいと思っています。ぜひ公立幼稚園の要素を多く取り入れたこども園になることを強く希みます。</p>	<p>平成29年に幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型こども園教育・保育要領が同時改訂され、「幼児教育の共通化」が図られ、幼稚園、保育園、認定こども園すべてが同じ方針に基づき、幼児教育を行う施設となっております。認定こども園におきましては、従来からの幼稚園・保育園の良さを継承発展させながら運営してまいります。</p>
130	<p>私は今年、こども園の西部代表として役に着きました。何回か会合をして前年度の役をした方の話も聞きました。各々の幼稚園の園長先生の思っている事も聞くことが出来ました。</p> <p>今後、入園者数が少なくなっていく園を対象に保育園と合併してこども園にするという市の方針。具体的な説明が十分にされないままなされているように感じます。およその人がこの問題に対して無知です。無知＝不安を抱きます。</p> <p>川島幼稚園は、地域密着型の園です。誰もがこの園に愛着を持ち協力をおしまないです。そんな地域の人達と子供達は接し、いろいろな貴重な経験を積み小学校へ行きます。一番根底にある一番大事な人間形成がされる。そしてこれは、私立ではなく市が打ち出した園の理念にそって、教員方々が子供達に一所けん命接してくれるからです。</p> <p>川島幼稚園が無くなる可能性を今後否定できない現状、でも、地域全体でみると、コスト面人権費等問題はありますが、この園は、なくてはならない存在。団地も多く、あそび会にもたくさんの親子が参加しています。どうかその人達の為にもよろしく願いいたします。</p> <p>1つお願いがあります。今の園のスタイルと若い世代がのぞむ園と離れているように思います。若い方々のニーズをもう一度よく考えてよりよい公立の幼稚園になりますように。</p>	<p>認定こども園とは、幼稚園と保育園の両方の機能を併せ持ち、従来の幼稚園、保育園という枠組みを超え、乳幼児期の保育と教育を一体的に行う施設であります。</p> <p>本市では近年園児数の減少が続く公立幼稚園におきまして、適正な規模の集団を確保するため、年齢別(4歳児と5歳児)の各園児が18人に満たず混合クラスによる園運営が3年間継続した園を対象に、近隣の保育園との認定こども園化を進めております。ご意見にありましたように、その周知に今後も進めてまいります。</p>
131	<p>富田幼稚園と富田小学校は隣接しています。</p> <p>こども園の設置を考えるならば非学校給食と一緒に食べる形での共同実施計画を立ててほしいと思います。</p> <p>富田幼稚園(公立)の伸び伸びと自由な雰囲気の中での幼稚園教育がすごく気に入っています。</p> <p>幼稚園型のこども園の設立を希望します。</p> <p>保育室にも余裕があり、駅も隣接しているので保護者にとっても利益の多いこども園になるのではないかと思います。</p> <p>是非ご検討をお願いします。</p>	<p>こども園においては、教育認定の園児も保育認定の園児も自園調理による給食を提供しております。</p> <p>公立幼稚園における園児たちの集団規模の確保としての適正化に関する認定こども園化については、就学前教育・保育の一体的な提供を行う幼保連携型認定こども園による再編としております。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
132	<p>少子化に伴う幼稚園の在り方 内部っ子はげまし隊が結成されたのは平成15年2月18日です。現在17年目を迎えようとしています。子どもは、「未来の宝」です。私たち経験豊富な60～80歳が、子どもたちと接することにより、内部っ子はげまし隊のメンバーも元気になり、子どもたちも体で体験することにより、将来に向けて「いい経験」になると思います。</p> <p>特に保育園・幼稚園の時期はとても大事な時だと思えます。何故かなら、その頃は感じたままの行動をします。ストレートに吸収される時期です。小学校～中学校の頃は「遠慮」「でしゃばったらだめ」「はずかしい」といった、自分を自分でセーブしてしまい、本音が出てこない時期です。</p> <p>私の家は市立幼稚園への通りに在ります。園児の行き帰りの時に、父母と園児の会話が毎日聞こえます。その会話の中に子供が成長していく過程が見て取れます。園児には、父母と地域の人々との触れ合いが、成長のために欠かせないと思えます。</p> <p>少子化で市立幼稚園が縮小されると伺っていますが、保育園と合併させるなど考えて、「こども園」を作られてはいかがでしょうか。</p> <p>参考に「総会用資料」を添付させていただきます。</p>	<p>公立幼稚園につきましては、近年園児数の減少が続いており、適正な規模の集団を確保するため、年齢別(4歳児と5歳児)の各園児が18人を満たず混合クラスによる園運営が3年間継続した園を対象に、近隣の保育園等との認定こども園化を進めていくこととしております。</p> <p>こども園化後につきましても、地域との交流について継続を図ってまいります。</p>
133	<p>3歳児の公的役割を希望しています。</p> <p>3歳児から無償化なのに、公立の幼稚園では、3歳から無償化を受けられない為、私立を選たくする人が増え、公立の幼稚園の良さを知らずに無償化というだけで、私立へ行く人が増えている事が、小学校教育への「学び」につなげていかないと思えます。</p> <p>他の地域が3歳から公立幼稚園があるのに、四日市市がない事に、行動力のなさを感じます。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>
134	<p>給食を3回にはしてほしい。</p>	<p>公立幼稚園における給食につきましては、現在週2回デリバリー給食を実施しておりますが、現在のところ回数を増やすことは考えておりません。</p> <p>園児数の減少した公立幼稚園においては、認定こども園化を図っていくこととなりますが、認定こども園化後は教育認定の子ども及び保育認定の子ども両方に対し、自園調理による給食を実施していきます。</p>
135	<p>・統廃合されて、使われなくなった園舎はどうなりますか？地域の子育て支援センターとして、また、集団になかなか入りにくい子どもたちのためにほっとできる場所として今のまま残していただけないのでしょうか。取り壊すとか、すぐ地域のものになるとかではないことを望みます。</p>	<p>こども園化による施設利用に関しましては、基本的には既存施設(既存園舎)を活かしながら進めてまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
136	<p>・公立幼稚園が存続できるというと思います。 地域の八郷中央幼稚園は地域とも密着し、小・中学校との連携している素晴らしさがありますが、園児数減少傾向が見られ淋しいです。遊びの中で学ぶことが多くのびのび過ごせる公立幼稚園の良さを周知したいです。 ・児童館を各小学校に隣接してほしいです。 移動児童館にはお世話になっており、充実しているのはわかっているのですが、小学生が放課後すぐ行ける児童館があるのは(富洲原さんとか)とてもうらやましいです。増やすのは難しいとは思いますが…</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。 児童館の無い地域を中心に出向いて、健全な遊びや体験活動等の機会を提供している移動児童館の充実を努めるとともに、全市的な施設であるこども子育て交流プラザといった拠点的な施設の拡充も視野に入れた検討を行ってまいります。</p>
137	<p>一高齢市民ですが、市長様はじめ市職員の方々には日々誰もが豊かで幸せに暮らせる四日市をめざしてご尽力をいただいていることに敬意を表したいと思います。 「子育て・教育安心都市」構想について 幼児期における、しっかりした教育課程に裏づけされた質の高い幼児教育の提供は、小への円滑な接続のうえで「自らの人生を切り拓き、生き抜く力を持った子ども」を育成する為に欠くことの出来ないものである。 素案(P89)で「教育認定(幼稚園での教育を希望する幼児というらえていいのか?)の幼児については、公立幼稚園で公的役割を果たしていく」としっかり明記されている。 過日の市議会で質問があったような、将来すべての公立幼稚園を子ども園へというような案は市側がら出ないはずである。 公立幼稚園での幼児教育を希望する幼児・保護者の為に、何園かは必ず残すことが公としての役割だと考える。 認定子ども園にもいくつかのタイプがあるようだが… 現在ある四日市市の子ども園は、「幼保連携型」なのか、それとも「保育所型」なのか。四日市市では「幼稚園型」は考えられないのだろうか。教育認定時に加えて保育の必要な幼児の為に保育時間を確保したり、3才児も受け入れたり…は、不可能なのか、ぜひご一考いただきたい。 私は、かつて子供も孫も四日市市の公立幼稚園で、きめ細かい一人一人の幼児に合った教育、遊びや体験を通じた確かな学びにつながる教育を受けさせることが出来た。今後とも、質の高い幼児教育の充実にご尽力をいただきたいと切に願う。</p>	<p>公立幼稚園に関し、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。 そのこども園化について、教育・保育の一体的な提供を行う幼保連携型こども園による再編となりますが、認定こども園となった後も、質の高い幼児教育の提供を図っていきます。 教育内容については、平成29年に幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型こども園教育・保育要領が同時改訂され、「幼児教育の共通化」が図られ、幼稚園、保育園、認定こども園すべてが同じ方針に基づき、幼児教育を行う施設となっております。認定こども園におきましては、従来からの幼稚園・保育園の良さを継承発展させながら運営してまいります。</p>
138	<p>・幼稚園(公立)の3才児保育を希望します。 子ども園化への流れはいたしかたないにしても、そうなった場合の入園時期のズレは交友関係にさしさわりを予想します。私立流れもふせげます。 ・内部幼稚園道路拡充により駐車場が減りかつ車交通量増が予想されます。危険です。 通園バスをご用意いただきたい。 ・幼稚園でも5時頃までの延長保育を求めます。働くお母さん、お父さんもみえます。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。 また、共働き世帯の子どもの受け入れにつきましては、保育園および認定こども園の保育認定枠で受け入れの確保を図ります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
139	<p>「基本的政策」子どもと子育てにやさしいまちに向けた環境整備 展開する施策 (3)子育て家庭への支援強化 市内には、地域団体等子育て支援に取り組む団体がいくつかあります。 子育て支援を実施するNPOなどの団体は、子育てサロンなどの活動も自主的に実施しています。市内の子育て支援センターは、始めていく方にはとても有意義ですが、母親同士が気を使いすぎて関係ができないなど、地域団体が実施する子育て支援との違いがあり、それぞれの良さがあると思います。 子育てをする親子が身近に居場所として気軽に参加頂けるよう、お母さんの自立につながるし支援をするためにも、地域団体等と様々な形のネットワークを組むことで、利用者も増えていくと思います。</p> <p>(4)支援の必要な子どもへのきめ細かな支援 里親事業は県の事業であるが、余り、知られていません。地域に住む子どもが対象であるため、県の事業であっても、子どもが転校など余儀なくされるともがないように、里親制度を充実させて頂きたい。</p>	<p>子育て支援センターは保護者同士の交流の場としての役割が重要であり、保護者同士がつながりやすくなるよう職員が気を配りながら対応しています。しかしながら、保護者にとっては、身近な地域で実施する交流の場のほうが利用しやすい場合もあり、また、地域とのつながりの観点からも重要であることから、地区社会福祉協議会と地域団体等の連携による「地域子育てサロン」を社会福祉協議会に委託して実施しています。今後も、いただいたご意見を参考に、子育て支援に取り組んでまいります。 児童福祉法に基づく里親制度は県の事業であり、四日市市としては、周知・啓発を行っているところであり、今後も県と協力しながら、引き続き、情報提供や制度の周知に努めてまいります。</p>
140	<p>◎就学前教育・保育の充実 公立保育園の人手不足は深刻です。市は待機児童0(ゼロ)と言っていますが、それは、保育士の過重労働の上に成り立っていると思います。行政は保育現場の実態を知っているのでしょうか。さらに、かくれ待機児童(職場復帰したいけど保育園に入れないから育休を少し延長する)もいます。 又、公立幼稚園は三才児保育の停止・保育料の応納負担・三才児以上の保育料無償化により、園児数が激減し、存続さえ危ぶまれています。しかし、公立幼稚園に入りたいと望む親はいます。それに対して行政は何ら手立てをせず、まるで、自然消滅を待っているかのようです。 公(おおよけ)は、子育てや就学前の教育保育に対して、もっと責任を持ってほしいです。なにより、子どもの立場に立ち、様々な保護者のニーズに応える就学前教育の充実を望みます。 ◎公立幼稚園の3才児保育の再開・ 認定こども園、一号認定を3才児から } 3才児が幼・保に分散し、保育園の待機児童 ↓ } 解消につながる。</p> <p>新総合計画には「必要に応じて」とありますが、それは「希望する人全員」ということですね。</p> <p>◎下野地区でおこなわれている、地域の3才児めだか組は、子育て支援としての役割も大きいと思います。親も必要に応じてかかわりながら集団生活を体験していく四日市ならではの取り組みです。そこで、3才児子育て支援センター(2~3才児対象にしてもよい)を公立幼稚園の空き保育室に広げてはどうでしょうか。子育て支援センターは利用料は無料なので来るとと思います。</p> <p>◎就学前教育保育の充実をさらにおし進めていくために 公立幼稚園保育園に研究機関として3園ずつ程度指定してはどうか。軌道にのれば、その園同士での人事交流を行い全市的に内容を広めていく。主に幼稚園で3~5才、保育園で0~2才を対象とし、研究内容の交流をしていく。</p> <p>◎保育士、教諭の待遇改善により人材の確保を。 ◎公立幼稚園での預かり保育の実施(保育園の保育時間を超えない) 「子育てするなら四日市」が実感できる施策期待しています。</p>	<p>乳幼児期の質の高い保育を提供していくため、引き続き、保育士の処遇改善を実施してまいります。教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
141	<p>・子ども子育てにやさしいまちに向けた環境整備の3の(1)の②「必要に応じての教育認定の3歳児の受け入れの検討を進めます」の「必要に応じて」とは、どのような状況をさすのでしょうか？具体的に教えて下さい。</p> <p>・3の(3)の③「子育て世帯の経済的負担の軽減に向けた取り組みを展開」して頂けるようですが、経済的な負担もですが、夜間、休日の小児を診て頂ける病院・医師の確保も急な病気の子どもをかかえた子育て世帯の精神的負担、体力的負担軽減の為に、検討して頂けるとうれしく思います。子どもの病気の早期発見・早期治療は、経済的負担の軽減にもつながるのではないのでしょうか。</p>	<p>教育認定の3歳児の公立幼稚園、こども園での受け入れ及び公立幼稚園のあり方につきましては、今後、市議会とも議論してまいります。</p> <p>本市では、日曜・祝日に、四日市市応急診療所を開設しています。また、「三重県救急医療情報センター」や「#8000 みえ子ども医療ダイヤル」にて、夜間に受診可能な医療機関の案内や医療に関する相談を受け付けておりますが、本市においても、これらの周知に努めてまいります。</p>
142	<p>・インフルエンザ予防接種 子どもは無料or補助金を出してほしい。今は全額自己負担なので、子どもが何人かいる家庭だと、子どもの人数×2回で(子どもは2回接種)、家計の負担が大きいので。予防接種をする人が増えれば、学級閉鎖も減るかもしれない。</p> <p>今は家計の負担になるので、予防接種をしていない子も多いのが現状だと思います。</p> <p>・妊娠中や産後のちょっとしたサポートがほしい。(上の子の送迎、弁当や夕食を格安で届けてくれる等)</p> <p>・保育園の4月入所申し込み結果が2月というのは遅すぎる。保育園落ちたら幼稚園と考えている人も思うので、幼稚園申し込み時期を考えるともっと早く結果が知りたい。9月に募集するのではなく、もっと早い時期(春頃)に募集すればもっと早く結果通知を出せるのではないかと思います。</p>	<p>インフルエンザ予防接種は、接種した個人と家族や所属集団での流行阻止を目的としており、感染症の社会的流行を防ぐことを目的とした他の乳幼児対象予防接種とは、異なる位置づけがされています。本市では、限られた予算の中で、任意予防接種に対する公費助成を行うにあたっては、感染した場合の致死率、重篤さ、感染力の強さ、治療費などから、ワクチン接種を広く推奨すべきと判断した場合に、公費助成を行っていますが、インフルエンザワクチンについては、これに該当しないと考えています。</p> <p>地域で行う子育て相互援助活動として本市ではファミリー・サポート・センター事業を実施しています。依頼会員(育児の援助を受けたい人)に登録いただくと、センターのアドバイザーが援助会員(育児の援助を行いたい人)を紹介し、相互の希望をコーディネートしますが、援助には幼稚園や保育園等への送迎や用事ができた時の預かりなどがありますので、本事業をご利用いただけるよう一層の周知に努めてまいります。</p> <p>保育園の新年度の入園調整は、新年度の保育の受け入れ枠を概ね決定した後に、申し込みを受け付け、申込者の面接を行ったうえで入園を調整し、結果の発送となります。そのため、申込時期が春になったとしても結果通知を8月の私立幼稚園、9月の公立幼稚園の申し込み時期に間に合わせることは難しいところであり、その行程に関しご理解を願いたいと考えております。</p>
143	<p>公立幼稚園は幼稚園の力も借りつつ少しでも子供との時間を長く持ち子育てを楽しみたいと思っている親御さんが選択する1つの場だと思います。実際に先生方からはゆっくりと園での様子を聞くことが出来たり、地域の方々の協力が大きく子供たちの交流の場がとて広がっていると思います。そういった長所をもっと子供たちに経験して欲しいという気持ちもあり、もう少し長く保育時間が増えればという希望があります。そうすることで公立幼稚園へ子供を通わせながら「仕事してみよう」「社会復帰してみよう」という母親も増えてくるのではないかと思います。</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。</p> <p>また、就労をしている保護者の方々のニーズにつきましては、保育園や認定こども園の保育認定での対応を考えております。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
144	<p>意見募集に参加させていただきます。 基本政策No.1の、子どもと子育てにやさしいまちに向けた環境整備についてです。 私は、公立幼稚園に娘を通わせている母親の立場です。 初めての子育てに悩み、楽しみながら毎日の子育てに奮闘中です。 娘の幼稚園選びは、とても悩みました。 公立・私立ともに何園か見学に行き、やはり公立の幼稚園に決めました。 今、年少ですが、この幼稚園にして本当に良かったと実感している所です。 公立幼稚園の「遊びを大切に、遊びを通して様々な事を学んでいく姿」や、「一人ひとりを大切に、丁寧に子どもの姿に合わせて遊び込ませてくれる環境や先生の援助」に感謝しています。 公立幼稚園の園児減少は、悲しいですが痛感していて、適切な集団は大切だと思います。 集団でないと出来ない事もあると思います。 今後、こども園になっていくとするならば、是非とも今の公立幼稚園の良さを残せる体制を作って欲しいと思います。 四日市の公立幼稚園が今まで積み重ねてきた、幼児教育は素晴らしいと思います。 子どもが主体的に、考えて遊ぶ。生きる力の育成。ただ遊ばせているのではなく、意図をもって遊びを展開していく遊びの中での学び。 これは絶対になくしてはいけないと思います。</p> <p>単純に、保育園と幼稚園を合体させれば、人数的に少ない幼稚園は、吸収されてなくなってしまいます。 園の形が変わったとしても、全ての3歳児から5歳児に、今公立幼稚園が大事にしている幼児教育を受けられるようにして欲しいです。 四日市の、安心子育てを目指すなら、0歳から3歳までの乳幼児をもつ家庭の子育てがもっと楽しさを実感できるような政策が必要だと感じます。 子育ての大変さ、不安さが大きくて、早く子どもを幼稚園に入れた方が子どものためだと良く耳にします。 私立が2歳から入れる園があり、さらに無償化も実施され、3歳から無料で幼稚園にいけるなら、大変な子育てを不安なままするより、幼稚園に入れるのが自然な流れです。 4歳児からしか入園できない公立幼稚園の人数減少は明らかです。 こんなに良い教育してくれているのに、それを知らないまま、3歳児がないからという理由で私立に入っていく人ばかりなのが私は悲しいです。 今更ですが、遊び会など、未就園児向けの活動にもっと予算をつけて、公立幼稚園の良さや、幼児教育の大切さを、幼稚園選びをする1歳児のパパママさんに知ってもらいたかったと思います。 3歳児が出来ないのであれば、3歳児の時期も家庭で安心して過ごせるような、3歳児の遊び会をもっと活発にできるようにするとか、予算があればもっとできると思います。 今後とも、公立幼稚園の良さを残して、それを活かしてよりよい幼児期が過ごせるようになるよう切に願います。 どうぞ、よろしくお願い致します。</p>	<p>遊びを通じた学びにつきましては、市内の公立幼稚園だけでなく、公立保育園、あるいは公立認定こども園においても、その重要性を認識し、大切にしているところであります。 認定こども園とは、幼稚園と保育園の両方の機能を併せ持ち、従来の幼稚園、保育園という枠組みを超え、乳幼児期の保育と教育を一体的に行う施設であります。 本市では平成29年度から橋北こども園、塩浜こども園を開園しておりますが、こども園化した後も、公立幼稚園の良さを取り入れながら、園運営を実施しております。 今後も認定こども園への移行にあたっては、公立幼稚園において積み重ねてきた幼児教育を引き継いでまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
145	<p>私は、福岡県出身で夫の転勤でこちらに住んで6年の今年の2月に第三子を出産した者です。昨年4月に第二子が幼稚園に通園になるのを期にパートを始めたばかりで6月ぐらいに第三子の妊娠が発覚してつわりがひどい体質なのでやめました。ずっと帝王切開での里帰り出産だったので四日市市の産院もわからず手術してくれる場所を探さないといけないし何も情報がない中でとても大変でした。母子手帳をもらうときに悩みとかについてのアンケートにその事も書かせていただきましたが、相談の電話がきたのがもうすぐ出産という時期で全く意味がありませんでした。私のように不安な妊娠期間を過ごす事のないように妊娠中のサポートの充実をお願いします。</p>	<p>「産前・産後サポート」として、妊娠届出時のアンケートや過去の支援歴から把握した情報に基づき、妊娠中から保健師や助産師による相談を実施していますが、不安な妊娠期を過ごすことのないよう、今後、更に早期からの丁寧な対応に努めるとともに、気兼ねなく相談いただける相談窓口としての周知にも努めてまいります。</p>
146	<p>・小学校の給食の時間が短いと思う中学校が今だに給食になってないことを疑問に思う</p>	<p>中学校給食については、素案P94において中学校給食センターの整備を位置付けています。</p>
147	<p>・市立中学校の給食、市立幼稚園での給食実施を早急に進めてほしい。 大阪市では既に取り入れている「食缶」での給食実施。近くの小学校で作った給食を食缶で運べば、作らたの あたためた食事を経費少なく届けられることができます。 一番の成長期の義務教育終了時までの給食を！！</p>	<p>・中学校給食については、素案P94において中学校給食センターの整備を位置付けています。食缶方式による提供を行うこととしております。 ・公立幼稚園においては、現在、週2回のデリバリー給食を実施しております。 一方、平成29年度から開園しているこども園においては、自園調理による給食の提供を、保育認定の園児同様に、教育認定の園児にも提供しております。</p>
148	<p>【基本的政策】子どもと子育てにやさしいまちに向けた環境整備について 聞くところによりますと、市立幼稚園では、4～5歳児の700人程に対して、園児一人あたりに年間約110万円の行政コストをかけているとのことです。 0歳児から預かる保育園や小・中学校と比較しても、コストを掛けすぎです。 令和元年10月から幼児教育・保育の無償化が実施されると、3歳児から私立幼稚園への入園が増えると思込まれます。今後、さらに市立幼稚園の園児数は著しく減っていくことは安易に想定できます。「教育認定の児童については、公立幼稚園において公的役割を果たしていきます。なお、適切な集団規模での教育が困難な園については、認定こども園においてその役割を保障していきます。」とありますが、市立幼稚園の全廃に取り組む時期であり、そのことを明確に記述すべきです</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。</p>
149	<p>政策1No.1.3(1)③保育の質の向上について。研修や処遇改善(処遇とは給与ですか?)などに取り組むとありますが(P.33①、②)、実地確認を重視してほしい。 特定の保育園出身の児童で不登校の割合が高かったりするという話をきいたが、当然 市も把握していると思うが、対策はとっているのかきもん。質の悪い保育園があると そこを避けてまともな保育園が人気になって結局 待機児童が増えると思う。</p>	<p>市独自に私立幼稚園の保育士等の給与を改善し、保育士等を確保、定着化させることを目的に処遇改善しております。保育士等の平均勤続年数に応じて手当を支給しておりますが、実際に給与に反映しているか施設に対し確認を行っております。 保育園において、登園状況の良くない園児は家庭訪問や保護者への助言などにより、園児たちの生活サイクルを改善させるよう努めています。</p>
150	<p>政策1No.1(3)④母乳育児への公的支援が感じられない。産後1ヶ月検診では病院にミルクメーカーの営業がきていて、母乳育児を安定させるための情報へのアクセスはなかった。 産後は目が疲れやすくて産婦が自ら学術的に正しい情報を得るのが難しいと思う。ネット検索では学術的に正しい情報を得にくい。こんにちは赤ちゃん事業でしてくれた人は保健師でも助産師でもなく、頼りにならなかった。「母乳育児への支援を希望するか」を産後2週間、1ヶ月検診のききとり項目に入れて、希望する人には母乳育児支援のできる助産師を紹介するなどしてくれたら助かるのにと、子供が1才になった今、ふりかえって思う。</p>	<p>本市では、こんにちは赤ちゃん訪問を保健師や助産師などの専門職員と、こんにちは赤ちゃん訪問員とが、協働で実施しており、赤ちゃん訪問員が訪問した際に、専門的な相談や育児への不安をお持ちの場合は、再度、保健師や助産師が家庭訪問や電話による支援を行っております。 今回ご意見をいただきました母乳に関しても、不安な思いがおありのかたが、適切な時期に相談していただけるよう、訪問時の丁寧な聴き取りに努めるとともに、気軽に専門職員に相談していただけるよう、相談窓口の周知に努めてまいります。</p>



「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
151	<p>「仕事を持つ人が安心して子どもを産み育てられる環境の整備」とあるが、子どもが風邪をひき、欠勤が多かった翌月、「待機児童が多いので、出勤日数、出勤時間を増やさないと保育園退園の対象」と言われた。保育園は誰でも入園できそうだが、どうしても線引きされている。幼稚園も3才児から受け入れ、親の仕事量にかかわらず、入園、在園出来る場として有り続けて欲しい。</p> <p>現在、子ども(園児数)が減少し、統合も進んでいるが、今後、保育園だけになると、私のような、思うように働けない母が増えていくと思う。</p> <p>子育て(出産して)で、仕事にブランクがあると、子どもの様子も気になるので、いきなりフルタイムにするには抵抗があるので、様々な受け入れ体勢を望みます。</p> <p>四日市の学童保育代金(1万5千～2万円程度)とても高いと思います。鈴鹿市なら1ヶ月4,000円程度のところもあるので。</p>	<p>保育園の入園基準につきまして、子どもの病気などに突発的な事由による勤務日数の減少により退園を促すことはありません。</p> <p>条例で保育所の設備や運営に関して一定の基準を定めていますが、本市の学童保育所は、保護者会や地域の方、NPO法人などで構成される運営委員会が設置・運営する民設民営方式をとっており、利用料金(平均額1万1千円程度)や開所時間等は保育所ごとに定めています。</p>
152	<p>海蔵小学校の新校舎がもうすぐ完成するが 予算が足りずエアコンがつけられないという話を聞いたので、もし本当なら 子供たちの体調のためにも エアコンはつけていただきたい</p>	<p>市内公立小中学校の全普通教室に空調設備設置を進めており、令和2年度より供用を開始いたします。</p>
153	<p>(94ページ)⑤学校給食と地産地消は直接結びつかないので表現を工夫してほしい 以上おもいつくまま書きました。お疲れさまですが内容のあるよい計画書にしてください。</p>	<p>P73「地産地消と食育の推進」及びP116「地産地消の推進」と関連した記載となっておりますので、当該項目と併せてご覧ください。</p>
154	<p>・学区見直し等による公立中学校の生徒数確保 三重平中学校では生徒数が減少しており、部活動へ影響が出ているだけでなく中学校の存続も危うい状況があると聞きます。 既存の中学校を十分に活用しつつ、かつ生徒の適切な通学時間や通学時の安全確保の面からも学区見直し等により各中学校の生徒数をバランス良く保てる様な施策の検討をお願いします。</p>	<p>小中学校の学校規模適正化については、毎年、児童生徒数推計の時点修正を行い、「学校規模等適正化計画」の見直しを行っています。今後とも、同計画に基づき、学校の保護者や地域の関係者との協議を行い、児童生徒にとって適正な学校規模を確保するための取り組みを進めてまいります。</p> <p>※60と同一回答</p>
155	<p>未来ある子供達のことをもっと に考えてください。 日本の未来がかかっています。</p>	<p>・子どもの視点を大切にしながら、妊娠から出産、産後、子育てまで、子ども一人ひとりの成長に応じた支援の充実を進めてまいります。</p> <p>・総合計画素案において、基本構想の中で「子育て・教育安心都市」を将来都市像のひとつに位置付け、重点的横断戦略プラン(子育てするなら四日市+(プラス))及び分野別基本政策(子育て・教育)を通じて、子どもの育成のための諸施策を講じていきます。</p>
156	<p>私は高齢者ですのでこの先は短いのでこれまでの経験から若干意見を申します。 1・子育てについては現在は家庭の宝としていましたが、少子化の時代は国の宝でもあることを強調してもらい応援体制の確立をお願いします。 2・子供は女性が子育てします、人間が親として果たす役割としています、しかし近年は子育てが物・道具がしている時代になりスマホを与え遊ばせています、こうした社会になり若い女性に聞きました、こんないいものがあるので助かりますという話です。 小学生までは親が子育てすることの条例を求めたいです。研究者の発表では学力に差が出ていることです。残念ですが反対者が多くいました。</p>	<p>1. 一人ひとりの子どもが健やかに成長できるよう、子どもの視点を大切にしながら、子どもや子育てにやさしいまちに向けた環境づくりに努めてまいります。</p> <p>2. 家庭における子育ては原点になりますが、市としましては、家庭や学校園、地域等と連携・協力しながら子どもの成長と子育て家庭への支援の充実を進めてまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
157	<p>四日市市総合計画案を読ませていただきました。</p> <p>四日市に済、子育てしてきた親として、また今現在幼稚園の遊び会を通して、子育てをしているお母さんたちと関わる立場としての意見、そして、お母さんたちの声を代弁したいと思います。</p> <p>まず、この計画案を読んで思ったのは「子育てするなら四日市」とありますが、どちらかと言うと「女性が仕事をするなら四日市」と感じました。</p> <p>子どもの数が減り、働く女性が増えたのも事実であり、変化に応じて体制を考えてもらっていることはよくわかります。国も四日市も働く女性にばかりに目を向けがちですが、そのような人ばかりではありません。子どもを生み、乳幼児期のうちは自分の元で子どもとゆっくりと向き合って育てていきたいと思っている人もたくさんいます。その保護者の方たちが家庭でも楽しく子育てできる時間を持てるような、手助けをする案はないのでしょうか。</p> <p>各地域にある公立幼稚園は、保育の無償化と3才児保育がないことで、ずいぶんと人数が減ってしまっています。適切な集団規模での教育が困難な場合は、認定こども園で、その役割を保障すると書いてありますが、自分の住む地域にあるすべての公立幼稚園がこども園になれるわけではないですよね？子育て支援強化のところに親子で気軽に！！とありますが本当にその通りでいつでも気軽に行ける場所、気軽に話せる場所が孤立化を防ぐためにも必要だと思えます。しかし、人数が集まらないからと、地域から幼稚園が消えてしまうと、離れた場所にある、支援センターや幼稚園、こども園に通わなければなりません。車に乗れない人、交通の便が悪い人はどうしたらよいのでしょうか？気軽になんて行けません。普段着で、子どもと歩いて、ちょっと散歩がてら・・・に行ける場所、そういうのが本当の気軽さであって、そういう場所が必要だと思います。また自分の地域にない子育て支援センター、交流プラザのあり方ですが、地域とどのようにつながりを持たせていくのが気になります。自分の家から離れた場所にあると、足が遠のいてしまう人もいると思います。</p> <p>拠点的な施設はもちろん大切だと思いますが、自分の住む地域にあることで、通いやすく、地域に住む他の親子やお年寄りの方などとのつながりも生まれ、親も子ども地域で育つ安心感が持てるのではないのでしょうか？</p> <p>今まで公立の幼稚園が大切にしてきた「地域に根ざした」「地域で育てる」という役割というものを、今一度考えていただきたいと思えます。</p> <p>地域に今ある、公立幼稚園を充実させるという案はないのでしょうか？</p> <p>これは私個人の意見ではなく、たくさんのお母さんたちの声です。</p> <p>例えば、今ある空部屋での3才児の保育、または、遊び会を毎日するなど、保育時間の延長、長期休みのあずかりなど取り入れることで、保護者のニーズにも対応でき、これから新たに施設を作るより莫大な費用をかけずに、人数の確保もでき、本当に親にとっても子どもにとっても地域にとってもつながりあえる四日市市が目指す「子育てしやすい町」になるのではないのでしょうか。</p> <p>あと、公的な役割を担っていかなくてはならないという立場である公立幼稚園ですが障害や発達に問題がある子どもの受け皿になるだけでなく、健常児も一緒に育ち合える場所になってほしいと思えます。</p> <p>公立の良さ、公立の大切さ、現場の先生、地域に住んでいる小さいお子さんを親の思いを十分に組みとって良い案を作っていただきたいと思えます。</p> <p>子育てをしている親は安全で安心できる居場所を心から望んでいます。</p> <p>よろしく願います。</p>	<p>公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。</p> <p>教育内容については、平成29年に幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型こども園教育・保育要領が同時改訂され、「幼児教育の共通化」が図られ、幼稚園、保育園、認定こども園すべてが同じ方針に基づき、幼児教育を行う施設となっております。認定こども園におきましては、従来からの幼稚園・保育園の良さを継承発展させながら運営してまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
158	<p>将来的な人口減少時においても市が存続するために「存在感」を有し、「人」を本市に集中させるという課題は理解する。                      その上で「人」を集めるために、「子育てするなら四日市」というお題も同意する。                      しかしながら本計画は子育て世代にとって魅力があり、他の自治体との差別化が図られているとは思わない。換言すると四日市を選択する理由がない。</p> <p>例えば、少子化に伴う公立幼稚園や小中学校の廃止が聞こえてくるが、本計画は本問題に対する具体策について何ら記載も示唆も無い。統廃合を進めるのであれば、通園・通学時間が長くなり親としては時間をさかれてしまう。一方、本計画は共働き支援促進に関し記載があるにも関わらず、全く整合性を感じない。                      一案として、思い切った統廃合(=集約)により子供の数をまとめて、公立であってもバスを出すなどの策を考えても良いのではないか。                      更にはその際、幼稚園であっても昼食を完全給食化の方が合理性があると考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>他方、学校を卒業した人たちがその先も四日市に定住してくれるのが、持続性の観点からも重要な課題であろう。                      しかし本計画には十分な案が無いと思われる。                      本市は幸いにして名古屋圏への通勤圏であるにも関わらず、その様な方の在住について取りこぼしがあるのではなからうか？                      四日市駅近辺で保育園、幼稚園を設けることができれば、子育て世代は当然本市を選ぶインセンティブに繋がる。                      更には、より名古屋圏に通勤しやすいよう本市在住者に対し特急代金の補助を出すなど、名古屋市在住と変わらないくらいの時間で通勤ができるような策を考えてはどうか。</p> <p>以上</p>	<p>・公立幼稚園におきましては、近年園児数の減少が続いており、適正な規模の集団を確保するため、年齢別(4歳児と5歳児)の各園児が18人に満たず、混合クラスによる園運営が3年間継続した園を対象に、近隣の保育園との認定こども園化を進めていくこととしております。                      共働き世帯の教育・保育ニーズにつきましては、そのこども園化により、その地域の教育認定を望む方々の受け入れ枠を確保していくことから、共働き世帯の通園時間に大きな影響はないものと考えています。</p> <p>また、公立幼稚園における給食につきましては、現在週2回デリバリー給食を実施しておりますが、現在のところ回数を増やすことは考えておりません。</p> <p>園児数の減少した公立幼稚園においては、認定こども園化を図っていくこととなりますが、認定こども園化後は教育認定の子ども及び保育認定の子どもの両方に対し、自園調理による給食を実施していきます。</p> <p>・小中学校の学校規模適正化については、毎年、児童生徒数推計の時点修正を行い、「学校規模等適正化計画」の見直しを行っております。今後とも、同計画に基づき、学校の保護者や地域の関係者との協議を行い、児童生徒にとって適正な学校規模を確保するための取り組みを進めてまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
159	<p>長男(4歳)が近所の公立幼稚園に在園中で、長女(2歳)も再来年同じ幼稚園に入園を希望したいと考えている2児の母です。現在四日市市で安心して子育てをしています。園児数の減少にともない公立幼稚園の存続が危ういのではないかと不安を感じるようになってきました。そこで保護者の立場から(一個人としてですが)公立幼稚園の良さ、必要性をお伝えするとともに存続をお願いしたいです。</p> <p>&lt;私の「子育てするなら四日市」&gt;          私は長男と同じ幼稚園を卒園し、結婚まで四日市市に住んでいましたが、結婚にともない他市に引っ越しました。しかし、夫の仕事の都合上、私が1人で家事、子育てをすることが多くなるので、家を建てる際に、安心感のある四日市市に住むことに決めました。</p> <p>「安心感」の理由は、①実家が近く困った時に相談することができる②親密な地域のつながりを感じることができる③四日市で学べて良かったと思える経験があるからです。</p> <p>&lt;公立幼稚園を選んだ理由&gt;          ○母(私)が楽しかった経験から子どもにも心身ともに豊かな経験をさせたいから          →遊びを通じて経験したこと、子ども自身が気づき、学びきっかけを先生がつくってくださったり、あたたかく見守ってくださったことにより、達成感、安心感を得ることができた          ・普段の遊びに加えて、行事・園外保育・地域交流など地域の特性をいかした保育も魅力的だった          ○徒歩で通える近さであるから(気候・体調により徒歩ではない場合もありますが、徒歩通園をしています)          ・一緒に安全確認・交通ルールの確認を行いながら歩き、小学校の徒歩通学に向けて徐々に慣れていき、意識できる機会となればと考えている。          ・幼稚園で体調不良になった場合や災害の際にすぐに迎えに行きやすい</p> <p>&lt;長男が入園してみても&gt;          長男は今年の4月に入園して以来、毎日楽しみに登園し、笑顔あふれながら帰宅して、嬉しそうに幼稚園のできごとを話しています。ひとえに、安心して過ごすことができるように環境づくりをして、一人ひとりに寄り添って保育をしてくださる先生方のおかげです。友だち、保護者も昨年からの遊び会でつながりがあり、安心のできる存在です。</p> <p>また地域の方、小・中学生との交流を通じて、地域の良さを知り、目上の方へ感謝の気持ちをもったり、年上の子の姿に憧れを抱いたりなど心が豊かになる経験をさせていただいています。</p> <p>園児数が少なくても遊びの中で協力しあい、友だちの気持ちにふれる経験をとおして、友だちや自分のことを大切にすることを学び、成長につながっていると実感しています。行事においても園児、先生、保護者が一丸となって和気あいあいとした雰囲気の中で取り組んでいます。また地域の方や卒園時の保護者の方のご厚意により、幼稚園生活がより豊かになっていて感謝の気持ちでいっぱいです。</p> <p>&lt;さいごに&gt;          まずは自分の子に関わる1年、2年先のことが心配ですが、私たち親子が受けた地域の方からのあたたかさや優しさをその先の年齢の子たちへとつなげていけたらと考えていますので、必要性がある限り公立幼稚園の存続を願います。</p> <p>各家庭の暮らし方や子どもの育ち方、教育方針によって幼稚園・保育園選びはさまざまです。どの家庭も子どもを思って一生懸命です。</p> <p>公立・私立／幼稚園・保育園 のそれぞれの良さがあると思います。</p> <p>子ども一人ひとりがいきいきと育つ場をつくり、地域全体で見守っていくことで、より地域の活性化、ひいては四日市の発展につながっていくのではないのでしょうか。よろしく願いいたします。</p>	<p>・公立幼稚園に関し、園児数の減少が見込まれる中ではありますが、教育認定の児童は公立幼稚園において公的役割を果たし、また、適切な集団規模での教育が困難な園については、教育認定の児童への公的役割の保障をこども園で確保してまいりたいと考えております。</p>


「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
160	<p>子どもの教育に対する地域力</p> <p>背景:日本の財政難、少子高齢化社会、労働人口の払底、それに伴う外国人労働者の導入等、現在おかれている状況は課題が山積みしている。これらの課題は一朝一夕で解決できる問題ではない。平成元年頃、日本の経済力は世界の上位50社の中に30社が入っていた。現在、50社の中には、トヨタ1社である。それが現在では上位にGAFAが台頭してきた。グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾンである。</p> <p>日本の将来を決めるのは子どもたちである。この子どもたちの教育に英語、プログラミング教育が新たに増えてきた。学校側も大変である。</p> <p>しかし、地域にはこれらのスキルを持った社会貢献したい高齢者がごろごろいる。この人的資源を生かさない選択肢はない。</p> <p>プログラミング教育は、何もプログラマーを育成するものではない。問題解決能力を育成するもので、次代のAI社会にとっては必須のスキルである。</p> <p>方策:①高齢者が参加できるコミュニティスクール(CS)の存在を広く地域に知らしめる。 ②CSの役割を地域住民に知らしめるのがCSのリーダーの役割である。 ③各地域の老人会にも協力を要請する。 ④貧困家庭の児童を放課後、コンピューター室でプログラミングを教え、ついでに宿題も面倒をみる。 ⑤地域に応じて子どもたちの社会参加、田んぼ、畑等の体験学習を高齢者ともに行い、学力だけでなく実施の社会学習を教える</p> <p>あとがき:すでに八郷小学校、八郷西小学校で児童にプログラミング教育を高齢者が行っている。</p>	<p>現行の総合計画において、「地域とともにある学校づくり」のために「四日市版コミュニティスクール」を推進してまいりました。今後ともコミュニティスクールの取り組みを進め、高齢者を含む地域の人材の力を活用させていただきながら学校づくりを進めてまいります。</p>
161	<p>③「父親の子育て支援」と「イクボス」について</p> <p>四日市市が市民と協働で取り組み、他市に先んじている事例は多々あると思いますが、今回の総合計画の中でも重視されている「子育て支援」の中では、いち早く10年前から「父親の子育て」に着目し、かつ市民との協働によって取り組まれてきたことは評価されるべきだと思います。「父親の子育て」を進めることは、母親の負担・不安の軽減、子どもの育ちにも有効であり、少子化対策にもつながることが内閣府の少子化対策白書などでも指摘されており、社会における女性の活躍、男女共同参画社会の実現のためにも不可欠なことです。</p> <p>しかしながら、今回の総合計画においてはこうした四日市市の特徴でもあり強みでもある「父親の子育て」についての記載がなく、この取り組みにかかわってきた者としても残念な気持ちになります。具体的提案としては、基本計画の基本的政策No.1「子どもと子育てにやさしいまちに向けた環境整備」の「展開する施策」(3)①において、「男女がともに子育てにかかわる意識を高め、父親の子育てを促進」する旨を記載すべきと考えます。あわせて、基本計画の基本的政策No.19「ダイバーシティ社会の実現」の「展開する施策」(2)①において、「女性の活躍」と対をなすように「男性(父親)の家事・育児参画」を記載すべきと考えます。</p> <p>また、四日市市では市長を先頭に、今年8月に所属長全員が「イクボス宣言」をされ、職員の家庭生活を支援し、かつ市役所の業務効率を上げることが、ひいては「市民サービスにもつながる」として、イクボスの取り組みを推進されていることも特記すべき点だと思います。</p> <p>しかしながら、この点についても記載がありません。行財政運営についての基本計画での記載が基本的政策No.27「スマート自治体の実現」ぐらいしか見当たらず、情報活用に偏っている点も気になります。具体的提案としては、このNo.27「スマート自治体の実現」の「展開する施策」(1)①に「働き方改革を進め」ることが記載されていますので、ここに「イクボスの取り組みを進める」ことを合わせて記載すべきと考えます。</p>	<p>・本市では、父親の子育てへの参画促進を図るため、他都市に先駆けて平成22年度に「父親の子育てマイスター養成講座」を実施し、本年度で10周年を迎えることになりました。この間には、マイスター修了者の有志による団体が結成され、マイスター養成講座も行政と有志団体等との協働事業に発展しながら、父親の子育てへの参画促進に取り組んでまいりました。本市としましては、こうした実績を基本に、種々工夫を重ねながら、父親の子育てへの参画機会の提供や知識の普及に努めてまいります。</p> <p>・基本的政策No.19「ダイバーシティ社会の実現」につきまして、「男性(父親)の家事・育児参画」を記載すべきご意見をいただきましたが、「男女がともに働き続けることができ、家事、育児、介護等に参画できるよう、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を促進する」にありますように、「男性(父親)の家事・育児参画」に関しましても取り組みを進めてまいります。また、具体的な施策等につきましては、四日市市男女共同参画基本計画に記載し、取り組んでまいります。</p> <p>・四日市市役所では、働き方改革に取り組む中で、職員のワーク・ライフ・バランスの充実のため、仕事と育児の両立支援をはじめ、職員が働きやすい職場環境の整備を推進しており、令和元年度において職員の意識改革の一環として、所属長以上の職員を対象に「イクボス宣言」をしたところです。このことについては、重点的横断プラン①子育てするなら四日市+(プラス)プロジェクト03「子育て&amp;仕事」両立プロジェクトNo.2「仕事と子育ての両立ができる職場環境の実現」における目的のもと市内企業とともに四日市市役所においてもワークライフバランスの実現に向けて取り組んでいくといったことも含まれておりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
162	・幼稚園、保育園の駐車場が整備されていない、少ない。	各幼稚園、保育園の駐車場につきまして、適正な台数の駐車場の配備を検討してまいります。
163	トイレの個室を作ってもいいのかな?と思います。 幼稚園の子供でも大きい方は恥ずしくて幼稚園でしてこない。 クーラーを増してもいいと思う。 遊具をプラスチック製のもあればいいと思う。 かげが少くな過ぎだから、日かげになる場所もあった方がいいと思う。	公立幼稚園において、トイレは基本、個室になっておりますが、「はすがしい」ことについては保育の指導において対応してまいります。また、空調に関しましては、平成30年度の夏に保育室に設置させていただいたところであり、遊具につきましては、安全性や耐久性などを考慮して適切なものを設置いたしております。園庭での日陰につきましては、砂場をシートで覆う、簡易テントも設置するなど、運用にて工夫してまいります。
164	幼・小・中学校の環境整備の一つに、クーラーの設置を希望します。気温が40℃近くなる近年、子どもが元気に体を動かした後や熱心に就学するためにもきちんと体を休めつつはげめるように設置してもらいたいです。	・公立幼稚園につきましては、職員室に加え、平成30年7月に全ての園の保育室(クラス運営分)にエアコンを設置したところです。 ・市内公立小中学校の全普通教室に空調設備整備を進めており、令和2年度より供用を開始するほか、総合計画素案においては、未整備である室や更新時期を迎えている室への対応について、計画的に環境改善に取り組む旨、位置付けています。

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
②文化・スポーツ・観光		
165	<p>【基本的政策】文化・芸術の振興                      (1)文化芸術を担うひとづくり                      ①子どもが未就園・未就学・・・子どもが文化に触れる機会を低年齢の時期から実施することは、とても良い事だと思います。文化芸術体験は、子どもの成長にとって、豊かな体験の場になっていくことが期待されます。                      (2)市民の文化活動の環境づくり                      ②300名程度の小劇場は小演劇等を観るのに最適です。また、児童演劇にもそういった規模の作品が多くあります。三重県文化会館にもあり、何度も見に行くことがあります。市民の舞台発表のみならず、間近で舞台を観ることが出来るため、是非、小ホールを作ってください。                      *本物を観る機会が少ない低所得の家庭の児童にも観る機会を作るためにも、採算を度外視してするものもあってよいと思います。</p>	<p>(1)(2)                      誰もが文化に触れられる機会や場の充実により、文化の担い手育成に留まらず、子どもたちの豊かな成長に寄与してまいりたいと考えております。</p>
166	<p>②文化会館について                      改装されて使いやすくなりましたが、30万都市としては、現在の四日市文化1棟のみでは少なすぎる。特に「音楽」と「演劇」では使用条件が異なる。今回の改装で「第1ホール」の音楽関係行事使用には格段の進歩があるので、「演劇」専用のホールを作してほしい。</p>	<p>新総合計画におきましては、市民の文化活動の環境づくりとして、市民グループで利用しやすい小規模のホールの整備を考えております。                      ご提案の演劇などの舞台公演に必要な音響等の舞台装置や200～300席程度の固定客席などを備えた、小さいながらも本格的なホールを整備することにより、市民の皆様の多様な文化活動の発表の場を充実させ、継続した文化活動の促進と文化芸術に関する活動者の育成を図りたいと考えております。</p>
167	<p>今回、四日市市新総合計画素案(99頁)として以下の通りご提案申し上げます。                      1、当会は毎年2回、四日市市総合会館の3階社会適応訓練室(定員50名)にて出前名作映画上映会を開催させていただいていますが、フロアが平面の為後ろのお客様から「スクリーンが見えない」と苦情が出ます。そこで50人～100人程度の定員で出入りができる段差付き可動式の椅子席のホールを新図書館に作っていただきたいと提案致します。普段は椅子を後方の部屋に収納できてフロアが広く多目的に利用できる方式です。舞台にはグランドピアノを置きます。</p> <p>参考例→東京都墨田区本所地域プラザの様子</p> 	<p>・平成29年度に策定した中心市街地拠点施設整備基本計画におきましては、新図書館を核とした複合的な施設の機能の一つとして、様々な文化的活動の練習や発表ができる場として多世代が交流できるスペースを整備することを想定しています。                      現在、立地場所の選定を行っている段階ですが、市の方針を示させていただいた後は、具体的な整備内容等について、関係団体をはじめ、市民の皆様のご意見を伺いながら事業を進めてまいります。                      ・市民の文化活動の環境づくりとしてのホールの整備につきましては、市民の皆様の多様な文化活動の発表の場を充実させることにより、継続した文化活動を促すため、市民グループで使いやすい小規模のホールの整備を考えております。                      文化芸術に関する活動者を育成するためには、例えば、音楽や演劇、舞踊等の舞台公演に必要な音響等の舞台装置や200～300席程度の固定客席などを備えた、小さいながらも本格的なホールが必要と考えております。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
168	<p>スポーツ 目玉！！                      観光(人寄せ)と市民の求心力の目玉として、「四日市国際サッカー場」を作ってはどうか。                      世界の四日市としてネームバリューが！                      市民の求心となり誇り・連帯感が！                      強いプロサッカー選手が四日市に住む、訪れる。                      彼らも「四日市」を発信してくれます。                      方法はわかりませんが、四日市はポテンシャルから言って、「国際サッカー場」を持ってよい街、持たねばならない街だと思います。</p>	<p>四日市市新総合計画(素案)に記載のとおり、プロスポーツ興行を前提とした施設や広域的な施設の整備については、関係機関に働きかけ、誘致に努めていきたいと考えています。</p>
169	<p>・今後発展する可能性が高いE-sportsと関係を持ってほしい。</p>	<p>eスポーツについては、茨城国体の文化プログラムとして開催される大会の三重県予選を本市で開催したところであり、大会開催による本市の知名度向上や経済的効果など、eスポーツによる地域活性化が見込める可能性もあり、今後の動向を注視しながら、研究を進めていきたいと考えています。</p>
170	<p>1. 東京オリンピック選手(地元選手、カナダ体操選手誘致)関連にコストをかけるべき。オリンピック選手が練習しやすい環境づくり・生で見られる環境。一流選手のマインドは子供達の発育に良い影響を与えます。他国のスポーツ振興成功例とも沿う。</p>	<p>四日市市新総合計画(素案)に記載のとおり、プロスポーツや大規模スポーツイベントの誘致に取り組み、市民の皆様がトップレベルのプレーを観る機会の創出に努めます。</p>
171	<p>7. 各種のスポーツ施設が充実していて誰れもが、自由に使用でき指導者も多く、スポーツがしやすくなり健康的な人が多く、健全で活気のある四日市市になっている</p>	<p>各種の施策の実施により、スポーツを通して元気な四日市市の実現を目指していきます。</p>
172	<p>リージョンコア</p> <p>背景:別紙に見るように、残念ながら四日市にはこれと言った観光資源・観光施設はない。引いて言えば、観光資源としての夜景クルーズ位である。今後、日本はインバウンドが来年には4000万人を目標として観光立国を目指しているのでここで新たな観光資源を醸成していかなければならない。四日市市の周りには伊勢神宮、ナガシマリゾート、御在所ロープウェイ、鈴鹿サーキット等目玉の観光資源があり、通過観光客は多い。                      四日市の特徴としては、港・コンビナートを中心とした産業観光、お茶・万古・食用油・大矢知そうめん・うちわなどのものづくり等もある。それに四日市は宿場町であり、商業都市である。</p> <p>方策:①すぐにインバウンド客を呼べるようなものはないので、今後のビジョンを立て、目玉を作っていくことが必要である。                      ②小規模ながら、四日市らしい夜景クルーズの集客アップの改良が必要である。                      ③商業都市としては、電線の地中化を図り、他の都市とは異なる魅力づくりが必要である。                      ④都市から近いところに伊坂ダム、山村ダムがある。このような都市と自然が共存する町は少ない。これも四日市の魅力である。                      ⑤東海道筋には神社、仏閣が多いので、探索しながら日本の歴史に触れる。                      ⑥世界に誇れるプラネタリウムがある。これと宇宙に関するJAVAコーナーがあるので、たっぷり二時間程度の宇宙の勉強をするシステムを構築する。                      ⑦その後、昼食・夕食として旨いもの食事として松坂牛、黒毛和牛名などの美食を楽しんでもらう。時間があれば、ショッピングも楽しんでもらう。</p> <p>あとがき:四日市は古くからの商業都市であるので、専門家の意見も交えながら息の長いビジョンづくりが必要である。そのための検討委員会等の立ち上げも考えられる。専門家だけの委員会では古い案しか出にくいので若者、馬鹿者、よそ者などの意見も貴重である。</p>	<p>「基本的政策 交流を生み出す新たな四日市流都市型観光」にありますように、自然に恵まれた環境を生かし、若者世代やファミリー層などが仲間で気軽に集い、快適な屋外レジャー活動を楽しめるよう誘客につなげるための手法について検討します。                      また、本市への誘客を促すため、観光キャンペーンを展開し、フィルムコミッションを通じた広報活動やテレビ・ラジオをはじめとしたメディアを活用した取り組み等幅広い情報発信を行います。さらには多様な主体が参画・連携しおもてなし意識の醸成に資する取り組みを行うとともに、観光ガイドやボランティアの人材発掘、観光地域づくりを行う組織についての検討など、受け入れ基盤の充実を図っていきます。</p>



「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
③産業・港湾		
173	<p>提案2. 基本的政策(No.6)新産業の創出と既存産業の活性化について 生産年齢人口の減少は日本全体の課題である。高齢者の就業ではカバーできない“労働力”は外国人労働者に依存せざるを得ない点がより一層、多くなると考えます。よって指標に外国人労働者の雇用・支援に関する目標設定が必須であると考えます。</p>	<p>市では、企業の労働力の確保やグローバル化への対応のため、外国人人材の活用が不可欠と認識しており、海外人材活用セミナーの開催や企業の外国人従業員の研修支援などを行っています。一方、市では、平成30年2月に雇用の安定を図るため、三重労働局と雇用対策協定を締結しており、今後もより一層連携し一体的に取り組んでいくとともに、企業における人手不足対策として、就職フェアに出展する企業に対して支援を行うなど、中小企業の人材確保を図っていきます。 なお、特定技能外国人制度に関しては、2019年4月に改正入管法が施行されたばかりであるため、今後の動向に注視していきたいと考えています。</p>
174	<p>○他にも ・歳入構造がこれまで以上に特定の大規模法人に依存していることを自覚しながら、地元の産業支援策に乏しいことが残念に思いました。市内でお金を巡らすことも大切ではないですか？</p>	<p>本市は、臨海部の石油化学コンビナート、内陸部の半導体、加工組立工場等、多様な産業構造にあり、またこれを支える中小企業も多くあります。昨今、国内需要の変容、国際競争の激化等、中小企業を取り巻く市場環境の変化は激しくなっております。そのような中でも、新規の設備投資や、新製品開発、販路開拓等による新事業の展開に積極的にチャレンジする中小企業の取組を支援していきます。一方で、人口減少による人手不足への対応や、IoTの導入による生産性の向上への対応への支援、企業の人材育成に向けた取組も支援してまいります。</p>
175	<p>(2)農林業についてお尋ねします。 世界的に地球温暖化が農林業にも影響を及ぼしています。砂漠化の進展やアマゾンの密林大火災のように農林業に大きな影響を及ぼす現象も起きています。日本でも、高温化に伴う農作物の異常が起きています。米、リンゴ、ミカン、ブドウなど障害が現れている例が報告されています。また昔はきれいな水田が広がっていた地域でも、休耕田が広がり荒地となっています。昔は水田に夏は水がはられ、この水の蒸発熱で気温の上昇が抑えられる効果もありました。現在ではそれが崩れ、逆にヒートアイランド現象の増長を助けているような事態になっています。 植物は光合成で炭酸ガスを吸収し酸素を生産する機能を有しています。世界の酸素の多くを生産するアマゾンや東南アジアの密林が経済優先でどんどん開拓され、酸素発生量が減少していることが危惧されています。日本でも開拓が進み山林が減少しています。開拓地が放置され荒地になっているケースも見られます。今後の生活を考えた場合、調和のとれた自然環境の確保は絶対必要です。 20数年前、スイスへ環境対策の視察に訪問した際、スイスでは新規開発を行った場合はそれと同面積の植林が義務付けられたり、道路などの構築物を建設した場合は、必ず獣道の確保が義務付けられています。また一時河川の直線化を試みたが、被害が増えたため、昔のように曲折した河川に戻し、流れを緩やかにし、隣接する農地には2～30年に1回の冠水、50年に1回の冠水、100年に1回の冠水のようにランク分けし、それぞれに対応した管理体制を設けている等々の話を聞きました。まさに現実的、具体的な対応だと思います。 農林業従事者の減少という問題もありますが、現在の農林問題は異常です。住処を失った動物が頻繁に里に出没したりしています。早く正常な生態系に戻す対策が必要です。総合計画の中にも「農業のビジネス化(p.45)」とか「農林水産業の活性化(p.114)」などうたわれていますが、リスク評価はなされていますか。現今の集中豪雨による被害などを考えると絵にかいたモチになりかねません。</p>	<p>・近年、農業従事者の減少が続いており、農地が適正に管理されていない事例も増えてきています。農地は農業生産だけでなく、洪水防止、生態系や水源の保全、景観形成など様々な機能を維持していることから、耕作ができなくなった農地を、地域の担い手農家や新しく農業を始めようとする人が、耕作できるような仕組みづくりに力を入れていきます。また、地域がまとまって作物の生産や、農道・水路、あぜ草の管理などができるよう地域づくりにも取り組み、農地を農地として維持保全できるように進めて参ります。 気候変動が農業生産に与える影響も大きくなってきていることから、作物や品種の転換など、地域での営農計画づくりの中で検討していきます。 また、同様に里山においても維持管理活動への助成もしながら、適切な状態が保てるように取り組んで参ります。 農地も里山も適切に管理されることにより、その様々な機能が発揮されることから、市民の皆様への理解が進むよう啓発活動にも力を入れて参ります。 ・農林業は、人間の生存に必要な食料や生活資材などを供給する必要不可欠な活動である一方、昔から農林業の営みが、身近な自然環境を形成し、多様な生物種の生育・生息に重要な役割を果たしてきました。今後、安全な食料等の安定供給への期待に応えつつ、環境保全に配慮した持続的な農林水産業の振興とそれを支える農山漁村の活性化が必要であると考えています。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
176	<p>・P115～116. 農業に競争力や経営コスト削減を求めるのは違和感を否めません。それより、小さな農家がこまらないよう、行政が補助を出すとか、農業をへらす方向でゆとり丁寧な米麦野菜づくりができるよう助ける方向性がいいのではないかと思います。商業化するような農業のあり方に応えられるのは少数の農業者で、それをすすめていくと小農家は次々につぶれていくのではないかと心配です。近年の突然の雨による被害も、水田の減少が関係してはいないでしょうか。</p>	<p>国内農業を取り巻く環境は、農業者の高齢化による担い手不足や遊休農地の増加、農産物価格の低迷など、農業経営を圧迫する厳しい状況が続いています。そのため、農業後継者や新規参入者が農業の将来展望を描けるよう、「儲かる農業」の実現に向けた取り組みを進めており、6次産業化やGAP(農業生産工程管理)等の認証取得など、経営の多角化・ビジネス化に向けた支援を進めるとともに、農業・農地の担い手となる農家を確保していくため、就農時の機械や施設の整備費助成、後継者の研修費補助、就農当初に必要な資金の交付などを通じて、次世代を担う農家を育成・確保していきます。一方、小規模な農家も耕作を続けることにより農地の保全に大きく貢献していますが、個々での継続は難しくなっていることから、地域でまとまって営農が続けられるような体制づくりに力を入れ、農地を農地として維持保全できるように進めて参ります。</p>
177	<p>【人口激減の地域に対する対策が講じられていない】</p> <p>1、山田町(小山田地区)の現状から</p> <p>過去20年間の町の人口・世帯統計は、各々26.8%減、26.2%減と市内で減少幅が最も高く、特に世帯減は顕著で、高齢化進展と後継者の都市部流出による空き家、空き地、及び</p> <p>農地の荒廃化の現状等からみて、総合計画(素案)で論じられる10年後の町づくりには大変寂しく捉えます。</p>	<p>農地保全の観点から、本市の市街化調整区域の大部分は、農業振興地域の整備に関する法律に基づき農業振興地域に指定されており、その中で市が策定する農業振興地域整備計画において、概ね10年以上にわたり農業上の利用を確保すべき土地として農用地区域を指定しています。市西南部地域の小山田地区では、圃場整備をした地域を中心に農用地として指定しており、本市特産品であるお茶や水稲を中心に集団的な農業が行われています。これらの農地は優良農地として今後も守るべき土地と考えておりますが、農家の高齢化・後継者不足等多くの課題があります。したがって、農業・農地の担い手となる農家を確保していくため、農業委員、農地利用最適化推進委員と連携して、地域農業の担い手に農地の集積を進めるとともに、就農時の機械や施設の整備費助成、後継者の研修費補助、就農当初に必要な資金の交付などを通じて、次世代を担う農家を育成・確保していきます。また、地域がまとまって作物の生産や、農道・水路、あぜ草の管理などができるよう地域づくりの取り組みにも力を入れて参ります。</p>
178	<p>3. 四日市市の名称は“四”のつく日に市場が開かれていた、また、港町(Port City)として発展してきた歴史にもふれるべきである。このような歴史のある栄えた市が衰退した英国の“Bristol”の再生の物語も研究すべきであろう。(参考にこのことを研究した本の表紙をコピーし、同封した)この計画書約190項を半分にし、これに要した時間と要員を半分に減らしたお金で、若手職員を出張させ、調査するののも一つの方策であろう。このことで、私が日本トランスシティ(旧四日市倉庫)から県のシンクタンクへ2年間派遣されていた時、出張した、ロンドンのシティの東側の再開発をした(サッチャー政権時)のLDDC(ロンドンドックランズ開発公社)とテムズ川のウォータフロント開発の視察のことを思い出した。20数年前の古い話であるが。</p>	<p>素案P107「誘客につなげる多様な資源の活用」では、今の四日市を創り上げる礎となった港や定期市を、本市ならではの歴史・文化資源として活用していくことを記載しています。先人が築き上げてきた貴重な本市の財産を活用することにより、多くの人々が訪れ、新たな交流が生まれる、魅力的なまちとしてまいります。また、次代を担う子どもたちにも、こうした地域資源の魅力を感じ発見できる機会を提供することで、子どもたちの本市への誇りを醸成してまいります。</p> <p>なお、歴史ある四日市港が将来に向けて更に発展するよう、関係団体と連携し、四日市港の「機能強化」と「みなとまちづくり」について重点的横断戦略プランに位置づけ取り組んでまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
④交通・にぎわい		
179	<p>8・公共交通機関の果たす役割は大きいので市民のためもう少し積極的に政策を行いその機関に介入する、名古屋市のように無料化にして白タク的な介護車の援助策をなくす政策を強化する・介護者救済という名のもとの白タクの援助はやめる。以前市長が奨励していましたがおかしいです法令では違反行為です。</p>	<p>・市民にとって、公共交通が大きな役割を担っていることは当然認識しています。そのため、民間事業者と連携し、公共交通ネットワークの維持・再編と公共交通分担率を高める取り組みを進めてまいります。 ・介護予防・日常生活支援総合事業の住民主体サービスでは、移送を伴うサービスを提供している団体もありますが、外出時の見守り・付き添い支援の一環として制度の範囲内で実施しています。</p>
180	<p>1、各団地(笹川、高花平、三滝台、三重団地 etc)から目的場所←(イオン、駅、主要病院、スポーツ施設→緑地公園 霞ヶ浦)への無料バスが走っている。(日常生活で車の使用量減) ※3、車の交通量が減少して走りやすくなっている。 ※3、無料バスが走ると高齢者が車を乗らなくてすむため必然的に交通量が減る</p>	<p>四日市市新総合計画(素案)122ページに記載のとおり、人口減少・高齢化が進む中での移動手段の確保は大きな課題と認識しています。そこで、123ページ(1)(2)に記載しているような施策に取り組み、マイカーに依存せず歩いて暮らせるまちを目指してまいります。</p>
181	<p>6、高等学校への通学が容易である ※6、各学校にスクールバスを運行、各地区毎にバス停を設置。主要駅への集中を分散させる。</p>	<p>高等学校については、市では所管していないことから、回答はいたしかねますのでご了承願います。</p>
182	<p>・笹川中央道路の歩道橋を早く作ってほしい。西区域の小学生の親は心配。</p>	<p>当該、歩道橋については、今年度に詳細設計を行い、令和2年度から工事に着手し、令和3年度の完成を目指し事業を進めてまいります。</p>
183	<p>・歩道の整備が不十分。登下校時 少し不安に思うときがある。水路にフタをしたり、、もう少し安全にしてほしい。</p>	<p>素案P124④に記載のとおり、歩行者の安全確保は重要な課題と認識しており、予算を確保し安全な歩行空間を整備してまいります。</p>
184	<p>・よっかいちに道の駅を 四日市市に道の駅がないのはとても淋しいです！全国的にも市に1つは欲しいです。特に、四日市東IC付近、伊坂ダム周辺にあると観光スポットになると思います。</p>	<p>四日市市新総合計画(素案)122ページ2-(3)に記載のとおり、新名神高速道路や国道477号バイパスが開通するとともに、東海環状自動車道や北勢バイパスの整備が進められており、本市においては今後も輸送性の向上による大きな経済効果が期待されます。 こうした中で、124ページ3-(3)⑥に記載のとおり、広域交通の利便性が高い区域において、産業政策と連携した土地利用の誘導について検討を進めることとしており、その中では道の駅も選択肢の一つとして考えていることから、次のように素案を修正いたします。 P124展開する施策 (3)円滑な市民生活と産業を支える道づくり ⑥広域交通の利便性が高い区域において、周辺の自然環境や道路等の既存の都市基盤の整備状況を踏まえながら、産業政策と連携した新たな企業立地や再編に必要な土地利用誘導、道の駅設置についても検討を進めます。</p>
185	<p>※4、外国旅行者が来ても、楽しめる場所がある(名所がある)(食、スポーツ体験、工場見学、酒屋、コンビナート etc) ※4、楠ノ木パーキングを再構築し、地下街に変更する 地下街には、飲食店を中心とした店を入れる ・全国有名店、四日市の有名店を入店して貰おう ・場所があれば洋服店etcも入店できる様にする</p>	<p>・近年、大型客船の寄港に伴い、本市に外国人観光客が増えつつあります。「基本的政策 交流を生み出す新たな四日市流都市型観光」にありますように、今の四日市を創り上げる礎となった港や定期市、やきもの産地やユネスコ無形文化遺産登録された伝統行事など本市ならではの歴史・文化資源の活用に加え、地域に眠る資源の掘り起こしや磨き上げなど、新たな都市型観光の創造に向けた取り組みを、官民一体となって進めていきます。 ・近鉄四日市駅前地下駐車場「くすの木パーキング」は来街者の利便性向上を目的として、株式会社ディア四日市が設置、所有、運営をしております。現在、駐車場は多くの方にご利用をいただいていると聞いています。今後も、さらなる利便性向上に努めていただきたいと思います。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
⑤環境・景観		
186	<p>四日市の将来について総合計画に注目されていますが、わが町、四日市市は過去に日本中から注目された「四日市公害」に多くの市民が苦しみました。先人のご尽力により、住みよい都市四日市に生まれ変わることが出来ました。</p> <p>又、本年に1月には原告9名の最後の生き証人でありました野田之一様が他界されました。此のことを忘れては、四日市の前進はありません。</p>	<p>四日市公害の環境改善の歩みから得た教訓を生かし、より良い環境を次代に引き継いでいくため、今後も未来に向けて、都市と環境が調和するまちづくりを進めます。こうした趣旨を明確に表現するため、次のように素案を修正いたします。</p> <p>P131現状と課題 (5)環境教育の推進と情報発信の強化 <u>四日市公害の歴史を忘れることなく、その教訓を次世代に伝えるとともに、未来に向けた本市の環境改善への取組を広く国内外へ発信するため、</u></p>
187	<p>(1)環境問題、特に地球温暖化防止について伺います。</p> <p>異常気象を始めいろいろの問題を生起させている地球温暖化防止は緊急の課題であり、その原因である温室効果ガスのうち炭酸ガスの放出抑制を実施することが重要であります。国連もこの活動と呼び掛けており、「パリ協定」の承認が全世界で行われ、実行に移っています。日本も承認していますが、その動きは鈍く国民への浸透はいまいちです。</p> <p>四日市市においても同様で、環境・防災先進都市(総合計画p.23)をうたいながら、そのプロジェクトの中には「環境」の文字も具体的な「対策」もみられない。また、基本政策(総合計画 p.130)においても、“市民と事業者が地球温暖化を自分のこととして捉え、取り組むことが重要です”とうたっているが、ここでもどのような方法で市民に浸透させるのか具体的な記述は見られない。</p> <p>またエコ生活の推進を図る「Cool Choice」もチラシやパンフを作成して配布しているのみで、何ら効果のある活動が伴っていません。心ある一部の人が理解しているのみで、一般市民には殆ど浸透していません。Cool Choiceも“賢い選択”ではなく“冷やかな選択”に終わっています。かかる政策は市の職員にはしっかり理解され、浸透しているのでしょうか。行動を伴わない政策は無いに等しいです。しっかりした計画立案をし、実効ある政策であることを希望します。</p>	<p>地球温暖化問題は、世界各国で深刻化しており、本市においても国の削減目標を達成するため、引き続き四日市市地球温暖化対策実行計画に基づき、様々な取り組みを実施してまいります。</p>
188	<p>提案3. P131にある「1人1日あたりのごみ排出量の推移」グラフについて H28年の四日市市の値が異常に突出しているの、その背景をグラフ内にコメントしてはいかがでしょうか。</p> <p>以上、意見具申申し上げます。</p>	<p>2016(H28)年度にごみ量が増加している背景に関して、次のように注釈を追記します。なお、グラフのデータに誤りがありましたので差し替えます。</p> <p>P131現状と課題 (4)資源循環型社会への変革 本文(略) <u>1人1日あたりのごみ排出量の推移【全国平均との比較】</u> 修正したグラフに変更 <u>※2016. 4 四日市市クリーンセンター稼働(ごみ分別区分の変更)</u></p>
189	<p>(3)組織について これらの問題に対応するには、総合的、多面性(リスクも考えた)、多様性などを踏まえた対策が必要です。それには縦割りのな部局システムを横断的に指示ができる部署が必須と考えます。</p>	<p>・ご意見のように、特に、重点的横断戦略プランを推進する上では、各部局の施策を連携させながら全庁を挙げて分野横断的に取り組んでいくことにより、相乗的な効果の創出を図っていく必要があると考えています。また、今後、取り組みを進める上で、実施体制についても検討してまいります。</p> <p>・今後、取り組みを進める上で、組織編制についても検討してまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
190	<p>これからの10年を考える場合、特に若者が安心して生活できる場が必要です。特に地球温暖化への対応は必須です。スエーデンの16才の少女 グレタ・トランベールさんは「大人は何もしてくれない。我々の未来を奪わないで下さい」とデモ活動を世界的に展開しています。賛同者が増えているといえます。また新総合計画ではSDGs対応がうたわれていますが、これは2030年までの達成目標であります。市民に理解、浸透させるには相当の努力が必要はならずです。しかし新総合計画からはその努力目標がよく見えてきません。若者に負けない総合計画を構築してください。</p>	<p>・地球温暖化対策実行計画に基づき、目標達成に向けて、市民・事業者・行政の各主体の取り組みに対して、引き続き必要な啓発や支援を行ってまいります。</p> <p>・2015年に国連サミットにおいて採択されたSDGsについての啓発は、これまで政府を中心に進められてきましたが、日常の市民生活の段階まで浸透していくには、まだまだ時間がかかるものと考えられます。そのため、基本構想では、まちづくりの基本的な考え方のひとつに「あるもの・つながりを生かす」持続可能なまちづくりを掲げるとともに(P11)、さらに基本構想の推進にあたっての基本的な考え方として、SDGsに掲げられている17の目標について、自治体の世界最大組織である都市・自治体連合(United Cities of Local Governments)が提唱する取組方針を参考に、総合計画の中で政策・施策と関連付け、取組を進めることを明記しています(P16)。</p> <p>このような考え方のもと、SDGsについての市民理解が促進されるよう、さらに丁寧な記載をしていく必要があると考えています。</p>
191	<p>4、p131、132 豊かな環境の保全と継承</p> <p>現状と課題でも、認識されているように、四日市市内の豊かな自然環境は、失われつつあります。これらの要因の大きなものに、産業の変化があります。農業の衰退と変化です。市内の多くの自然は手つかずのものではなく、人々の暮らしに活用されながら維持されてきました。今後、市内の自然環境の保全には、新たな持続可能な“活用”が必要です。域内での農産物やエネルギー、経済の循環を取り入れた持続的な活用策を進める視点を入れてください。環境部局と農水部局が連携を取り、地域の未利用資源を有効活用した循環型エコノミーを目指してください。</p>	<p>・農林業は、人間の生存に必要な食料や生活資材などを供給する必要不可欠な活動である一方、昔から農林業の営みが、身近な自然環境を形成し、多様な生物種の生育・生息に重要な役割を果たしてきました。今後、安全な食料等の安定供給への期待に応えつつ、環境保全に配慮した持続的な農林水産業の振興とそれを支える農山漁村の活性化が必要であると考えています。</p> <p>・農地が農地として維持保全されるよう、担い手となるような農業者に農地が集まるような仕組みづくりや支援を行い、持続的な農業のための支援を行ってまいります。加えて、水田農家と畜産農家が稲わらと堆肥の交換を行う耕畜連携や地産地消など、地域内循環が進むような支援も進めてまいります。</p>
192	<p>・循環型社会に重要な「ごみ焼却によるCO<sub>2</sub>発生削減」「たい肥化などによる焼却によらないごみ処理促進」「雨水利用」「生活排水への配慮」など市民生活の基本取り組みが見当たらないので、これでは意識が薄れてしまいそうだと思います。計画に加えることはできませんか？</p>	<p>市民、事業者、行政が連携して、ごみの減量化と再資源化を推進していくため、具体的な取組について、次のように素案に追記いたします。</p> <p>P132展開する施策</p> <p>(4)ごみの減量化と再資源化の推進</p> <p>市民、事業者、行政が連携し、生産、流通、消費のそれぞれの段階において、食品ロスの削減や生ごみ等の減量、レジ袋などの廃プラスチック類によるごみの発生抑制に取り組むとともに、引き続きごみの再資源化を進めます。</p>
193	<p>5. 例えば、“Globalization”(人、もの、カネ、情報が急速に地球をめぐる状態)の視点からは、四日市の唯一の国際機関であるICETTが重視されていない。県と市がそれぞれ15億円、民間が33億円出損金を拠出し、19990年に創立され過去約2,700名を発展途上国から招き、また、出前の調査や勧告を、四日市公害の教訓を生かすために行ってきた。このような全国で数少ない組織を育成、PRすべきと考える。言うまでもないが、我が国は憲法上も、自衛隊を海外派遣して戦いをさせることはできないので、国際貢献のできる分野は経済開発や環境の分野に限られる。この意味でも価値のある機関であると考えている。</p> <p>また、もう一つの知の拠点である四日市大学(開放型大学)へも市は過去多額の助成をしており、これが連携についても視点が欠落しているのではないかと？</p> <p>※5. の前半の追記になるが、四日市市と加藤元市長は国連のUNEP(国連環境計画)より、公害を克服した市として名誉ある“グローバル500”賞を受けていることにも触れておきたい。(市長の応接室に飾ってある)要は新しいことばかりに目を向けるのではなく、自分(市)が持っているいろんな宝物も活用してFuture Projectも考えよ、と言いたいのである。</p> <p>以上</p>	<p>・今後も本市の過去の教訓や歴史も踏まえ、ICETTを活用した国際環境協力を推進してまいります。</p> <p>・四日市大学は四日市市と学校法人暁学園による公私協力型大学として設置しており、本市も四日市大学運営協議会の一員として、公的役割の観点から、新しい感性とグローバルな視野を持った四日市市や出身地域の発展に貢献できる人材の育成について検討することが重要と考えております。また、地域に貢献する大学として幅広い分野での連携について協議してまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
194	<p>P135にある「コンセッション方式」は、特に問題が大きく、市民にとって益がないように感じられる。設備はそのまま市のものとして、運営権を完全に民間に委ねる方式と理解するのが運営権は、水道事業の方針や展望を</p> <p>計画する根幹部分である。それを利潤を第一とする企業に委ねることは市民の利益を大きく損うと思う。最初に入札までがあっても、委託した後は一社のみ独占となり、競争原理も働かないA社がためだから、B社へと簡単に変えられない。</p> <p>水道事業そのものが、民間経営にも不向きである。</p>	<p>今後の水道事業は、水需要の減少や水道施設の老朽化に伴う更新費用の増大、職員の減少等の厳しい経営環境を迎えようとしており、従来のような民間事業者への業務委託だけでなく、新たな官民連携手法であるDBO方式やPFI方式等を活用し、業務委託を拡大させようとする動きがあります。その取り組みの一つであるコンセッション方式は、様々な官民連携手法の一つです。しかし、海外で再び公営化された事例や職員の技術力の低下を招く恐れがあるため、実施にあたっては、慎重な対応が必要であると考えています。</p> <p>上下水道局としましては、安全な水道水を安定して供給するため、根幹に関わる業務は職員で行うこととしています。</p> <p>今後、厳しい経営環境を迎える上下水道事業としましては、広域化を含めた最適な経営基盤の強化を図る必要があります。そのため、職員の確保に努めるとともに、民間事業者を牽制できる技術力を維持継承しつつ、設計施工一括発注方式(DB方式)や包括委託、コンセッション方式など、様々な手法について、検討していきます。</p>
195	<p>・P134～136 水道の課題解決のため「新たな官民連携の手法についても検討」として包括委託、コンセッション方式をあげてありますが、コンセッションは諸外国でも多く失敗した手段と思います。コンセッション方式は行政が資産として施設を保有するので、企業(民間)が利益を得ても、リスクは行政に負わせられるしくみで再公営化しようとしても多額の損害賠償を求められるなどで、行政によいことはありませんでした。「検討」そのものから、やめた方がいいと思います。</p> <p>広域化という問題に言及がないのですが市の政策へのかかわりはないのででしょうか。</p>	<p>今後の水道事業は、水需要の減少や水道施設の老朽化に伴う更新費用の増大、職員の減少等の厳しい経営環境を迎えようとしており、従来のような民間事業者への業務委託だけでなく、新たな官民連携手法であるDBO方式やPFI方式等を活用し、業務委託を拡大させようとする動きがあります。その取り組みの一つであるコンセッション方式は、様々な官民連携手法の一つです。しかし、海外で再び公営化された事例や職員の技術力の低下を招く恐れがあるため、実施にあたっては、慎重な対応が必要であると考えています。</p> <p>上下水道局としましては、安全な水道水を安定して供給するため、根幹に関わる業務は職員で行うこととしています。</p> <p>今後、厳しい経営環境を迎える上下水道事業としましては、広域化を含めた最適な経営基盤の強化を図る必要があります。そのため、職員の確保に努めるとともに、民間事業者を牽制できる技術力を維持継承しつつ、設計施工一括発注方式(DB方式)や包括委託、コンセッション方式など、様々な手法について、検討していきます。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
⑥防災・消防		
196	<p>○防災力を高め、災害に強いまちづくりには大賛成です。 この総合計画は直近10年間のものであることは理解していますが、現在の庁舎は南海トラフ級の大地震においては浸水予想域にあり、実際の災害時に司令塔としての役割を果たせるのか大きな疑問があります。人口密度を上げようとしている中心部(近鉄四日市駅周辺)も浸水被害は免れそうにありませんね。コンビナート火災や酸化する化学物質への対応など、不安要素を払拭するような対策が見えてきません。公共施設の老朽化問題も合わせ考えると、これからの公共施設や発電所、給水システムは規模をあえて小さく、連帯させず点在させる方向性も模索を始めた方がよくありませんか？メンテナンス費用の面から考えても小規模化は巨大&amp;集約化と比べ遜色ない方法もあるように思います。もう少し研究してほしいです。 ライフラインに関しては、設備や配給ルートを分散化させていくことが全体の復旧を早めることにつながるように思います。 実験的な試みから小さくスタートしておき、やがて来る多死時代に備える10年であってほしいと思います。</p>	<p>・ご指摘のとおり、市役所本庁舎は津波の浸水予想区域内に位置しています。災害時に、市役所本庁舎がその機能を果たせなくなる可能性のある場合には、消防本部中消防署中央分署に災害対策本部を設けて対応することとしています。 コンビナート防災に関しましては、基本計画(分野別基本政策)政策6 防災・消防、【基本的政策】地域の防災力を高めるまちづくりにおいて、3 展開する施策の(2)自助・共助の取組の推進の中で、コンビナート企業等による防災協議体とも連携し、災害時に備えることとしております。 また、公共施設の老朽化問題や復旧等につきましては、3 展開する施策の(3)実効性の高い計画づくりと指定避難所の環境整備の中で、業務継続計画の見直しを行うこととしており、ご意見も踏まえながら研究していく必要があると捉えています。 ・コンビナートの安全対策は消防法や石油コンビナート等災害防止法などの関係法令で厳しく規制されていますが、ひとたび災害が発生すると事業所周辺にも影響を及ぼす可能性があります。 そのようなことから、新総合計画では、コンビナート災害の活動拠点となる南消防署の整備や消防車両の高機能化に取り組むとともに、引き続き、消防の広域連携や協力体制の充実強化に取り組むこととしています。こうした趣旨を明確に表現するため、次のように素案を修正いたします。 P147展開する施策 (2)消防活動拠点の整備 ① 老朽化に伴い、南部臨海地域におけるコンビナート災害の活動拠点となる南消防署庁舎を改築します。 ・水道施設は、水源の複数化、配水池を分散しています。今後は、需要に合わせた水道管の小規模化を行うとともに、耐震化を含めた強靱化に取り組んでいきます。</p>
197	<p>(3)総合計画では地震や津波対策を中心に考えられているようだが、台風や集中豪雨、高潮等による水害対策も重要である。 伊勢湾台風の教訓からも特に水害は早期避難により多くの人命を救えることは明らかである。 市の施策に早期避難を促す環境整備や具体的な周知方法を明記するとともに指標に避難者数を加えるなどもっと積極的に早期避難を誘導してほしい。 特にレベル4以上時の避難者数は市民の防災の意識を図る、最も分かりやすい指標である。</p>	<p>ご意見のように、総合計画では地震や津波だけでなく台風や集中豪雨、高潮等による水害対策も重要であり、基本計画(分野別基本政策)政策6 防災・消防、【基本的政策】地域の防災力を高めるまちづくりにおいて、総合計画の目指す姿の一つとして、あらゆる災害に対して「災害に強く、災害対応力に優れたまち」を目指しています。 避難者数は、指定避難所への避難者をもって捉えるのではなく、避難行動を取った避難者と考えているので、避難者数の実態を把握することは、困難と考えています。 災害の危険性が高まった際には、今後においても災害リスクのある全ての住民に対して、ハザードに応じた避難(指定避難所や浸水しない親戚宅、友人宅への立ち退き避難や近隣の高い建物、自宅内の2階等の安全な場所への垂直避難)を行っていただくよう、様々な媒体(防災行政無線、エリアメール、安全安心防災メール、広報車による広報等)を用いて呼びかけてまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
198	<p>5、自然災害が発生しても、支援、救出が、スムーズであり、安心して生活できる</p> <p>※5、各地区の高層マンション(耐震のマンション)の屋上からヘリコプターによる支援物資の運搬、補給する ドローンでの物資の運搬、補給する ※基本的に空から物資が送られる</p>	<p>災害時における防災ヘリコプターの活用につきましては、地域防災計画において位置付けており、道路が寸断され陸上交通の途絶や緊急を要する輸送活動が想定される場合に、それらの地域における迅速な対応を行うため、防災ヘリコプターの有効活用を図ることとしております。</p> <p>また、ドローンの活用につきましては、現在、「大規模災害時における小型無人機による情報収集に関する協定」を一般社団法人等の5者と締結しており、災害時の情報収集活動のための活用を想定していますが、技術革新が進み、将来的に物資の運搬、補給に有効な手段となれば、協定の見直しを検討してまいりたいと考えています。</p>
199	<p>「防災」分野では、現在、四日市の避難について、ペット防災を考えている方はごく少数です。地区市民センターのセンター長へ話を伺わせていただいたところ、実質何も考えていないに等しいことがわかりました。ですが、災害時、ペットとの避難は確実に起こり得ることで、それについて考えることが必要です。</p> <p>センターがあれば、災害が起こる前には、様々な防災の情報の発信や、フードやペットシートなどの備蓄。各地区の自治体に対しペット防災の知識や手順を指導することにより、各自治体が災害時のペット避難を考えるようになり、その情報を集めて、災害が起こった時に各自治体でペットと一緒にどこに避難ができるのかを市民に発信をすることができます。</p> <p>また、災害時には、ペットの災害時の拠点として怪我をしたペットの治療や、備蓄物資の配布。必要に応じて同行避難を受け入れることも可能となります。また、各避難所の状況を調べて情報を発信したり、避難所での飼い主の飼育方法の指導や、相談などもできるようになります。</p> <p>「四日市の魅力向上」の分野では、私の所属するボランティアの里親会では、月2回里親会を開いていますが、毎回たくさんの方の方が来られます。それどころか、県外からもいらっしゃる方がいます。ねこを飼いたい方にとって、それほどに保護ねこ里親会は魅力的だと言えます。</p>	<p>災害時のペットへの対応に対する貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。災害時のペット対応につきましては、地域防災計画に位置付けており、避難所運営の課題の一つとしてご意見も踏まえながら検討してまいりたいと考えています。</p> <p>なお、避難所におけるペットへの対応について、次のように素案に追記いたします。</p> <p>P144展開する施策 (3) 実効性の高い計画づくりと指定避難所の環境整備 ② 学校や地域団体など関係機関との連携や協力のもと避難所運営体制の構築に努めます。また、要配慮者への合理的な配慮やペット対応に努めるとともに、福祉避難所等の充実にも取り組みます。</p>
200	<p>3・防災関係ですが、伊勢湾台風60周年です、台風は毎年来ますが防ぐことはできません、適切に備えることで減災できます伊勢湾台風で体験しました風で壁が膨れてきました両手で押さえて忍んでいました。港に近いところでは木材が貯木されていたので4mの高潮で流され家や避難する人に当たり死亡させました。人災です。</p> <p>4・経験をもとにして海拔の高い場所、家の壁は筋交いを多くした、瓦は飛ばないように固定した建築法を強化した構造物にして減災とする。今防災訓練というのではなく、被災地から未災地にする正しい知識の情報交換の訓練にする企画にする。</p> <p>5・神社仏閣の建物は被害にならない構造です昔の知恵です究明する。</p> <p>6・台風は稲刈りという時期に来るので用水に稲のごみが落ちないように法令化する</p>	<p>・基本計画(分野別基本政策)政策6 防災・消防、【基本的政策】地域の防災力を高めるまちづくりにおいて、「災害に強く、災害対応力に優れたまち」を目指すこととしており、台風も含めて自然災害に強いまちづくりを進めてまいります</p> <p>また、訓練につきましては、3 展開する施策の(2)自助・共助の取組の推進の中で、いざという時に市民や地域、事業所等が連携できるよう、地域が主体となった防災訓練の充実を掲げており、ご意見も踏まえながら進めてまいりたいと考えています。</p> <p>・毎年、市内の水田農家へ稲わらや刈り草の適正管理に関するチラシを配布したり、市ホームページやCTY-FM等を通じて、稲わらの水田へのすき込みや農地外への搬出の徹底について啓発を行い、水害防止への協力を求めてきました。今後もあらゆる機会や媒体を通じて、稲わら等の適正処理について広く啓発を行い、水害防止に努めてまいります。</p>
201	<p>政策6 No.14 2(4)で市街地の水害リスクが高まっていると書いてあるのに対策について具体的な記載がない。ゲリラごう雨による市街地の被害の方が、三滝川のはん乱よりも頻度としては多いし、今後ゲリラごう雨は確実に増えると思われるので、市街地の雨水浸水対策についても重点的横断戦略プラン(P.24②-2プロジェクト06)に「⑤市街地の雨水浸水対策」として項目を増やし、対策の具体的な内容、進行状況などを議員や自治会長だけでなく広く市民に広報し議論を活発にできるようにしてほしい。市からの情報発信が少なく内容が見えにくい。大雨による下水の逆流は鶉の森地区ではここ10年で2回起こっていて深刻。</p>	<p>市街地の雨水浸水対策については床上浸水の多い箇所などから優先順位をつけて対策を進めます。しかしながら、近年増加傾向にある集中豪雨に対しては、雨水浸水対策施設の整備だけでは対応しきれなくなっているため、整備に加えて、市民が実施する宅地等の嵩上げや雨水止水板の設置に対し支援等の検討を行ってまいります。</p> <p>現在、鶉の森公園周辺の雨水浸水対策事業として浜田通り貯留管を整備しており、関係する自治会に対して説明会を行いました。今後も、ていねいな情報発信に努めてまいります。</p>



「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
⑦生活・居住		
202	<p>若い世代や経済的にゆとりのある方ばかりが駅前に集中してしまったら、他の町はどうなるのでしょうか？過疎化する地域の担い手は新たな老人にお任せになってしまいませんか？固定資産税は回収できますか？心配です。</p> <p>○空き家空き地対策はどのように考えますか？</p> <p>個人の財産でもある不動産が絡む社会課題は市民協働でしか取り組めないと思いますが、そのあたりの明記が見当たりません。</p> <p>企業立地や投資の促進にはワンストップサービスで臨むのに、まちづくりは縦割りのままなんですか？空き家がいっぱいある資産価値が下がりがり続ける町に、小さな子どもを持つ若い夫婦が住みたいとは思わないと思うのですが。</p> <p>人口規模は違いますが、神戸市のような「まちなか防災空地設備事業」のような観点はありますか？若返りし笑顔いっぱいの総合計画実現のためにも他市のお手本になるような思い切った施策を打ち出してほしいと思います。</p>	<p>四日市市新総合計画(素案)150ページ2-(1)に記載のとおり、人口減少・高齢化に伴う、空き家・空き地の増加は課題と認識しており、62ページや63ページに記載のとおり、「空き」の再活用として、公共用地や民間の未利用地を利用した公園整備や空き家の建替え・リノベーションなどを促していくこととしています。</p> <p>これまで、木造住宅耐震化補助事業における除却補助や空き家の利活用を促す住み替え支援事業におけるリフォーム補助や空き家バンク制度などを運用しており、引き続き市民の皆さんの取り組みが進むよう支援してまいります。</p> <p>なお、ご指摘のありました神戸市の「まちなか防災空地整備事業」と類似した制度として、民有地を市民緑地として指定し、市民の憩いの場として活用する市民緑地制度を用意しております。この制度は、土地所有者から一定期間、無償で市に貸与の上、地域の管理団体に維持管理や整備を委託する制度であり、一定の条件は必要ですが、まちなかでも活用していただけるようになっております。</p>
203	<p>・私は富田学区に在住ですが、浸水域に該当する富田駅近隣に不動産を買おうという気は全く芽生えませんが、P151には急行駅の周辺活用がうたわれていますが、市民感覚とズレがあるように感じます。ただし、住居以外の活用推進には賛成します。</p>	<p>近鉄富田駅周辺には、銀行や高等学校、大規模な商業施設などが立地し、北部地域の拠点となっております。そこで、四日市市新総合計画(素案)151ページ3-(2)②に記載のとおり、土地の高度利用や開発などを誘導するとともに都心居住の促進を図ることとしております。</p>
204	<p>・市街化区域と市街化調整区域の区分をよりいっそう明確に、厳密に対処して欲しい。</p> <p>・富田地区と羽津地区の間の田は、絶対に守って欲しい。ゲリラ豪雨にも調整池として有効だと思う。</p> <p>・羽津用水沿いの⑨の東側に最近4区画の宅地造成が成されたが、何故許可されたのか？元々活断層と言われている土地だし、調整区域では無いのか？</p>	<p>四日市市新総合計画(素案)15ページ(2)土地利用の方針に記載のとおり、市街地の無秩序な拡大を抑制し、都市機能と自然環境の調和を図るとともに、これからの人口規模や構造、市民の活動などに見合った都市づくりを進めてまいります。</p> <p>なお、市街化調整区域では開発制度に基づき、土地利用の可否等について、適正に審査を行っております。</p>
205	<p>・生産緑地・農家の子息等の農地転用も、もっとも厳格に処理して欲しい。</p>	<p>生産緑地の指定・解除、農家住宅・分家住宅建築のための農地転用につきましては、関係法令(生産緑地法、農地法)の基準に基づき、適応要件を確認し適正に対応してまいります。</p>
206	<p>・市街化区域の空き家対策も、いろんな視点から取りこわし・転売等を進めて欲しい。</p> <p>・反面・調整区域をもっと緑化、田畑の活用など郊外らしい自然環境として安らげる場所にとりあえず、その様な点が私には頭に浮かびました。</p>	<p>四日市市新総合計画(素案)63ページ、144ページ3-(4)①、151ページ3-(2)④に記載のとおり、老朽危険家屋の除却とともに、空き家の建替えやリノベーションによる有効活用を進めてまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
207	<p>2、山田町(小山田地区)に対するこれまでの総合計画や今総合計画案(素案)と住民意識との乖離、都計マスタープランは不動産バブル期そのものが継続され、住居も全て調整区域であり、農地の大部分は農振区域等々、商業施設すら進出できない現状。且つ公立及び私立の保育園・幼稚園が皆無なため、子育て世代から地域魅力度に乏しい状態。周辺地域は集落排水による下水処理が行われ町の浄化が進んでいるものの、私たちの町の井溝は下水からの富栄養により悪臭と藻の繁茂状態。</p> <p>総合計画では地域に対する計画が若干述べられているが、若い世代から魅力ある地域計画とされない限り、人口減がますます進み荒廃化は避けられず、総合計画では行政と地域住民が共に汗を流そうとさせるものであってほしいと願います。</p> <p>3、行政が出来ること</p> <p>地域がこのような状況になったのは、硬直的な都計マスタープランを始め、行政の柔軟・弾力に欠けた結果と考えたい。総合計画(素案)にあっては各部所の理想を論じるだけでなく、四日市市としての街づくりに対する意気込みを感じるものであってほしいと考えます。調整区域の建築制限が一部緩和されたものの、行政によるあらゆる規制が据え置かれていて、過去のバブル期施策を依然引き引きずっていることは民間では死を意味するものです。(調整区域そのものが三大都市圏の一部を占めることを事由とするのであれば、国に解除等を働き掛けるべきです。)</p> <p>このような状態では市勢の発展も地域に引きずられ兼ねず、地域に対する抜本且つ革新的な規制緩和や撤廃を総合計画に織り込まれるべきです。</p> <p>私たち住民が行政に要望するのではなく、(行政が地域の立場から)地域に何を講じなければならないかを、共に汗を流す姿勢を感じない限り、新総合計画は地域に縁遠い存在になってしまうのではないかと心配します。</p>	<p>四日市市新総合計画(素案)15ページ(2)土地利用の方針に記載のとおり、人口減少社会において、限られた資源の中で都市を維持・管理していくために、既存ストックを有効に活用するとともに、交通ネットワークと連携した「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」による持続可能なまちづくりを進めていく必要があります。</p> <p>そのために、市街地の拡大を抑制し、都市機能と自然環境の調和を図るとともに、これからの人口規模や構造、市民の活動などに見合った都市づくりを進めます。</p> <p>その中では、151ページ(2)⑤に記載のとおり、市街化調整区域における農村集落についても既成住宅地の一つとしてその維持を図るとしており、これまでも開発許可制度の緩和や地区計画制度を活用した土地利用誘導に取り組んでまいりました。</p> <p>また、郊外部における移動手段の確保が重要になってくることから、123ページ3-(1)(2)に記載のとおり、人口減少・高齢化が進む中での移動手段の確保に取り組んでまいります。</p> <p>さらに、新名神高速道路や北勢バイパスなどの整備が進む中で、123ページ3-(3)に記載のとおり、広域交通の利便性が高い区域において、産業政策と連携した新たな企業立地や再編に必要な土地利用誘導についても検討を進めることとしております。</p>
208	<p>7・ 地区市民センターの役割の強化を図る住民協働という名のもとに積極性がなく、自治会を下請け的に考えている反面控えめな指導力でコーチングができていない。</p>	<p>ご存知のとおり、自治会と市は、これまで様々な地域課題の解決に向け、連携して取り組んできました。近年は、高齢社会への対応・自然災害への備えなど地域での課題は多様化してきており、更なる連携強化が必要です。そういった中、市民協働の「まちづくりにおいては、市民や行政などが、それぞれの持つ特性を活かして取り組む」という視点は、とても大切でありますし、市民のみならずにもっとも身近な行政機関である地区市民センターの役割は、ますます大きくなっていくと考えております。こういったことから、職員には年齢や役職などに応じた階層別研修において市民協働の考え方や進め方を学ぶ内容を取り入れております。</p>
209	<p>また、共助の主体の一つである自治会の負担が大きくなってきている。</p> <p>例えば共助の名のもとに市の責務であるごみ集積所や排水路など公共施設の維持管理があたかも自治会の責務であるかのように進められている。</p> <p>ごみ集積所など自治会員以外も利用する公共施設の管理は市が直接行うか自治会掲示板のように自治会に管理委託すべきである。</p>	<p>現在、市では自治会の活性化を推進するため、自治会加入の促進と自治会活動推進のための条例を制定することを検討しています。その中で、市が各種事業を実施する際には、関係部署の連携に努め自治会の負担軽減に配慮することを市の責務として盛り込んでいきたいと考えており、今回頂戴したご意見につきましても参考とし取り組んでまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
210	<p>・高齢者の生涯学習は大切なことですが(P156)、今後の高齢者比率の上昇を考えると、高齢者の学習活動が、ゆるやかに細やかでも金銭的な利益を生む仕掛けとなるとやりがいもあるように思いました。</p>	<p>頂戴しましたご意見のとおり、高齢者の方にとって生涯学習は大切であると、市でも考えております。市では、市民の皆様のライフステージに応じた学習活動を推進するため、誰もが学びたいと思ったときに学べるよう、幅広い分野にわたる学習機会や情報の提供を行っています。そのひとつに、「熟年大学」があります。</p> <p>頂戴いたしました意見を受け、この熟年大学について、次のように修正いたします。ありがとうございます。</p> <p>P157展開する施策 (4)多彩な生涯学習機会と情報の提供 ①市民誰もが生きがいを持って「人生100年時代」をいきいきと過ごせるよう、<u>高齢者が学びながら仲間づくりをし社会参加への意欲を高めるための熟年大学や市民大学一般クラスを開催するほか、</u>(後略)</p>
211	<p>・笹川地区でポルトガル語教室を無料でしてほしい。</p>	<p>本市では、外国人市民が集住し、地域で多文化共生に取り組んできた笹川地区を、多文化共生モデル地区として位置付け、「外国人市民も日本社会に適応し、地域の構成員として参画するまちづくり」を目指して重点的に取り組んでいます。</p> <p>この多文化共生を進めるにあたり、これまで本市では、日本語でのコミュニケーションが図れるよう、外国人市民への日本語習得の機会を提供することをやってきました。</p> <p>このことから、日本人市民の皆さまには、やさしい日本語で外国人市民とのコミュニケーションを取っていただくことを推奨していますが、入管法の改正に伴い、今後ますます外国人市民が増えることが想定されていますので、外国人市民と日本人市民とのコミュニケーションを高めるために有効となる交流機会の方策について検討してまいります。</p>
212	<p>(2)高齢化が進み日常のゴミだしが大きな負担となってきた。 これを受け多くの市町では高齢者等の個別収集を行う「ふれあい収集」を実施している。 四日市市でも「ふれあい収集」を実施するか、または、高齢者等のごみ出しを手伝いする団体等に人権費として委託や補助を早急に行うことを望む。</p>	<p>総合計画において「重点的横断戦略プラン③幸せわくわく四日市生活 プロジェクト02超高齢社会における課題解決プロジェクト ③福祉サービスと連携したごみ収集システムの構築」として取り組むこととしております。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
⑧健康・福祉・医療		
213	<p>四日市市内の障がい者施設で働いています。 今回の総合計画の素案を見ましたが、障がい者やいわゆる貧困層に対する政策がほとんど出てきません。 障がい者や貧困層に対する政策は、国で定められた生活保護などの施策のみをやれば良いというのが四日市市の考えなのではないでしょうか。国が定めているので、市としてはあえて推進しないというのが答えなのではないでしょうか。 毎日、障がい者と接していると、彼らがいかに社会から排除されているかを感じます。いわゆる、ソーシャル・インクルージョンを推進していくことこそが、基礎自治体に求められることではないでしょうか。 私たちは、日々の生活に、「わくわく！」なんて求めてないです。当たり前前に社会の一員として扱ってほしいだけなのです。そのための政策をぜひ盛り込んでください。</p>	<p>基本的政策No.22「住み慣れた場所で自分らしく暮らせる環境づくり」を通して、障害のある人、生活困窮者などへの相談対応力を強化させるとともに、障害福祉施策の分野でも、第4次四日市市障害者計画において、「互いに違いを認め合い、自分らしく暮らせる社会の実現」を基本理念として、各部署がそれぞれの施策を連携させながら、地域住民等が支え合い、住み慣れた地域で自分らしく暮らし、一人ひとりがいきいきと活躍できる「地域共生社会」の実現を進めてまいります。</p>
214	<p>地域力の活用</p> <p>背景:介護予防・日常生活支援総合事業が実施され大半の地域で普及が進んでいる。それに加えて、認知症大綱が厚労省から出され、2025年の認知症患者の最大推計値は730万人と予測されている。現在、要支援1から要介護5までの施設にお世話になっている人たち推計値は630万人といわれているので、大変な数となる。 それに加えて日本の財政難、労働人口の減少で日本の経済力は低下傾向にある中で、介護費、医療費の増大で社会保障費は増加の一途を辿ることになる。 こうした中、別紙にあるように地域で認知症予防の運動を実施することで認知症の発症リスクが大幅に低下したという実績が出ている。 そうであればどの地域も一日も早く実施することが、地域住民の安心につながる事なので具体的方法を以下に記す。</p> <p>方策:①多くの市民がこのような実情を知らないで、行政か、もしくは大学、これらに詳しい市民団体等によって市民教育を行う。 ②同時に既に実施している団体を各地域で実施報告させ、加えて、ホームページもしくはDVDで紹介する。 ③地域センターで、自治会、社会福祉協議会、民生委員会等の地域の主たる団体に対して、地域の助け合いの必要性等を館長が指導、紹介、教育を行う。 ④これらの普及に対して、インセンティブを使って、実施団体を四日市市広報で知らせたり、表彰を行うなど、遅れている地域に対して刺激を与える。 ⑤行政が住民を対象にした教育プログラムの作成を行う。</p> <p>あとがき:要するに総合事業および認知症対策は、現在の社会状況からすれば、地域住民が取り組むことが本来の地域づくりであることから、住民主体で実施できる具体的方策について総合計画で考えていただきたい。 それに対して上記提案が参考になれば幸いです。</p> <p>参考 <a href="https://yasato.org/">https://yasato.org/</a> のワイワイサロンを見てください。</p>	<p>ご意見の通り、介護予防・日常生活支援総合事業や認知症施策を進めるにあたっては、地域団体等と連携し、地域づくりにつながるように取組を進めることが重要であると考えています。介護予防や認知症予防に効果があるとされる運動の実施や通いの場への参加については、ご紹介の事例も参考に、より促進されるよう努めます。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
215	<p>次に、高齢化社会への対応です。子育て世代への手当も必要でしょう。育てたくても子供に恵まれない夫婦、結婚したくても出来ない独身者もいますが、それでも彼らは収入を得る可能性があります。しかし、ますます増加する高齢者は、定年を過ぎ、年金頼り、免許を返納したら活動範囲が限られてしまい、つい家から出なくなり寂しい最期を待つだけ、というのでは、安心して四日市に積み続けたくはなくなるでしょう。</p> <p>いつまでも元気な姿の高齢者が笑顔で過ごしている街なら人生に希望も持て、多くの人が入ってくる気がします。それには、免許(車)を手放してもいつまでも活動範囲を広く保てるための交通手段(郊外から市の中心部へのアクセス)と、「四日市」駅前に来れば全て事が足りる利便性のある街づくりが必要です。</p>	<p>四日市市新総合計画(素案)48ページ、52ページ、123ページ(1)①②に記載のとおり、郊外部から基幹的な公共交通に快適に乗り換えができる交通結節点の整備等に取り組むとともに、近鉄四日市駅周辺等において駅前広場や歩行空間等の整備に取り組み、都市機能が集積する中心市街地を中心とした効率的な交通ネットワークの構築に取り組みます。</p>
216	<p>私は、四日市市を中心とした動物愛護活動家・団体が集まってできた「四日市わんにゃん会議」の代表者です。</p> <p>基本計画を拝見させていただいたところ、どこにも「動物愛護」や「人と動物との共生」のような動物愛護に関する言葉が見当たりません。</p> <p>これはリージョン・コアを標榜しようとしている本市にとって恥ずかしいことです。</p> <p>今年は、5年に一度改正される動物愛護法で8週齢以下の犬猫販売禁止、遺棄虐待は50万円以下の罰金等が数十名の超党派動物愛護議員連盟の働きにより国会において全会一致で改正され、また、皇室でも保護犬と保護猫を愛玩されている等、国家レベルでも動物愛護への機運はますます高まって来ている状況の中で、市の対動物行政は甚だ意識が薄く、遅れていると言わざるを得ません。</p> <p>本市は、既に、保険政令指定都市となっており、保健所業務は県から独立して運営できる状態であるにもかかわらず、県合同庁舎内にある昔からの県施設であった処理センターを今でも県から賃借して業者で運営を任せているだけで、一部は2年前にできた県施設である三重県動物愛護センター「あすまいる」との協働で保護・譲渡はされつつありますが、ほとんどの場合、市民からの引取・捕獲等の困りごと要望には応えられず、殺処分ゼロ推進もボランティア頼りとなっているのが現状です。</p> <p>他自治体では、例えば、名古屋市のように処分施設ではなく、愛護施設やふれあい施設を作り、「動物愛護宣言」をしているところもあります。</p> <p>現在、私達ボランティアの集まりは、年度内に市へ提出するべく「四日市市動物愛護センター」設立を要望する署名活動を市内で展開していますが、本来は市民が要望するまでもなくセンター設立は時代の流れであり、保護も出来ない老朽施設を賃借し続ける愚をやめて、市民が誇れる施設を県内の市で率先して最初に設立すべきです。</p> <p>市民の気持ちの中に小さく、か弱い生命を守る意識を広げ、また、センターを拠点とした動物と共生できるまちづくりの活動を通して四日市市が真の人を思い、いたわることができる街へと成長し、動物にやさしい市として市民が誇りに思える街にするために総合計画の中に動物愛護の視点からの方針と施策を、さらに、現在議会の中で議論の始まっている野良猫避妊・去勢手術費用増額案件も含めて取り入れていただくように提案します。</p>	<p>動物愛護事業については、「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づき、その目的である人と動物の共生する社会の実現を目指して、市民、動物愛護団体や関係機関からご意見を伺いながら、これらの方々とも協働で、殺処分ゼロを達成するための犬・猫の譲渡事業、市民に動物を愛護する意識を醸成するための啓発活動等、その他さまざまな事業を推進していきます。</p> <p>こうした趣旨を明確に表現するため、次のように素案に追記いたします。</p> <p>P156現状と課題  <u>(4)動物愛護意識の不足により発生する諸問題</u>  <u>犬猫の飼い主等のモラルに起因して周辺環境への影響が懸念されています。</u></p> <p>P157展開する施策  <u>(5)飼い主等のモラルの向上</u>  <u>①「人と動物の共生する社会」の実現を目指して、市民、動物愛護団体や関係機関等と協働で市民に動物を愛護する意識を醸成するとともに支援をしていきます。</u></p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
217	<p>四日市市新総合計画を読ませていただきましたが、動物愛護について10年間のビジョンは具体的には何も書かれていませんでした。</p> <p>私は、四日市市で保護ねこ活動をしているボランティアに所属しています。そこでは毎日のように野良ねこ、飼いねこに関する相談を受けています。その経験から、多くの市民が野良ねこ・飼いねこに関する問題に関心があると実感しています。</p> <p>また、相談内容が「野良ねこの子どもが可哀そうだから保護してほしい」など、今まで放っておかれていた状況でも、野良は可愛そうだから保護すべきと考える人が増えており、市民の間で動物愛護の意識が高まっていることをひしひしと感じます。</p> <p>一方、その動物愛護精神の高まりにより、各ボランティアへの保護依頼は急増しており、何の補助もなく、人手も少ないボランティア団体が限界を迎えつつあることも現実です。</p> <p>そこで、私はこの新総合計画に、動物愛護に関することを入れてほしいと思いました。具体的には、これが10年の計画ということで、10年以内に四日市市に動物愛護推進センターを作ってほしいと思います。</p> <p>なぜなら、後に書きますように、センターの設立は新総合計画が目指すものにぴったりだと思うからです。また、動物愛護推進センターは水戸市や、船橋市などの様に、中核市になるタイミングで作られることも多く、中核市移行を目指す四日市市はタイミング的にも適していると考えます。</p> <p>四日市市は現在、保健所政令市で、保健所関係はすでに県から市に移譲しているので、中核市に移行する時でも、県から移譲する手続きも少ないと思いますので、その代わりに、センター設立を検討していただければとてもありがたいです。</p> <p>新総合計画の内容として、「子育て」「まちづくり」「防災」「四日市の魅力向上」ということが書いてあったと思います。</p>	<p>動物愛護事業については、「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づき、その目的である人と動物の共生する社会の実現を目指して、市民、動物愛護団体や関係機関からご意見を伺いながら、これらの方々とも協働で、殺処分ゼロを達成するための犬・猫の譲渡事業、市民に動物を愛護する意識を醸成するための啓発活動等、その他さまざまな事業を推進していきます。</p> <p>こうした趣旨を明確に表現するため、次のように素案に追記いたします。</p> <p>P156現状と課題  (4)動物愛護意識の不足により発生する諸問題  犬猫の飼い主等のモラルに起因して周辺環境への影響が懸念されています。</p> <p>P157展開する施策  (5)飼い主等のモラルの向上  ①「人と動物の共生する社会」の実現を目指して、市民、動物愛護団体や関係機関等と協働で市民に動物を愛護する意識を醸成するとともに支援をしていきます。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
217 続	<p>動物愛護推進センターができることで、  「子育て」分野では、センターで子供たちが学習や見学することで、子供たちに動物を愛する心を育てられるとともに、殺処分をゼロにできれば、子供たちが誇りを持てる四日市となれると思います。  私が子供の時、殺処分というものを初めて知った時のショックはとても大きなものでした。それをしている市や県はとてもではないけれど自慢できるものではないと思いました。これからの子供たちにそんな思いをさせたくありません。</p> <p>また、こちらが動物を愛するとともに、動物に愛されることによって心を癒されるという効果もあります。センターで不登校児や養護学校の子供たちにボランティアをして動物と関わってもらえば、そのような子たちの心のケアになると思います。</p> <p>養護学校の子供たちの心のケアに力を入れている県議会議員の方からお話を伺ったときにも同様の意見を言っていたり、ぜひセンターを実現させてほしいと仰っていただきました。</p> <p>「まちづくり」分野では、ぎふメディアコスモスの事例や、多賀城市立図書館の事例のように、センターに保護動物を見ながらくつろげるスペースを作ることによって幅広い年代の方の憩いの場になることができると思います。私の所属しているボランティアが開く保護ねこ里親会には毎回、若い方やお年寄りの方、ご家族連れの方や単身の方、様々な方が保護ねこを見に来ていただけます。</p> <p>過酷な運命から生きる機会を与えられた保護動物が、元気に過ごしている姿を見られることは、きっとセンターに来た方に元気を与え、前向きな気持ちになっていただけたと思います。</p> <p>最近、テレビでも保護ねこのことや里親会のごことが放送されています。その影響か、ペットショップのねこよりも保護ねこを自分の家族に迎えたいと思う方が増えていると感じております。</p> <p>センターができれば、里親会を開くことができます。里親様を見つけることはセンター運営の基本です。保護ねこが里親様が見つかってセンターを卒業することで、新しい保護ねこを受け入れることができるからです。</p> <p>センターのホームページを作ってその中で、保護ねこの写真や情報を載せれば、全国の方に見ていただけます。そこに気に入ったねこがいたら、その方はたとえ住んでいる所が県外だったとしても四日市に来ます。</p> <p>ホームページ内でセンターが毎月里親会を開いていると宣伝すれば、市内はもちろん市外からもたくさんの方が里親会のたびに四日市にやって来ます。</p> <p>もしも、センター入り口などに四日市市の名所などを知らせるリーフレットなどが置いてあったら、里親会に来た方がせっかく四日市に来たのだからと手に取る方も多く、基本構想を遂行することで強化された四日市の魅力について市外、県外の方に知っていただくことも十分にできると思います。</p> <p>基本構想の中に「成長から成熟へ」転換しなければならないとありました。成熟とは、自分ではない他の人や物事について考えられる余裕を持ちながら自らの意見を持つことだと思います。</p> <p>センターができ、過酷な運命をたどってきた目の前の可愛い動物について考えることは、四日市市や市民がより成熟した人格を持つことに大いにつながると思います。</p> <p>長い文章を読んでいただきありがとうございました。四日市市が人間とともに同じ土地と一緒に暮らしている動物たちのことを温かく受け入れられる市になりますよう願っています。</p>	<p>前頁にて記載済</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
⑨都市経営の土台・共通課題		
218	<p>現在若者特に若い女性のシビックプライドが低く、それがもて東京など都市に流出しており、今後のリニア中央新幹線開業により、さらにその流れは加速するとみられる。よって若者の人口流出を食い止めるには市内に在学する学生、高校生だけでなく、市に関心のある市内在住及び市内の教育機関に通う高校生や学生の意見を聞き、学生自身が市役所等と協力、協働してまちづくりに参画できる場や市を盛り上げるサークルの様な組織を市役所等に作り若者目線の取り組みを行う必要がある。</p> <p>例として福井県鯖江市「鯖江市役所JK課」(以下JK課)と言う鯖江市役所内に設けられたサークルがある。JK課は卒業後市外の大学に通う比率の高いかつ情報発信力の高い市内在住、市内の教育機関に通う女子高生と市役所職員が協力して中心市街地商店街とコラボしたイベント、市内の企業とコラボした商品開発、市のシティプロモーションなど楽しく新しい目線で市を盛り上げる活動を行っているサークルである。このサークルの活動では、市役所職員は学生のサポート、アドバイスなど後方支援に徹し、女子高生が企画運営、実行、広報まで全てを行っている事により、フレッシュな若者目線の企画が、自主的かつ持続的に行われている。また、卒業後の部員は大学でまちづくり関係の学部に進学、商店街の振興会の活動に参加、鯖江市役所職員に志願、入庁するなど、ただまちづくりに関わるだけでなく、市についての意識の高い人材を育成できており、1ターンで鯖江市の企業に就職する方や鯖江市役所職員になる方がいるなど若者の流出防止策として効果がある。</p> <p>四日市市役所採用試験の志願者は年々減少しており、市外に流出する若者も増加傾向にある。また意識が高い学生でも活躍できる場が無い、もしくは認知が低い事により、他市区町村にて活躍している学生も多く、若者に取って魅力がありかつ誇りを持つ街にしていくために「鯖江市役所JK課」の様な学生や高校生が自主的に市と協力、協働して活動できる場もしくは組織を創ることにより、シビックプライドを高め、若者の流出に歯止めをかける事が出来ると考える。</p> <p>以上の理由から総合計画に「若者参画についての取り組み」と「若者主体で活躍できる場や組織創成」に関する記述や取り組みの内容を加えることを要望する。</p>	<p>ご指摘の若者、特に若い女性のシビックプライドについては、重点的横断戦略プラン「幸せ、わくわく！四日市生活」の中のプロジェクトの一つとして、【女性による「四日市の魅力」プロデュースと情報発信】を掲げています。まちの魅力や流行に敏感な女性の情報発信力を活用し、本市に暮らす魅力などについて、幅広く情報発信できる仕組みを構築することとしています。</p> <p>また、「基本的政策 効果的なシティプロモーション」にありますように、特に若い世代・家族に選ばれるまちとなるために、これらの人たちが求める情報を得やすくするため、インターネット環境やSNSなどをさらに活用して情報発信を充実します。</p>
219	<p>2. 細かいことだが、「四日市市の存在感」の“シビックプライド”との表現(伊藤香織氏等からの引用)に違和感があった。civicのニュアンスは、似た意味のあるcivilとかcityと少し異なり、市民を“そこに住んでいるとか、異民のグループ”と市民というものを“限定的”狭義の意味でとらえている。</p> <p>四日市市内へ通勤していたり、商用で出入りする人等、市に関係のある人という感じで、一般的になじみのある広義の“市民としての誇り”(City Pride)が表現としてはふさわしい。City Hall(市役所)City Council(市議会)という表現もあるように。(※林先生には帰途偶然お会いしたので、この旨伝えておきました。)</p>	<p>現在さまざまな自治体において「まちを愛する心」「地域への愛着と誇り」などを示す言葉としてシビックプライドが用いられており、本市においては、市民が本市を誇る気持ちをシビックプライドと表しています。</p> <p>本市が将来にわたり地域の活力を維持・増進し、持続的に発展するためには多くの来訪者から「選ばれる都市」として存在感を発揮する必要があります。</p> <p>そのためにはまず、本市に暮らす市民の本市を誇る気持ちの高まりが重要であることから、シビックプライドという言葉を用いています。</p>
220	<p>先日、富田地区にて市長とのタウンミーティングに初めて参加させて頂きました。市長の熱い気持ちや姿勢、応対に感銘を受けました。ありがとうございました。</p> <p>(良かった点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長の話が明快。地元オリンピック選手、ガストに”こにゆうどう君”登場。</li> <li>・受け答えが適切。コストパフォーマンスを意識された答弁。</li> </ul> <p>(気になった点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参加者に若者(20,30,40代)が少ない。60-70代の方が多いように見受けられました。</li> <li>・参加者の方の熱い気持ちは素晴らしいですが、自分は現在40代前半ですが、ふるさと納税や子育て世代、地元が四日市ではない身として少し感覚が異なります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の政策・施策を進めていくためにはより広く市民のご意見をうかがうことが重要です。そのため、タウンミーティングのみならず、市政アンケートやインターネットアンケートなど多様な手段を用いて、若い世代を含めた幅広いご意見をいただきながら市政に反映させていけるよう取り組んでいきます。</li> <li>・この度は、タウンミーティングにご参加いただき、ありがとうございました。</li> </ul> <p>新総合計画の策定にあたり、多くの市民や関係者の意見を参考とするため、昨年度は、シンポジウムや高校生と市長の懇談会、子育て世代(30~40代)、若者世代(20代~30代前半)の方々を対象にしたWEBアンケート等を実施し、約8,800人の方々から幅広くご意見・ご回答をいただきました。そして、今年度はタウンミーティングを通じて、全地域の方々からご意見をいただいております。様々な年代の方々の想いを反映した計画をとりまとめていきたいと考えています。</p> <p>また、新総合計画では、都市経営の土台・共通課題として「効果的なシティプロモーション」を基本計画に位置付け、多方面でのご協力を得ながら、四日市市の良いところを積極的に発信してまいりますので、応援よろしくお願いたします。</p>



「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
221	<p>2. コンビナート、半導体業務にかかわる中年層(20、30、40代)に家、子育て、仕事に関するアンケートを取ってみたいかがでしょうか。四日市は高所得者(特に外資)に対する税金が高いと感じます。ですので、自分の上長など高取得者は、名古屋から通います。高取得者層の多い名古屋では税制が極端に高いのではないので、わざわざ四日市に住むメリットがありません。土地は安いのはメリットですが、教育レベルがそんなに高くない、税金優遇がよくないのはデメリットです。むしろ高取得者及び若者を優遇すべきではないでしょうか。</p>	<p>個人住民税(市民税と県民税)は、できるだけ多くの住民がその能力に応じて広く負担を分かち合うという「地域社会の会費」的性格から、地方税法によって標準的な税率(標準税率)が定められており、全国のほぼすべての市町村で標準税率(市民税:6%、県民税:4%)が採用されております。そのため所得・控除等の内容が同じであれば全国全ての市町村で税額も同額となります。当市もこの標準税率を採用しており当市が全国的に見て税額が高いということはありません。</p> <p>一方、名古屋市では、条例で一律に減税措置(標準税率との差は0.3%程度)が実施されており、高額所得者ほど減税のメリットがあると言えます。</p> <p>ご意見の中に「高所得者及び若者の税を優遇」とありますが、地方税法においては、前述の「地域社会の会費」的性格から、複数の税率を採用することを明確に禁じており、税率面から特定の方々に優遇する施策は行えないので、ご理解ください。</p>
222	<p>3. 四日市のイメージは外から来た人は、「四日市ぜんそく」です。とんてきより松坂牛に興味があります。ただし、調べていくと四日市コンビナート夜景、美味しい焼き肉屋、伊勢神宮にも高速で行きやすい、神話に残る遺跡がある、鈴鹿サーキットも近い、シドニーと姉妹都市と良い点は多く、最大限活用すべきではないでしょうか。</p> <p>(3.1) 四日市や鈴鹿で一度降りると、高速代金が半額になる。</p> <p>(3.2) 四日市ふるさと納税の特典 コンビナート夜景をふるさと納税にする。 やはり松坂牛にする。(三重ですが堅い事言わない。) 伊勢神宮参拝絡みや神話にまつわるものをつける。 鈴鹿サーキット(F1)絡みもつける。 オリンピック選手(名古屋出身者も含む)イベントに参加券がある。</p>	<p>ふるさと納税の制度を活用し、本市の地場産品や地域資源を市外にPRすることで、本市の魅力を広く発信しています。コンビナート夜景は本市の大きな魅力の一つであり、今後も返礼メニューに組み込むよう検討します。なお、返礼品の内容については、国の方針に従い、本市の返礼品として認められる範囲の中で選定していきます。</p>
223	<p>4. 四日市出身の一流有名(三重、東海含めても良い)を最大限優遇し地元に来て活動してもらおう。1につながりますが、四日市に来れば一流の技術やマインドに出会える環境づくりが付加価値を生むと考えます。</p>	<p>本市の魅力、良さを広く国内外にPRするため、現在25名の方に観光大使を依頼し、活動していただき、タレントや音楽家、スポーツ選手等それぞれの分野において、本市をPRしていただいています。</p> <p>来年には東京オリンピック控え、さらなるご活躍の新たな本市ゆかりの方がいらっしゃいましたら、機会を捉え、本市での活動につながるよう働きかけをしていきます。</p> <p>こうした方々に本市のシティプロモーションの一翼を担っていただくことを明確に表現するため、次のように素案を修正いたします。</p> <p>P185展開する施策 (2)名古屋都市圏などをターゲットとしたシティプロモーション 東京・名古屋・大阪の三大都市圏の中心に位置する名古屋を情報発信拠点とし、多様な媒体を活用して本市の魅力を広く拡散するため、観光大使の活用や専門性を持った人材によるメディア等とのネットワーク構築を図り、即時性を持った情報の収集と発信を行います。</p>
224	<p>・P60、マイナンバーカードと市民サービスですが、マイナンバーカードは麻生大臣があれば無用だ、自分は使わないといっています。また現実には、うけとっていない、うけとれないという人が多い(配布時からそうでした。)マイナンバーで市民サービスをというものは、取り入れない方がよいと思います。不公平にもなり、キャッシュレス化となると他のカードをも扱えない人はサービスからこぼれおち、格差が広がります。マイナンバーが今後他の情報とむすびついたら、個人のプライバシーはすべて、自分の知らぬところでデータとして蓄積され、個人ではどうすることもできなくなると思います。プライバシーは「放っておかれる権利」としての人権と思うので、マイナンバーをサービスや制度と結びつけることは危険かつ不公平だと思います。</p>	<p>マイナンバー制度におきましては、制度・システムの両面で様々な安全管理措置を講じており、具体的には、そもそもマイナンバーのみでは手続きができないようにしているほか、情報の分散管理やシステムへのアクセス制御、通信の暗号化などを行っています。また、政府が運営するオンラインサービスであるマイナンバーポータルにおきましては、行政機関がマイナンバーの付いた自分の情報をいつ、どこでやり取りしたのかの確認をすることができます。</p> <p>こうした安全対策がしっかり講じられた中で、マイナンバーカードを活用した行政手続のオンライン化によって、市民の皆様が市役所に来庁することなく自宅等でインターネットを経由して安全に本人確認と申請内容の受渡しができるなど、さらなる市民サービスの向上に繋がることを期待しております。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
全般に関して		
225	これは素案ではなく骨子案ですよ。素案ができるのを待っています。	素案P5「総合計画の構成と計画期間」にあるように、総合計画は、基本構想・基本計画・推進計画の3層構造となっています。今回の素案は、そのうち基本構想と基本計画にあたる部分であり、基本構想は今後10年間のまちづくりの方向性を明らかにするもの、基本計画は基本構想に掲げた将来都市像を実現するための施策の方向性を示すものです。いずれも方向性を示しているものであるため、具体的に何を実施するのが明らかになっていないという趣旨のご意見と思われませんが、基本構想・基本計画に基づき、実施する具体的事業につきましては、基本構想・基本計画の確定後に策定する推進計画において位置付けてまいります。
226	1. 大部の資料で時間はかかったが、その読后感としては、(イ)総花的、(ロ)抽象的、(ハ)英語を多用しているとの印象。官僚が作ったような計画ではなく、市独自のアイデアを出すべきであり、量も半分くらいにすべきではないか？統計や図表の出典が書かれていないものもある。現状や予測も数字の裏付けのある方が説得力がある。	素案P5「総合計画の構成と計画期間」にあるように、総合計画は、基本構想・基本計画・推進計画の3層構造となっています。今回の素案は、そのうち基本構想と基本計画にあたる部分であり、基本構想は今後10年間のまちづくりの方向性を明らかにするもの、基本計画は基本構想に掲げた将来都市像を実現するための施策の方向性を示すものです。基本構想・基本計画に基づき、実施する具体的事業につきましては、基本構想・基本計画の確定後に策定する推進計画において位置付けてまいります。また、解説を必要とする言葉につきましては、資料編に用語解説を設けるなど、分かりやすい計画としてまいります。
227	この素案が四日市市市民自治基本条例(理念条例)(総合計画)第18条に基いて作成されたものであると記載がされて居りますが、四日市市市民でありながら(理念条例)の存在と何時制定されたに付いて寡聞にして知り得て居りませんが、この条例が市民に対して周知徹底が為されているのでしょうか。読後に感じたのは、この素案の作成には四日市市の政策推進部の指示関与があったと思われませんが、推定を許されるなら大学の研究機関あるいはコンサルタントに作成を依頼されたのではないかと思います。如何でしょうか。	四日市市では、地方自治の本旨に基づく市民自治を実現すべく、「四日市市市民自治基本条例(理念条例)」を議員提案により制定し、平成17年9月1日から施行しています。条例の詳しい内容につきましては、市ホームページにてご覧いただくことができます。 ( <a href="https://www.city.yokkaichi.mie.jp/shimin_jichi/">https://www.city.yokkaichi.mie.jp/shimin_jichi/</a> ) また、総合計画は、市民全体で共有する四日市市の将来的なビジョンであり、その実現に向けて、本市を支えるすべての市民が共有しながら取り組む基本的な指針となるものです。そのため、市民の代表である市議会との議論をはじめ、学識経験者・企業・自治会・市民活動を行っている方々など21名で構成する「四日市市総合計画策定委員会」の設置や、市民アンケートやタウンミーティングをはじめとする多様な手法を通じ、本市を支える市民、企業または団体の方々と一緒に、新総合計画の素案をつくり上げてまいりました。大学の研究機関やコンサルタントに対し、計画書の作成を一任するようなことや、原案の作成を依頼するようなことはしておらず、議論の過程を念頭に1ページ1ページ職員が手作業でとりまとめた計画素案です。それゆえに、四日市市の地域性に溢れた施策や記載内容となっているとともに、文章表現が素人的で分かりにくい箇所など散見されるかもしれませんが、こうした箇所についてはできる限り分かりやすい表現に努めてまいります。

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
228	<p>5、進捗状況を測る主な目標について</p> <p>各計画には、目標が設定されていますが、ほとんどの目標が何かの回数や率などのアウトプット指標です。そろそろ、その施策でどのような質的变化や市民の行動変容が生まれたのかなどのアウトカム指標を入れてほしいと思います。数だけを目標にしていると、それにこだわるだけの事業になり、実態として何も変わっていないなどの弊害もあります。市民アンケートをするなど、いろいろな手法があると思います。ご一考下さい。</p>	<p>政策や施策の評価を行うためには、各施策の目的や意図を明確に表現し、成果を捉えられるような「指標」と「目標値」を「数値」で設定することにより、施策が着実に進捗し、市民生活や市民福祉の向上に寄与できているかを客観的に把握できる必要があります。</p> <p>そのため、新総合計画では新たな取組として、数値を使った分かりやすい指標を基本的政策ごとに設定し、その進捗状況を「見える化」するため、行政活動の結果と指標との因果関係を把握しやすい「アウトプット指標」を設けています。</p> <p>また、現総合計画では、毎年、市民アンケートにより、「適正なごみ処理の推進」や「公共交通機関の利用のしやすさ」など、市政全般(全40項目)の満足度を5段階で評価いただくとともに、今後特に期待する取り組みについてご意見をいただきながら、基本目標ごとに、市民がどのような成果や満足を得られたかを把握してまいりました。</p> <p>施策の成果は様々な形で現れるため、分野ごとの「アウトカム指標」の設定が困難な場合が多い状況にありますが、新総合計画でも引き続き市民アンケートを活用することで、よりアウトカムを重視した観点から成果の把握に努めていきたいと考えています。</p>
229	<p>提案1. 各政策の進捗状況を測る主な指標に成果指標とそれを達成するのに有効であろう先行指標とを併記したらいかがでしょうか。総合計画を見る市民の視点からも目標を達成するためにどういう施策が有効なのかを理解しやすくなると考えます。また年数を経て社会環境の変化が生じた場合に当初、計画した施策よりも、より有効な施策が考えられれば随時、有効な先行指標に設定し直す工程を経ていくことが大切であると考えます。</p>	<p>ご意見の「先行指標」とは、景気動向を示す経済指標のうち、将来の景気や企業業績を見通せる指標のことをご提案いただいたものと推察いたします。先行指標を直接取り入れることは難しい状況ですが、確かに、政府が発表しております新規求人数、新設住宅着工戸数などの統計データを参考に景気や消費の動向を見極め、次なる効果的な施策を打ち出していくことは重要な視点と認識しています。</p> <p>各種統計データを参考に、本市の内外を含めた社会情勢の変化をつぶさに把握し、必要に応じて施策の見直しを行ってまいります。</p>
230	<p>まず文章として以下の修正をお願いします。</p> <p>(4ページ)(1)2段目の3行目の文字間隔の修正および4行目の鍵括弧を全角に (5ページ他)名詞「取組」「取り組み」の統一(動詞は「取り組む」に統一されている (9ページ)2行目「行く」⇒「いく」 (21ページ)1～2行目の文字間隔の修正 (28ページ、38ページ、51ページ、65ページ)図版が小さく読めない (35ページ)図版の③「の対象者」が抜けている(本文と合わせる) (60ページ 65ページ)図版がぼやけている (61ページ 73ページ)本文の右端をそろえる (63ページ 77ページ)②が無いなら①も外す (83ページ)図版の左右入替 (87ページ～)使われているマークの説明(凡例)が無い 文字の網掛けが濃すぎる(白黒では読みにくい)</p>	<p>素案の細部まで目を通していただき、ありがとうございました。</p> <p>いただいたご意見を参考に、送り仮名や文字間隔などの体裁についても精査を進めながら最終案をとりまとめまいります。</p> <p>また、87ページにお示いたしましたマークは、国連が採択したSDGs(持続可能な開発目標)に掲げられている17の目標のアイコンです。</p> <p>以上のご意見を踏まえて、今後のまちづくりとSDGsとの関連性がより分かりやすい計画書となるよう、次のように修正いたします。</p> <p>(P16)</p> <p>(2)SDGs17の目標と本市の取組 本文(略) OSDGs17の目標 アイコンの表示</p> <p>(P87・97、109、121、129、141、149、167、177) 各ページに記載のアイコンの下に、「SDGs17の目標」と表記</p> <p>このほか、各アイコンと国連が定める持続可能な開発目標との関連等について、今後、内容を整理して資料編に記載するなど、さらなる工夫を重ねてまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方
231	<p>④ 総合計画策定における市民意見の取り入れについて                      今回の総合計画の策定に当たっては、毎年度実施されている市政アンケート(特に平成30年度調査は総合計画のための設問として問2、問3、問4を設定)はもとより、策定の各フェーズにおいて高校生など若者懇談会、フォーラムの開催など、多方面から市民意見の収集を図られてきたことと存じます。市長も精力的に各地区のタウンミーティングを開催され、市民の声の直接把握に努めておられます。しかしながら、基本構造から基本計画へと計画が展開される中で、それらの市民意見がどのように扱われ、取り入れられているのかが不明です。計画内容を検討する中で参考にされているのだと思いますが、むしろ基本構想においてはSDGsやスーパーメガリージョンなど、都市を取り巻く外的要因に重きが置かれているように見え、「市民の想い」が軽視されているようにさえ感じられます。                      具体的提案としては、基本構想の「2. 総合計画の策定にあたって」の中に「(3)市民の想い」あるいは「(3)市民意見の整理」といった項目を設け、市民のどのような意見の中から「3. 四日市市が目指す『まちづくり』と『将来都市像』」が導かれたのか、明らかにすべきと考えます。                      以上です。何とぞよろしく願いいたします。</p>	<p>素案の作成にあたっては、市政アンケートのほか、WEBアンケートや高校生と市長との懇談会、各種団体との懇談会、市長のタウンミーティングなど、様々な手法で市民の皆様からのご意見をいただいたところです。                      例えば、WEBアンケートにおいて子育て世代の皆様から求められている施策として、保育園・幼稚園等の充実のほか、子育てにかかる経済的負担の軽減や子どもの居場所の確保といったものが上位に挙げられたことから、基本計画における重点的横断戦略プランにこれらの施策を位置付けたところです。また、高校生からは車の免許を持たない世代として、誰もが移動しやすいまちとなるよう公共交通機関の維持・充実が必要との声があり、そのための施策も重点的横断戦略プランに位置付けています。                      こうした市民の皆さんからのご意見について、個々に掲載することは難しい面がございますが、基本構想及び基本計画のいずれにおいても、いただいたご意見を勘案して素案の作成を行っております。</p>
232	<p>6. 私もたいしたアイデアもないが、例えば、(イ)四日市市にちなんで、4億1千万円のクラウドファンドを創出し(金融型で、内四日市市の本気度を示す意味で、過半の2億1千万円を四日市市が拠出し、無配とするが、残りの拠出金には5%の配当を支払う)、市内でクラスター型のプロジェクトを実施する(ふるさと創生の資金の活用も検討するのもよからう)。                      (ロ)市内や近隣の河川の中心に位置する旧泊浄化センター跡地に防災資材の備蓄センターを設置し、南海トラフや台風にそなえる。                      (ハ)国際的に問題となっている廃プラスチックの対策として、全国どこの市もやっていない、市独自の廃プラスチック(とりあえずレジ袋)の使用禁止条例をつくる。日本最初で最大級の石化コンビナートのある市として、工場に生分解性プラスチックの生産と利用促進を図ることも他市の模範となるのではないか？</p>	<p>・本市では、指定避難所等に併設している防災倉庫125ヶ所に備蓄を分散して行っております。他にも、北部、中央部、南部の3区域に分けて、それぞれ拠点となる防災倉庫(北部拠点防災倉庫、安島防災倉庫、南部拠点防災倉庫)を整備しており、そこでも備蓄を行っております。                      また、現在、神前地区で総合防災拠点の整備を行っているところであり、災害発生時には、これらの防災倉庫で備蓄している物資や全国から配送される受援物資の受け入れ拠点である総合防災拠点から、市内各避難所へ供給する運用を考えておりますので、ご理解をお願いします。                      ・本市では、2010(H22)年7月から大手スーパーを中心にレジ袋の有料化を実施しています。また、国(環境省)においても、2020年の東京五輪を見据えて、レジ袋の有料化の法制化に向けて取り組んでいます。本市としましては、今後も引き続き、レジ袋をはじめとした容器包装の削減に向けて取り組んでいきます。                      また、生分解性プラスチックの利用促進につきましても、今後検討していくべき課題と捕えております。</p>
233	<p>7. いづれにしても、市の予算と人材にも限度があり、選択と集中に徹すべきである。あれもやります、これもやりますといった総花的な計画ではしよせん画餅になる。要はこのような計画で何をやろうとするのか分からなければ、本棚に積んでおかれるだけになるので、少しでも市民がこの計画書を読んでPlan-Do-Seeしてもらいたいものである。</p>	<p>総合計画は、10年間の長期的な視点で四日市市をどのようなまちにするのかの将来像を描くものであり、市全体の計画であるため、さまざまな分野が対象となっています。また、今回の素案は、総合計画のうち、基本構想と基本計画にあたる部分であり、基本構想は今後10年間のまちづくりの方向性を明らかにするもの、基本計画は基本構想に掲げた将来都市像を実現するための施策の方向性を示すものです。基本構想・基本計画に基づき、実施する具体的事業につきましては、基本構想・基本計画の確定後に策定する推進計画において位置付けてまいります。</p>

「四日市市新総合計画(素案)」に対する意見の内容と市の考え方について

No	意見の内容	意見に対する考え方								
234	<p>素案には総論賛成です。しかしながらこれだけの文章は関係者という方だけになると思います。対象者を住民とすれば難しいと思います。187頁に渡る力作です よくできたと感心しました。 まとめ いつも総合計画が出されていますが今回はレイアウトが良く工夫されているということが分かります 編集者の皆様に感謝とお礼の言葉と致します。人のためになることをすれば、自分のためになります。私の信条です。</p>	<p>今後、総合計画書の企画・印刷製本を行う際は、本市のまちづくりに対する市民等の理解の促進、本市のイメージアップにつながる独自性のある魅力的な構成・デザインとするほか、写真・イラストを交えて、市民にとって読みやすく、伝えたいポイントがはっきりとした分かりやすい内容にまとめるなど、ご意見を励みに、さらに工夫を重ねてまいります。 また、187ページにもわたる計画素案となりましたが、出来る限り多くの市民・事業者等の方々に内容を知っていただきたいと考えています。そのため、短時間でも要点を読み取っていただけるような概要版についても作成してまいります。</p>								
235	<p>○最後に とてもスタイリッシュな総合計画ですが、人と人が寄り添って、支え合って生きていくイメージがあまり湧いてきませんでした。どんなことにも二面性がある中、限られた予算の中ですべてを網羅していくのは大変高度なことだと思いますが、温かみ・人間味のある町で暮らしていきたいです。 私たち市民には、一人ひとりハート(志)があって、それをくみ取るためにソフト(仕組み)があって、ハード(施設)は最後だと思います。 ハリボテみたいな四日市市はごめんです。あるものを最大限に活かすという考えに共感します。</p>	<p>ご意見で述べられているように、市としても市民の皆さん一人ひとりがまちの主人公として生き生きと毎日の暮らしを送ることができ、人と人がつながることによって、幸せや豊かさを実感できる温かみのあるまちをつくるのが大切と考えています。 そのためにも、素案P10～11「まちづくりの基本的な考え方」の一つに、『「オール四日市で取り組む」協働・共創のまちづくり』掲げており、多様な主体がまちづくりに参画するとともに、住民同士が連携、協力し合って地域課題を解決していくことを重視しています。</p>								
236	<p>四日市への期待②「生涯 四日市」 まだまだ、期待したいことはありますが、「四日市市民」であることを胸を張って言うよう、また、誰からも「四日市市民」であることを羨ましがられるよう、そして、何があっても「四日市」から離れたくなくなるような街にして下さい。</p>	<p>平成29年度にインターネットを用いて実施した「市民の四日市市に対するイメージ調査」では、市民は四日市というまちに対して「愛着はあるが誇りは低く、お薦めできるかと言われるとそこそこ」と感じている人が多いという結果が出ています。 このような状況を打開し、そして、いただいたご意見を励みにしながら、将来の四日市市に暮らす人々が愛着と誇りに溢れ、他都市から羨ましいと思われるまちとなるような取組を進めてまいります。</p>								
237	<table border="1" data-bbox="143 815 1144 1474"> <thead> <tr> <th data-bbox="143 815 629 853">総合計画(素案)</th> <th data-bbox="629 815 1144 853">意見(提案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="143 853 629 981">計画の入っていない。</td> <td data-bbox="629 853 1144 981">「障がい」をお持ちの市民の皆さんを守る方針が、全く述べられていない。169ページ(2)に一部記述されているが、不十分です。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="143 981 629 1268">39ページ 具体的取組の①</td> <td data-bbox="629 981 1144 1268">「保々小学校、大矢知興譲小学校日永小学校等の地区では、安全パトロール会が登校時の見守り活動を行っています。この取り組みを参考にされていますか? 私はこの15年間以上地域の登下校を見守っていますが、警察・教育委員会・市が安全対策を進めている実態が見えない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="143 1268 629 1474">51ページ 楽しく移動できる交通環境づくり</td> <td data-bbox="629 1268 1144 1474">この方針は誰の要望で計画されたのか全く理解出来ない。 維持管理費に見合った費用も計算されているか?現状では、自動運転は導入するべきではない。</td> </tr> </tbody> </table>	総合計画(素案)	意見(提案)	計画の入っていない。	「障がい」をお持ちの市民の皆さんを守る方針が、全く述べられていない。169ページ(2)に一部記述されているが、不十分です。	39ページ 具体的取組の①	「保々小学校、大矢知興譲小学校日永小学校等の地区では、安全パトロール会が登校時の見守り活動を行っています。この取り組みを参考にされていますか? 私はこの15年間以上地域の登下校を見守っていますが、警察・教育委員会・市が安全対策を進めている実態が見えない。	51ページ 楽しく移動できる交通環境づくり	この方針は誰の要望で計画されたのか全く理解出来ない。 維持管理費に見合った費用も計算されているか?現状では、自動運転は導入するべきではない。	<p>・基本的政策No.21「誰もがいつまでも健康で暮らせるまちの実現、基本的政策No.22「住み慣れた場所で自分らしく暮らせる環境づくり」を通して、障害福祉施策の分野でも、第4次四日市市障害者計画において、「互いに違いを認め合い、自分らしく暮らせる社会の実現」を基本理念として、各部署がそれぞれの施策を連携させながら、地域住民等が支え合い、一人ひとりがいきいきと活躍できる「地域共生社会」の実現を進めてまいります。 ・市内小中学校では、各校の実情に合わせ、PTAや地域防犯ボランティアの方々等と連携を図りながら、見守り活動や通学路の点検等を実施しています。 また、通学路の安全対策については、警察署・道路管理者・教育委員会が連携し、合同点検を実施しています。合同点検で抽出された要対策箇所は、具体的な対策の検討を行い、必要な措置を講じるとともに、市民の方がご覧いただけるよう市ホームページにも掲載しています。 このような安全対策の取組も総合計画(素案)P39の「みんなで創る安全な歩行空間」のひとつとして、さらに充実させていく予定です。 ・国においては未来投資戦略2018に次世代モビリティ・システムの構築を位置づけ、無人自動運転移動サービスを令和2年度に実現することを目指し、事業化に向けた取り組みを加速することとしています。 こうしたサービスの実現により、地域における移動困難者の増加、ドライバーをはじめとする人手不足などの問題解決が期待されています。 そのため、本市としても新技術の導入に向けた取り組みを進めていく必要があると考えており、関係者が参画する自動運転導入検討会議において、自動運転技術などの導入に向けた検討を始めたところで、</p>
総合計画(素案)	意見(提案)									
計画の入っていない。	「障がい」をお持ちの市民の皆さんを守る方針が、全く述べられていない。169ページ(2)に一部記述されているが、不十分です。									
39ページ 具体的取組の①	「保々小学校、大矢知興譲小学校日永小学校等の地区では、安全パトロール会が登校時の見守り活動を行っています。この取り組みを参考にされていますか? 私はこの15年間以上地域の登下校を見守っていますが、警察・教育委員会・市が安全対策を進めている実態が見えない。									
51ページ 楽しく移動できる交通環境づくり	この方針は誰の要望で計画されたのか全く理解出来ない。 維持管理費に見合った費用も計算されているか?現状では、自動運転は導入するべきではない。									